

平成 30 年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

報告書

平成 31 年 2 月

大 田 区

目次

I	調査概要	5
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査設計	3
4	報告書の見方について	3
5	標本誤差について	4
II	「区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査」の調査結果	5
1	回答者の属性	7
2	生涯学習について	13
	（1）最近1年間の生涯学習	13
	（2）生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか	16
3	図書館の利用	20
	（1）区立図書館の利用の有無	20
	（2）区立図書館への要望	23
	（3）参加したいイベント	27
4	スポーツ・文化活動について	30
	（1）スポーツや文化への親しみ	30
	（2）オリンピック選手団の事前キャンプ	33
5	ボランティア・地域活動について	35
	（1）地域活動への参加	35
	（2）地域活動に参加しない理由	39
6	生活やレジャーに関する情報について	43
	（1）情報を得る媒体について	43
	（2）SNSの利用について	45
	（3）イベントへの申込み方法	48
7	普段の買い物・生活について	51
	（1）普段の買い物で利用するお店	51
	（2）買い物をする時間帯について	53
	（3）公共交通機関の環境	56
	（4）大田区の公共交通機関の満足度	60
8	住まいの建物について	64
	（1）住まいの建築年月	64
	（2）耐震化の助成制度について	69
9	コミュニティサイクル・自転車利用について	73
	（1）大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度	73
	（2）コミュニティサイクルの利用の有無	75

(3) コミュニティサイクルの利用目的について.....	78
(4) コミュニティサイクルを利用しない理由について.....	79
(5) 放置自転車対策について	81
(6) 自転車の利用について	84
(7) 自転車を使う主な目的について.....	87
(8) 自転車を盗まれた経験	90
(9) 自転車を安全・快適に利用できるか.....	93
(10) 自転車に鍵をかけるかについて.....	96
(11) 自転車に鍵をかけない時は、どのような時か.....	99
(12) 自転車に鍵をかけない時の時間について.....	101
10 喫煙・受動喫煙について.....	104
(1) 喫煙について	104
(2) 禁煙願望の有無	107
(3) 喫煙時に注意している事について.....	110
(4) 受動喫煙について	113
(5) 受動喫煙の経験の有無	116
(6) 受動喫煙防止に向け、区が推進すべき取り組みについて.....	118
11 食品ロス・フードドライブについて	121
(1) 食生活の中で「もったいない」と意識したとき.....	121
(2) 「食品ロス」の認知度	123
(3) 「食品ロス」を減らすための取り組み.....	126
(4) 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと.....	129
(5) フードドライブへの提供について.....	131
(6) フードドライブに提供する際、重要視すること.....	134
(7) フードドライブに提供したくない理由.....	136
12 大田区への愛着等について	138
(1) 大田区への愛着について	138
(2) 大田区に愛着を感じる点	142
(3) 大田区に誇りを感じるか	147
(4) 大田区のどこに誇りを感じるか.....	151
(5) 大田区のお薦め度	156
(6) 大田区のどこを薦めたいか	160
Ⅲ 資料編.....	165

I 調査概要

I 調査概要

1：調査の目的

おおた未来プラン10年（後期）をはじめとする各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2：調査の内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 生涯学習について
- (3) 図書館の利用について
- (4) スポーツ・文化活動について
- (5) ボランティア・地域活動について
- (6) 生活やレジャーに関する情報について
- (7) 普段の買い物・生活について
- (8) お住まいの建物について
- (9) コミュニティサイクル・自転車利用について
- (10) 喫煙・受動喫煙について
- (11) 食品ロス・フードドライブについて
- (12) 大田区への愛着等について

3：調査設計

- | | |
|-----------|----------------------------|
| (1) 調査地域 | 大田区全域 |
| (2) 調査対象 | 大田区内に居住する満18歳以上の男女（外国人を含む） |
| (3) 標本数 | 4,000人 |
| (4) 抽出方法 | 層化無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 配付は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式 |
| (6) 有効回収数 | 1,610件（郵送1,348件＋電子申請262件） |
| (7) 有効回収率 | 40.3% |

4：報告書の見方について

- (1) 結果の数値は原則として回答率（％）で表記している。回答率（％）は、その質問項目に該当する回答者の数を出しており、『n=』と表記している。また、複数回答についても回答者の数としているため、合計しても100.0%とならない場合がある。
- (2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記してある。このため、各回答率（％）を合計しても100.0%とならない場合がある。
- (3) 分析の軸（＝縦軸）としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの回答者の合計が全体と一致しない場合がある。

- (4) 回答者数が 30 人未満と少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (5) 年代別において、男女ともに「18～19 歳」は回答者が少ないため、「10・20 代」とまとめて掲載している。
- (6) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

5：標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準偏差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団の大きさ
n：回答者数
p：回答の比率（%）

各回答率における標本誤差早見表（信頼度 95%で算出している）

回答の比率(p) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,610	± 1.5	± 2.0	± 2.3	± 2.4	± 2.5
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.9	± 3.1	± 3.2
800	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.5	± 3.5

早見表の見方

たとえば、今回の「区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査」の回答者数（1,610 人）を 100%とする比率で、ある質問の回答が 50%であった場合、大田区民（区内在住の 18 歳以上の方）のこの質問に対する回答は、47.5%～52.5%の間にあると考えられる。

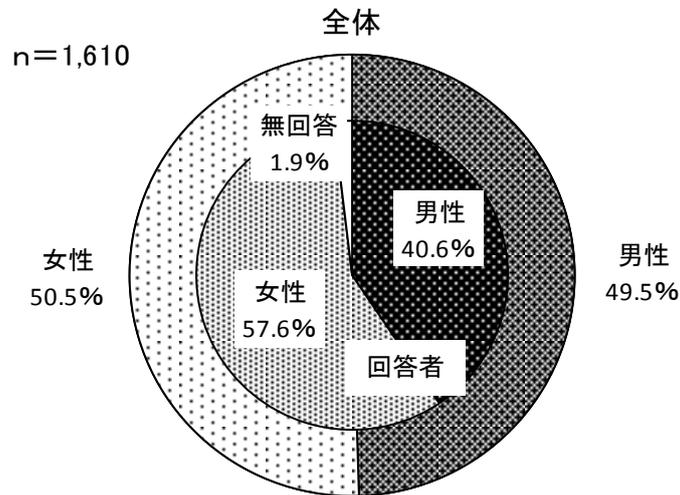
Ⅱ 「区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査」の調査結果

1 回答者の属性

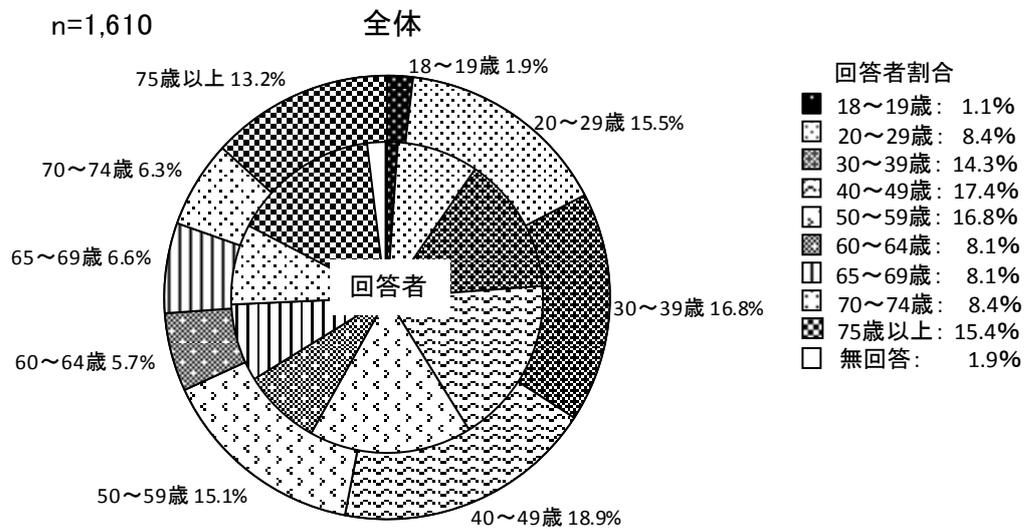
【性別】

全体：大田区の18歳以上の人口（n=633,553）※平成31年1月1日

回答者：有効回収数（n=1,610）

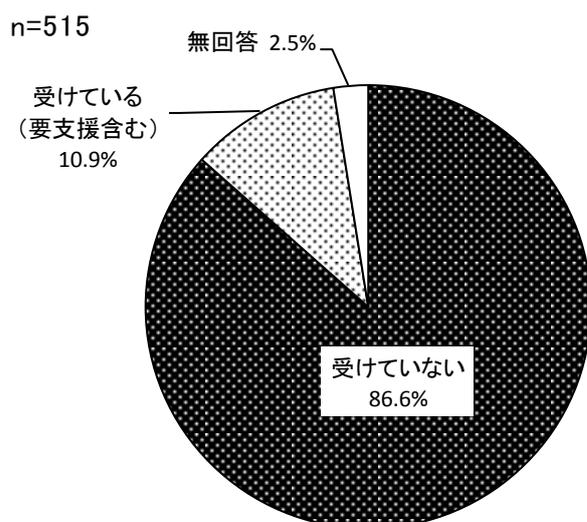


【年齢】

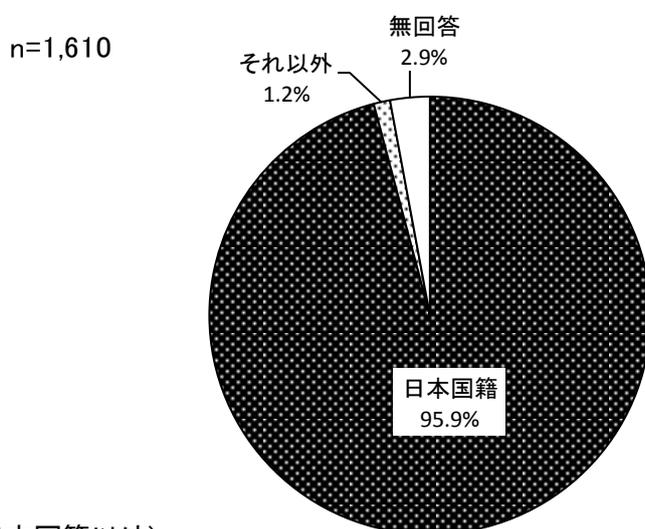


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）平成31年1月1日現在版

【介護保険制度の要介護認定を受けているか（65歳以上の方）】



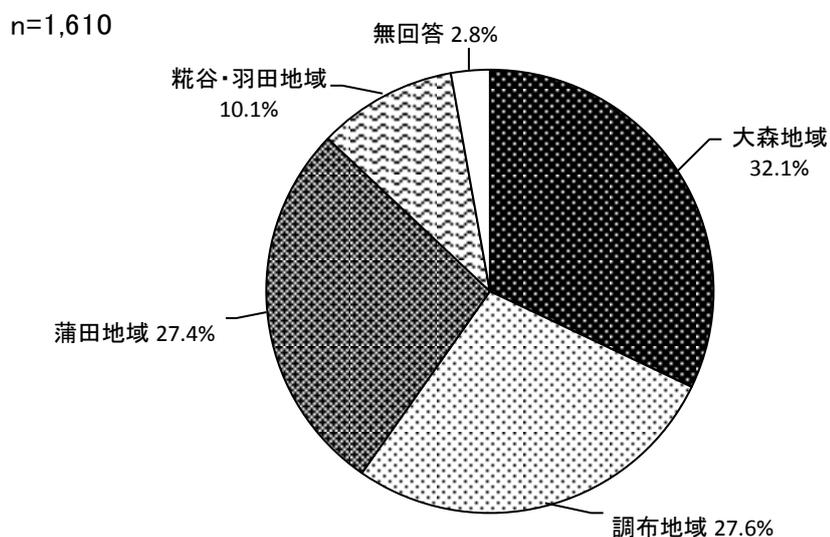
【国籍】



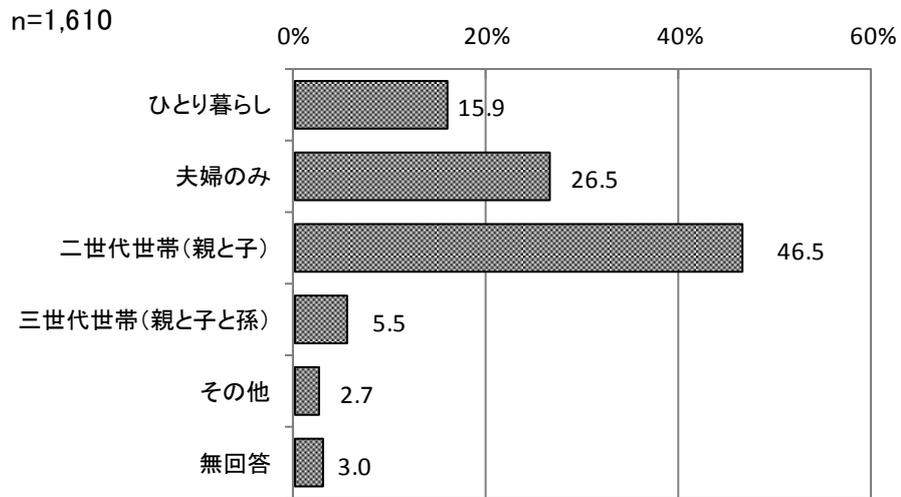
(日本国籍以外)

	中国	韓国	台湾	ベトナム	タイ	インドネシア	国籍不明
人数	6	3	3	1	1	1	4

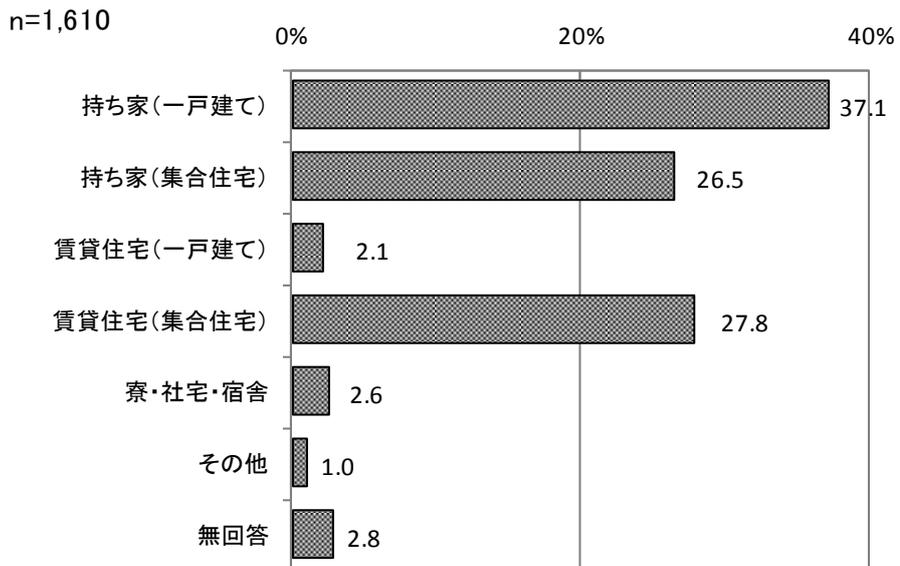
【住まいの地域】



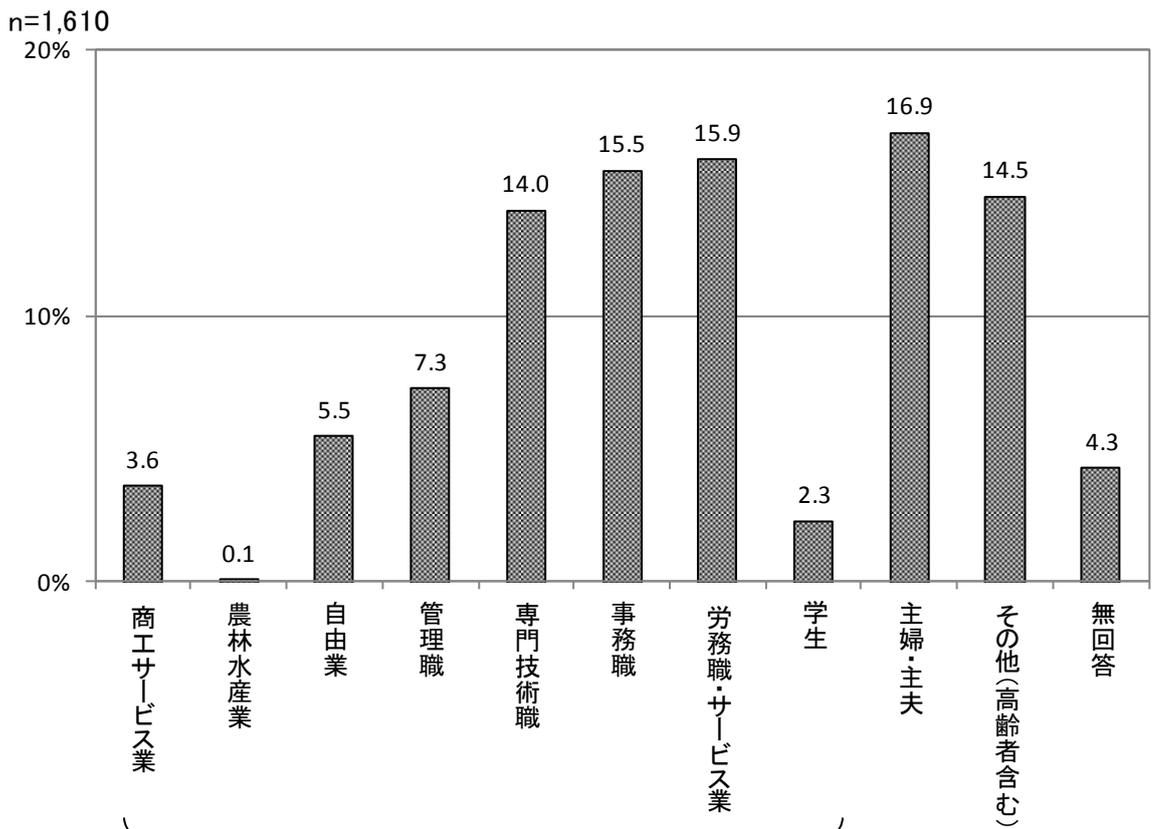
【家族構成】



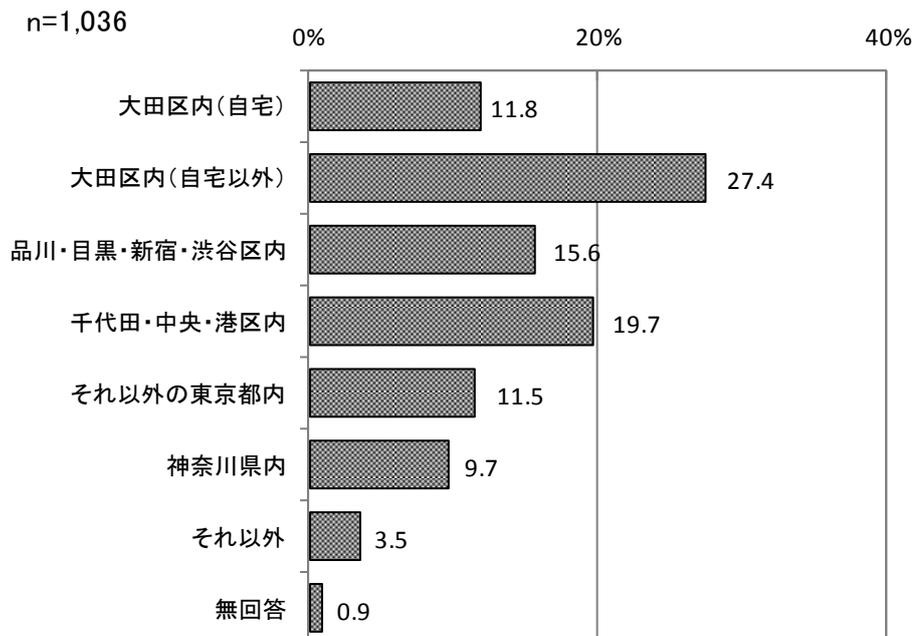
【住まいの種類】



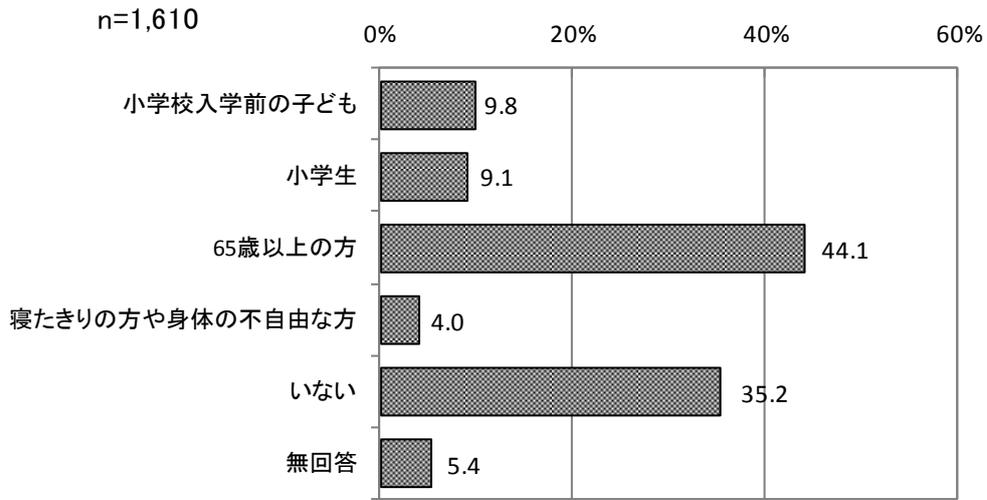
【職業】



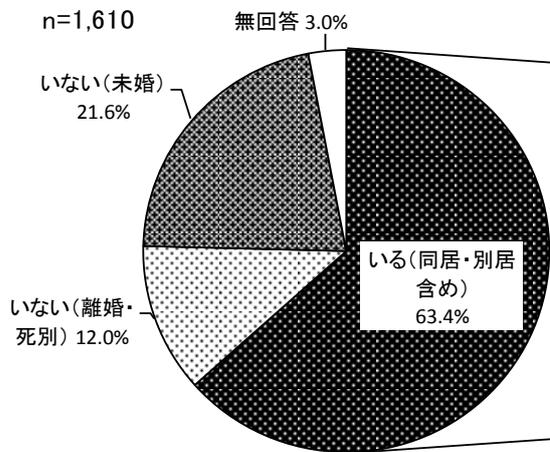
【主な通勤・通学先】



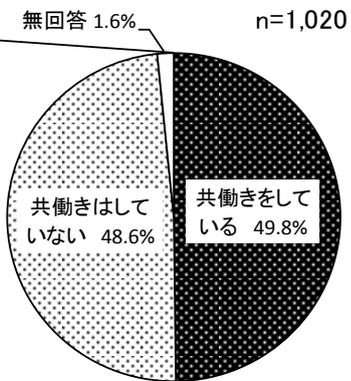
【同居家族】



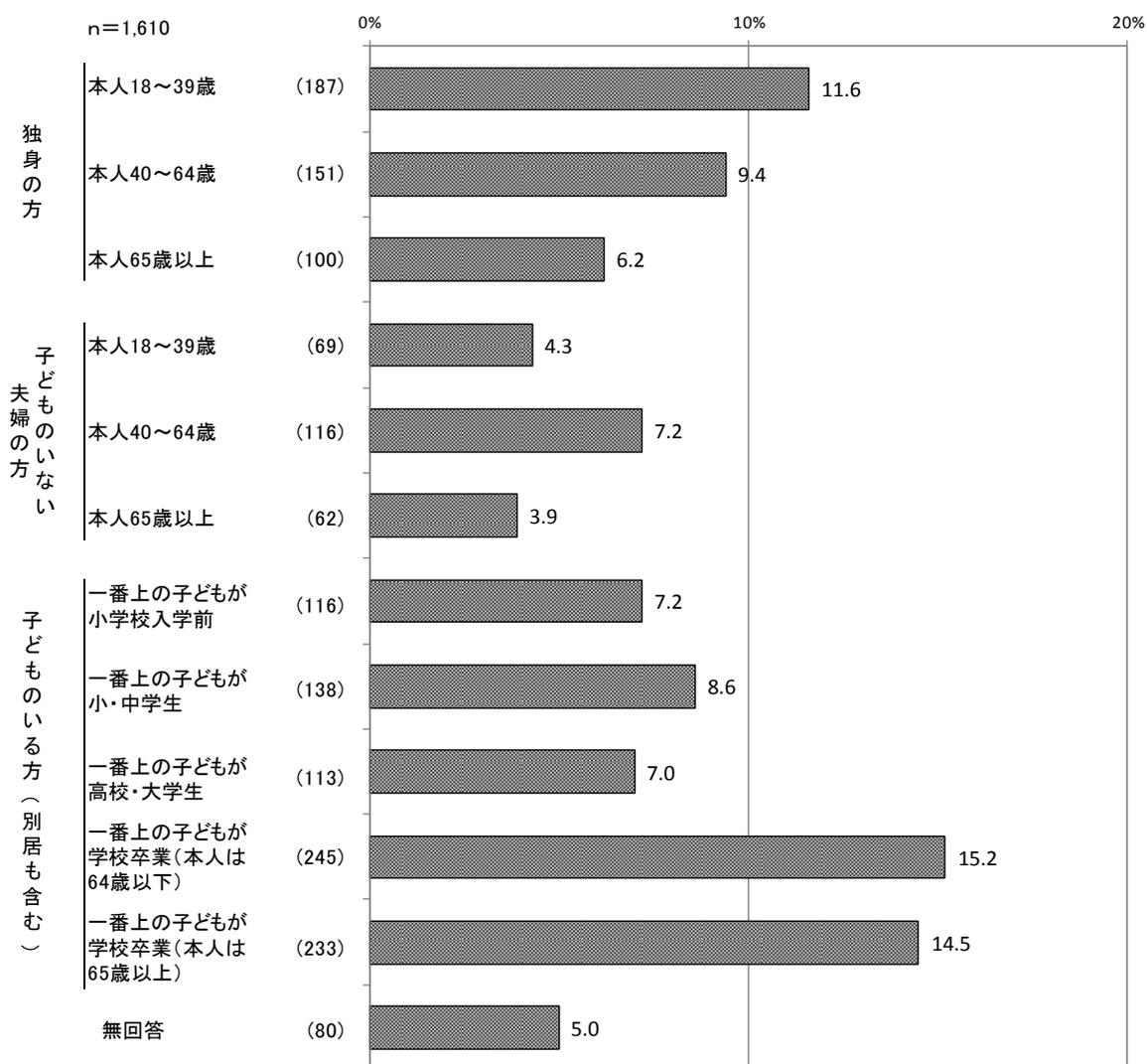
【配偶者の有無】



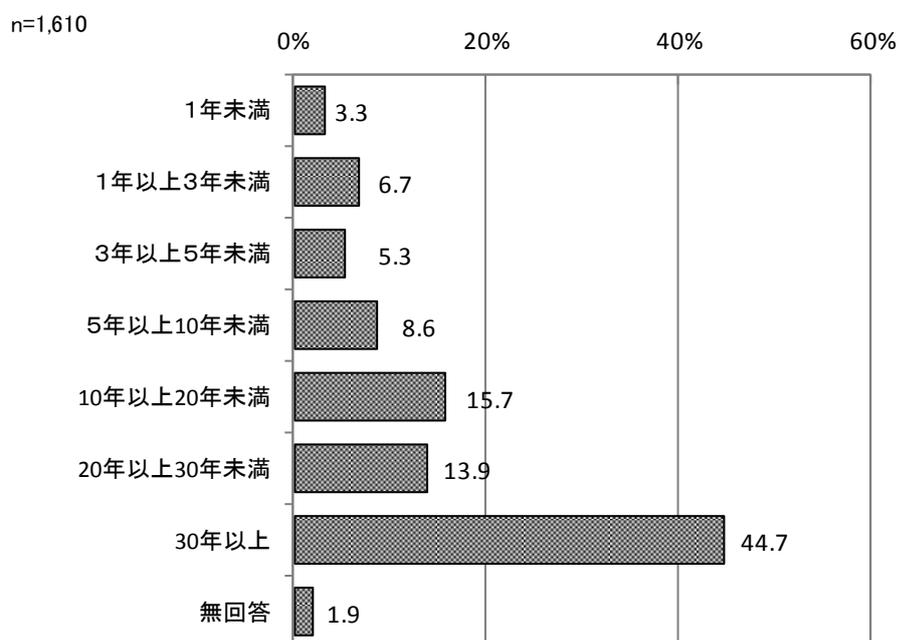
【(配偶者のいる方) 共働きについて】



【ご自身のステージ】



【大田区にお住まいの期間】



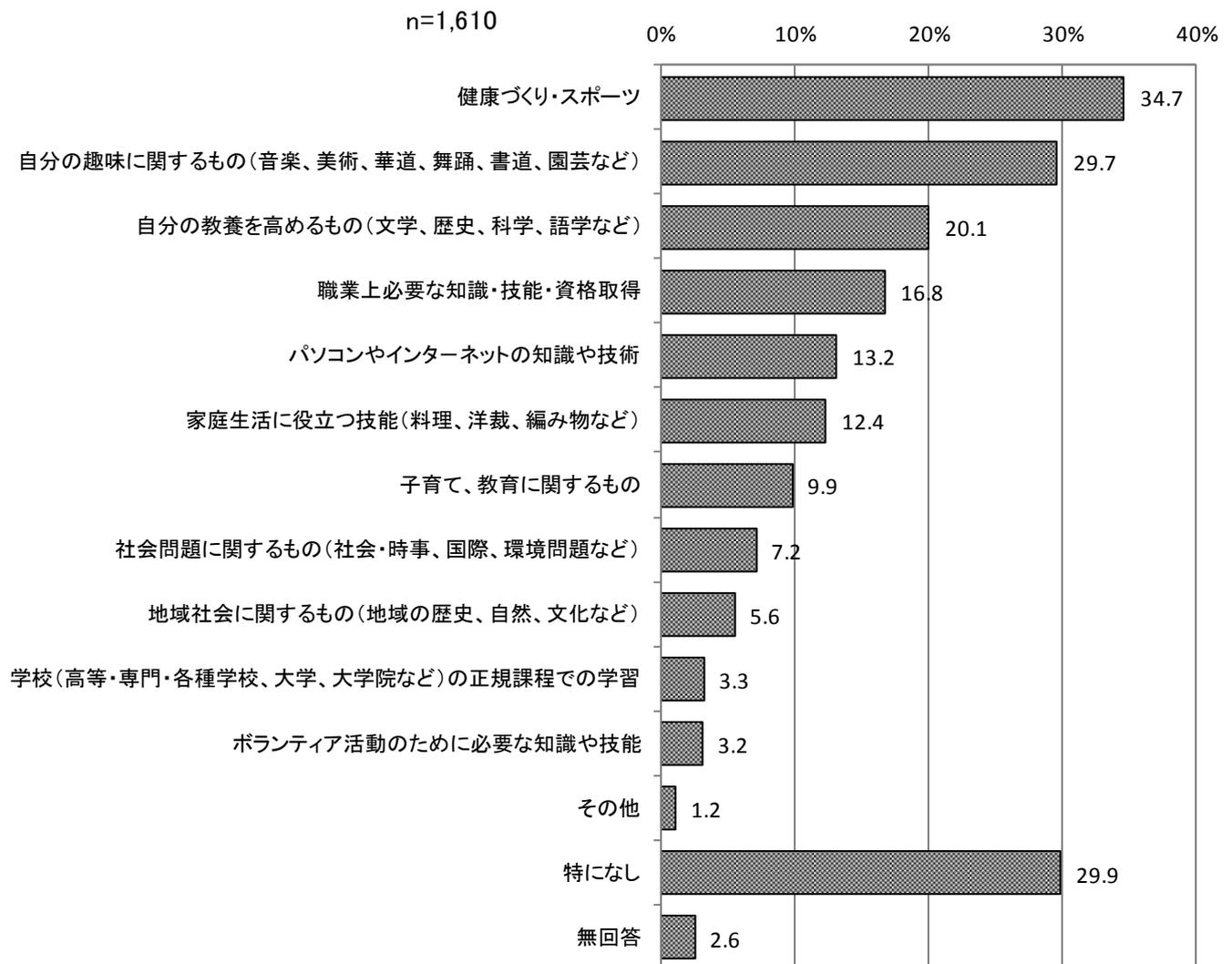
2 生涯学習について

(1) 最近1年間の生涯学習

◎ 「健康づくり・スポーツ」が3割台半ばで最も高くなっている

問1 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習の活動を行いましたか。(〇はいくつでも)

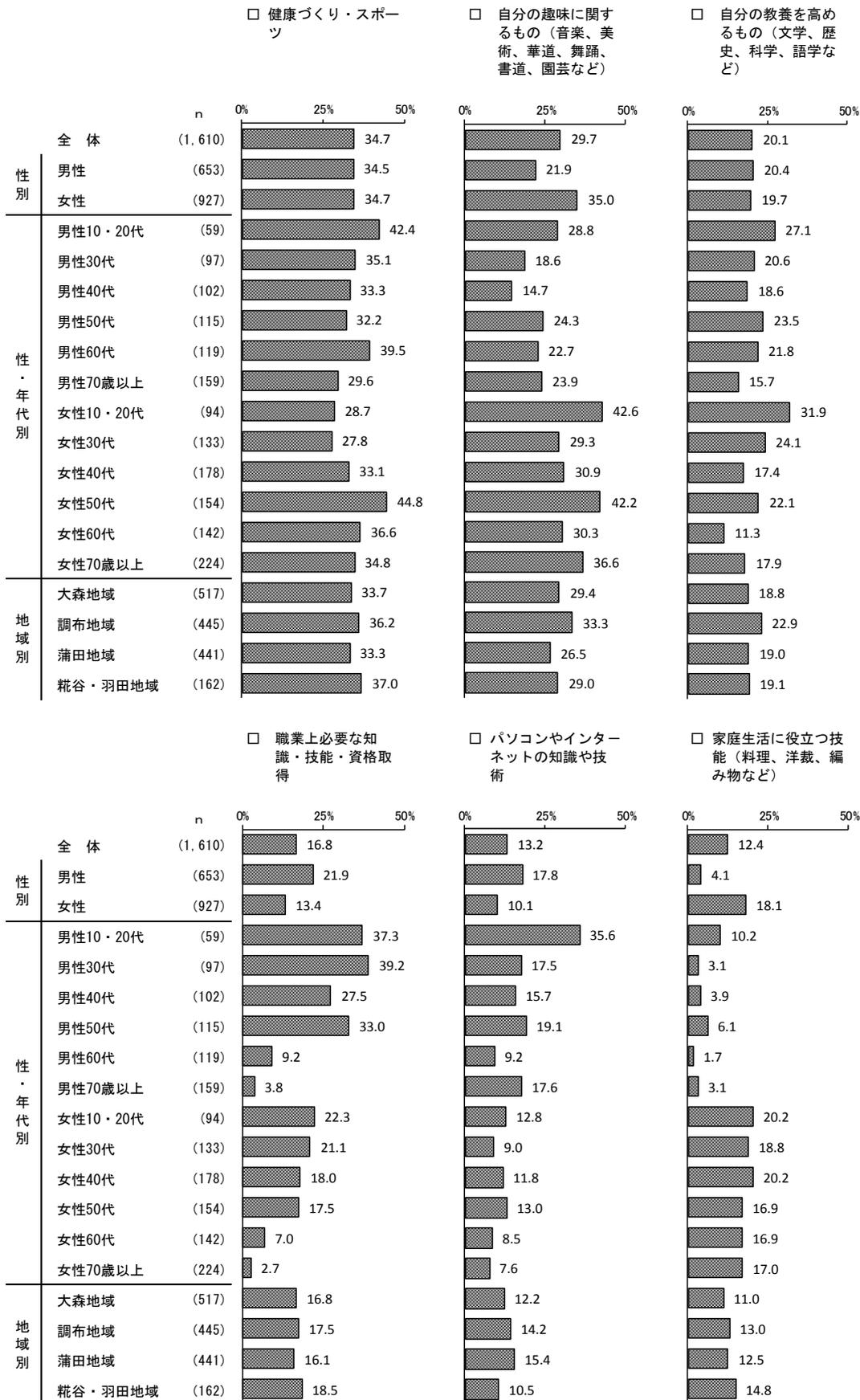
図表2-1 最近1年間の生涯学習



最近1年間の生涯学習について聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」が34.7%で最も高く、次いで「自分の趣味に関するもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(29.7%)、「自分の教養を高めるもの(文学、歴史、科学、語学など)」(20.1%)となっている。

一方、「特になし」は29.9%となっている。(図表2-1)

図表2-2 最近1年間の生涯学習（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



最近1年間の生涯学習について、上位6項目を性別で見ると、「健康づくり・スポーツ」では男女ともに大きな差異は見られない。「自分の趣味に関するもの」では男性(21.9%)、女性(35.0%)と、女性が男性を13.1ポイント上回っている。「職業上必要な知識・技能・資格取得」では男性(21.9%)、女性(13.4%)と、男性が女性を8.5ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「健康づくり・スポーツ」では男性10・20代、男性60代、女性50代が4割弱又は4割台で他の年代より高くなっている。「自分の趣味に関するもの」では男性の30代~40代が1割台と他の年代より低くなっており、全ての年代で女性は男性を上回っている。「自分の教養を高めるもの」では男性10・20代が27.1%、女性10・20代が31.9%と、それぞれ最も高くなっている。「職業上必要な知識・技能・資格取得」では男性30代が39.2%と最も高く、全ての年代で男性が女性を上回っている。

地域別で見ると、「健康づくり・スポーツ」では全ての地域で3割台半ばとなっている。(図表2-2)

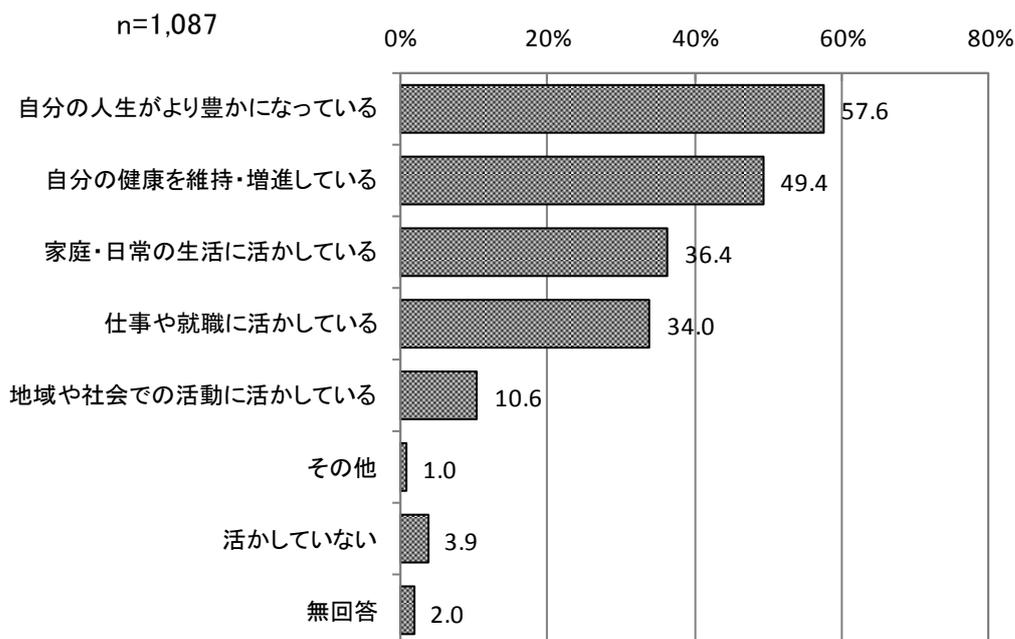
(2) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか

◎ 「自分の人生がより豊かになっている」が6割弱で最も高くなっている

【問1で「1」～「12」と回答された方】

問1-1 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。
(〇はいくつでも)

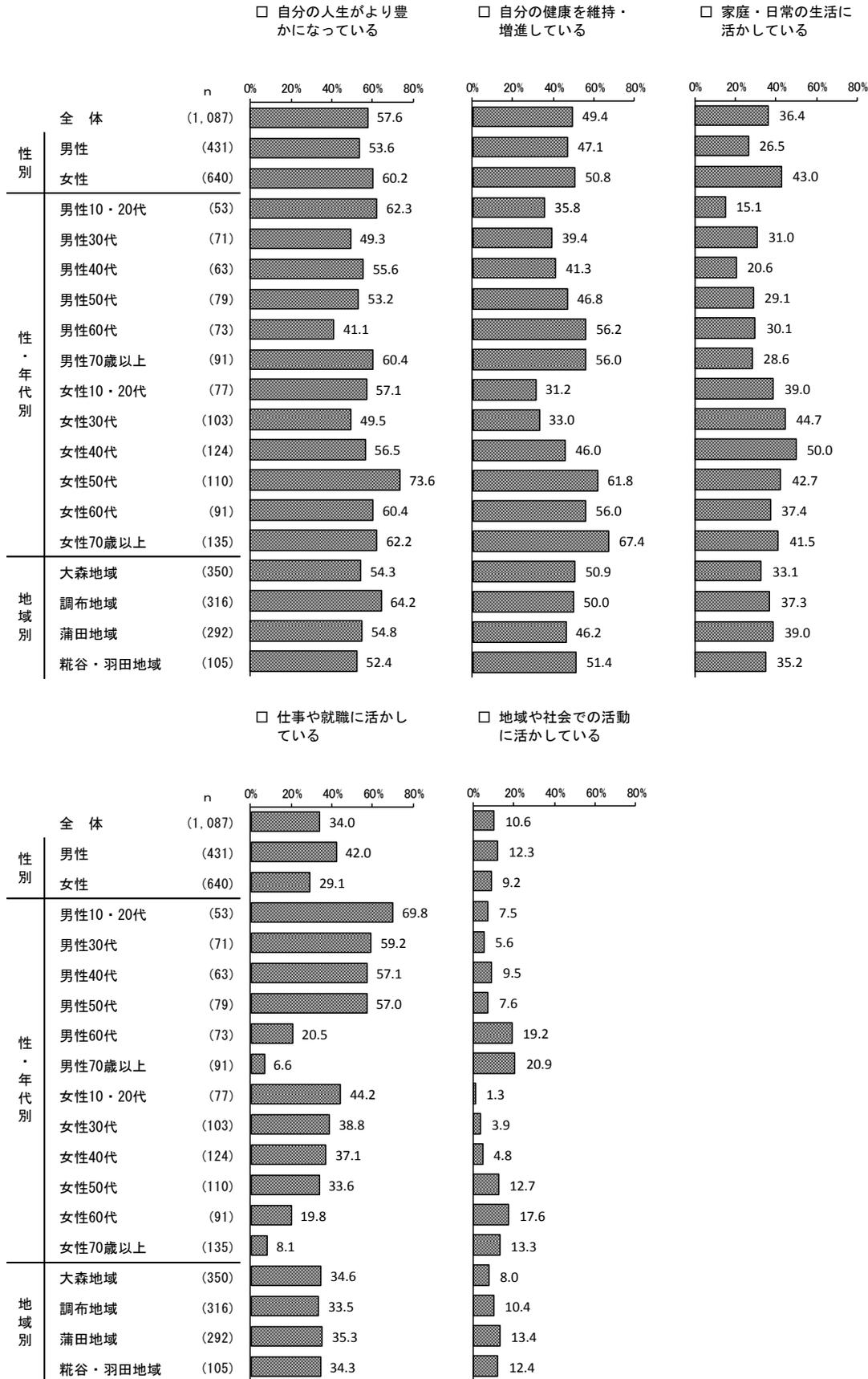
図表2-3 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか



最近1年間に生涯学習を行った方の中で身に付けた知識・技能・経験について聞いたところ、「自分の人生がより豊かになっている」が57.6%で最も高く、次いで「自分の健康を維持・増進している」(49.4%)、「家庭・日常生活に活かしている」(36.4%)となっている。

一方、「活かしていない」は3.9%となっている。(図表2-3)

図表2-4 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか
(性別・性/年代別・地域別 上位5項目)



最近1年間に生涯学習を行った方の中で身に付けた知識・技能・経験について、上位5項目を性別で見ると、「自分の人生がより豊かになっている」、「自分の健康を維持・増進している」、「家庭・日常の生活に活かしている」で、女性が男性を上回っている。

性／年代別で見ると、「自分の人生がより豊かになっている」では男性10・20代と男性70歳以上、女性60歳以上で6割を超えており、女性50代は73.6%で最も高くなっている。「自分の健康を維持・増進している」では男女とも概ね年代が上がるにつれて割合が高くなっている。「家庭・日常の生活に活かしている」では全ての年代で女性が男性を上回っている。「仕事や就職に活かしている」では10・20代～50代においては男性が女性を20ポイント以上上回っている。「地域や社会での活動に活かしている」では男性の60歳以上で約2割、女性の50歳以上で1割台半ば又は2割弱と他の年代より高くなっている。

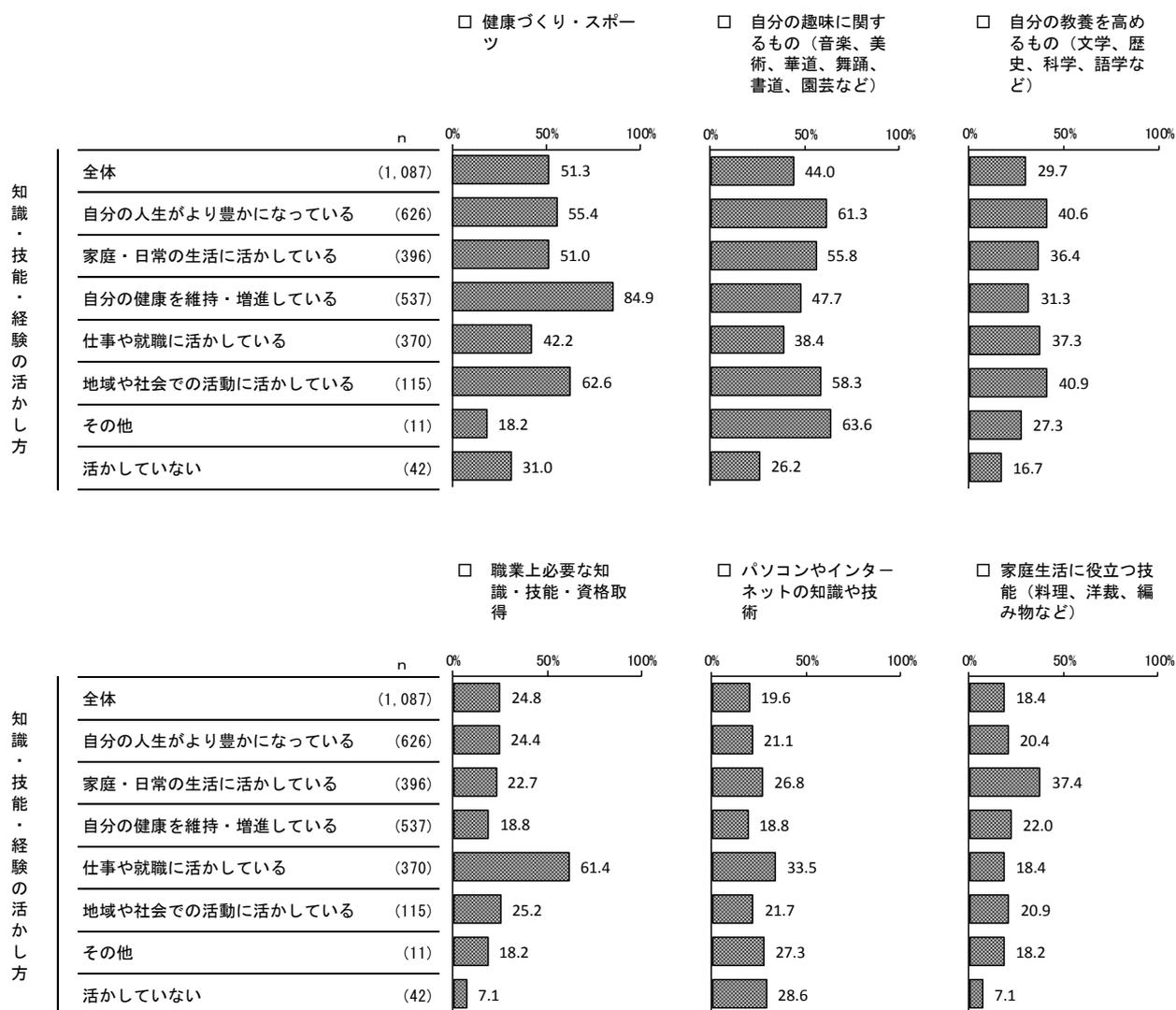
地域別で見ると、「自分の人生がより豊かになっている」では調布地域が64.2%で最も高くなっている。「家庭・日常の生活に活かしている」では蒲田地域が39.0%で最も高くなっている。「仕事や就職に活かしている」では地域による大きな差異は見られない。(図表2-4)

問1×問1-1

「最近1年間の生涯学習」×「生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしているか」

(上位6項目)

図表2-5



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

最近1年間に行った生涯学習について、上位6項目を知識・技能・経験の活かし方別でみると、「健康づくり・スポーツ」では【自分の健康を維持・増進している】と回答した人が84.9%で最も高く、次いで【地域や社会での活動に活かしている】(62.6%)となっている。「自分の趣味に関するもの」では【自分の人生がより豊かになっている】が61.3%で最も高くなっている。「自分の教養を高めるもの」では【自分の人生がより豊かになっている】と【地域や社会での活動に活かしている】が4割を超えている。「職業上必要な知識・技能・資格取得」では【仕事や就職に活かしている】が61.4%で最も高くなっている。(図表2-5)

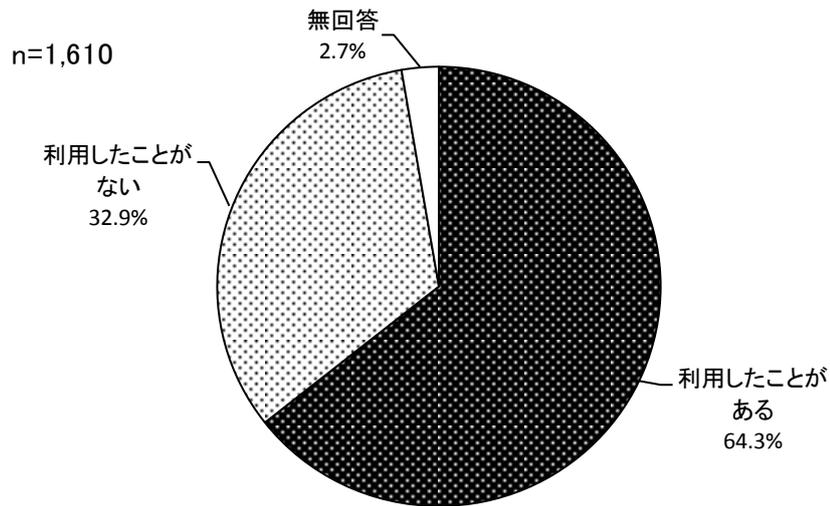
3 図書館の利用

(1) 区立図書館の利用の有無

◎ 「利用したことがある」が6割台半ばとなっている

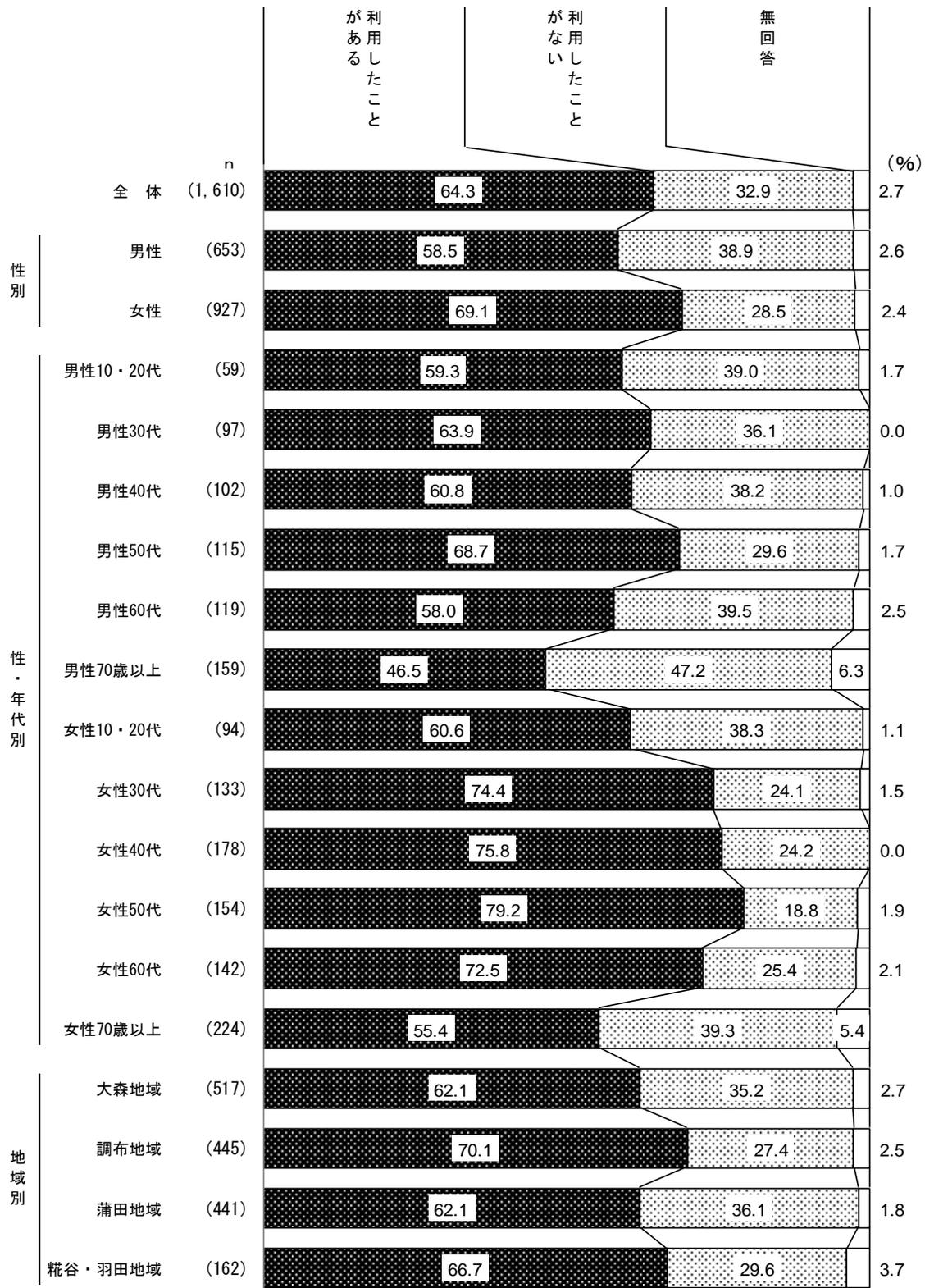
問2 あなたは、区立図書館を利用したことがありますか。(〇は1つ)

図表3-1 区立図書館の利用の有無



区立図書館の利用の有無について聞いたところ、「利用したことがある」は64.3%、「利用したことがない」は32.9%となっている。(図表3-1)

図表3-2 区立図書館の利用の有無（性別・性/年代別・地域別）



区立図書館の利用の有無について、性別で見ると、「利用したことがある」では男性(58.5%)、女性(69.1%)と、女性が男性を10.6ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「利用したことがある」では全ての年代で女性が男性を上回っている。また、男性70歳以上では「利用したことがある」が46.5%、「利用したことがない」が47.2%で、唯一「利用したことがない」が「利用したことがある」を上回っている。

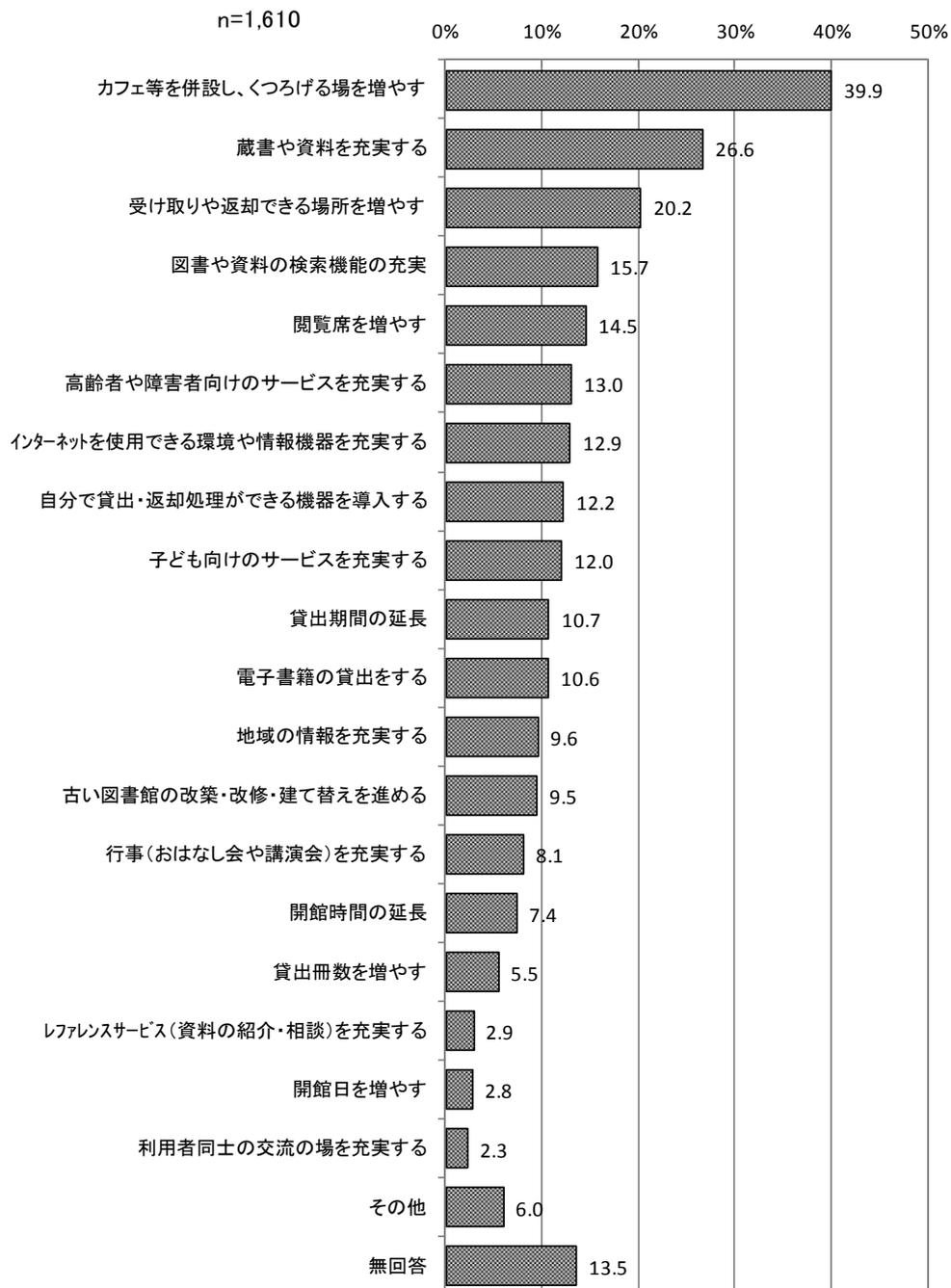
地域別で見ると、「利用したことがある」は調布地域が70.1%で最も高くなっている。(図表3-2)

(2) 区立図書館への要望

◎ 「カフェ等を併設し、くつろげる場を増やす」が約4割で最も高くなっている

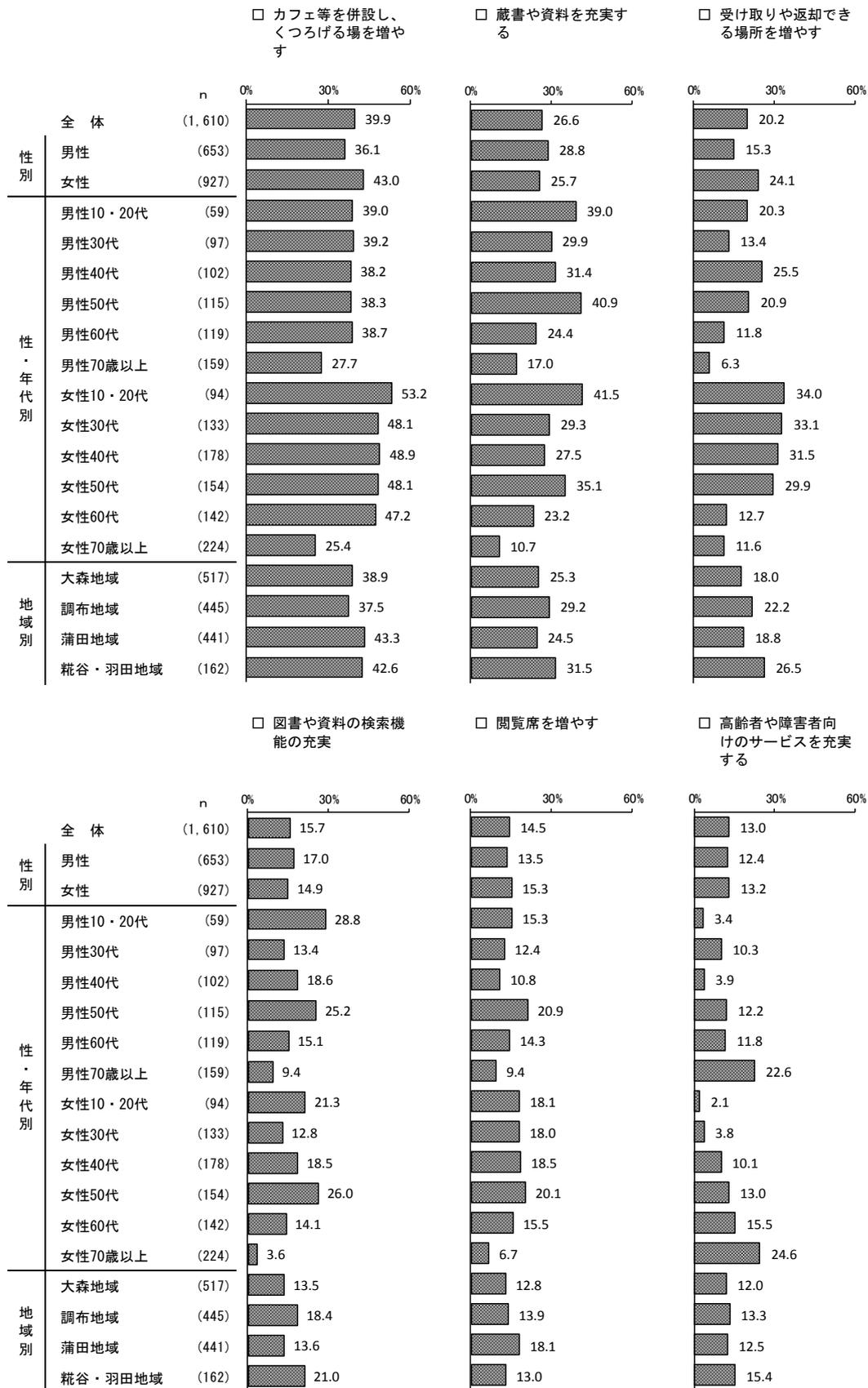
問3 今後、図書館に積極的に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表3-3 区立図書館への要望



今後、区立図書館に積極的に取り組んでほしいことを聞いたところ、「カフェ等を併設し、くつろげる場を増やす」が39.9%で最も高く、次いで「蔵書や資料を充実する」(26.6%)、「受け取りや返却できる場所を増やす」(20.2%)となっている。(図表3-3)

図表3-4 区立図書館への要望（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



今後、区立図書館に積極的に取り組んでほしいことについて、上位6項目を性別でみると、「カフェ等を併設し、くつろげる場を増やす」と「受け取りや返却できる場所を増やす」では女性が男性を6ポイント以上上回っており、「蔵書や資料を充実する」と「図書や資料の検索機能の充実」では男性が女性を上回っている。

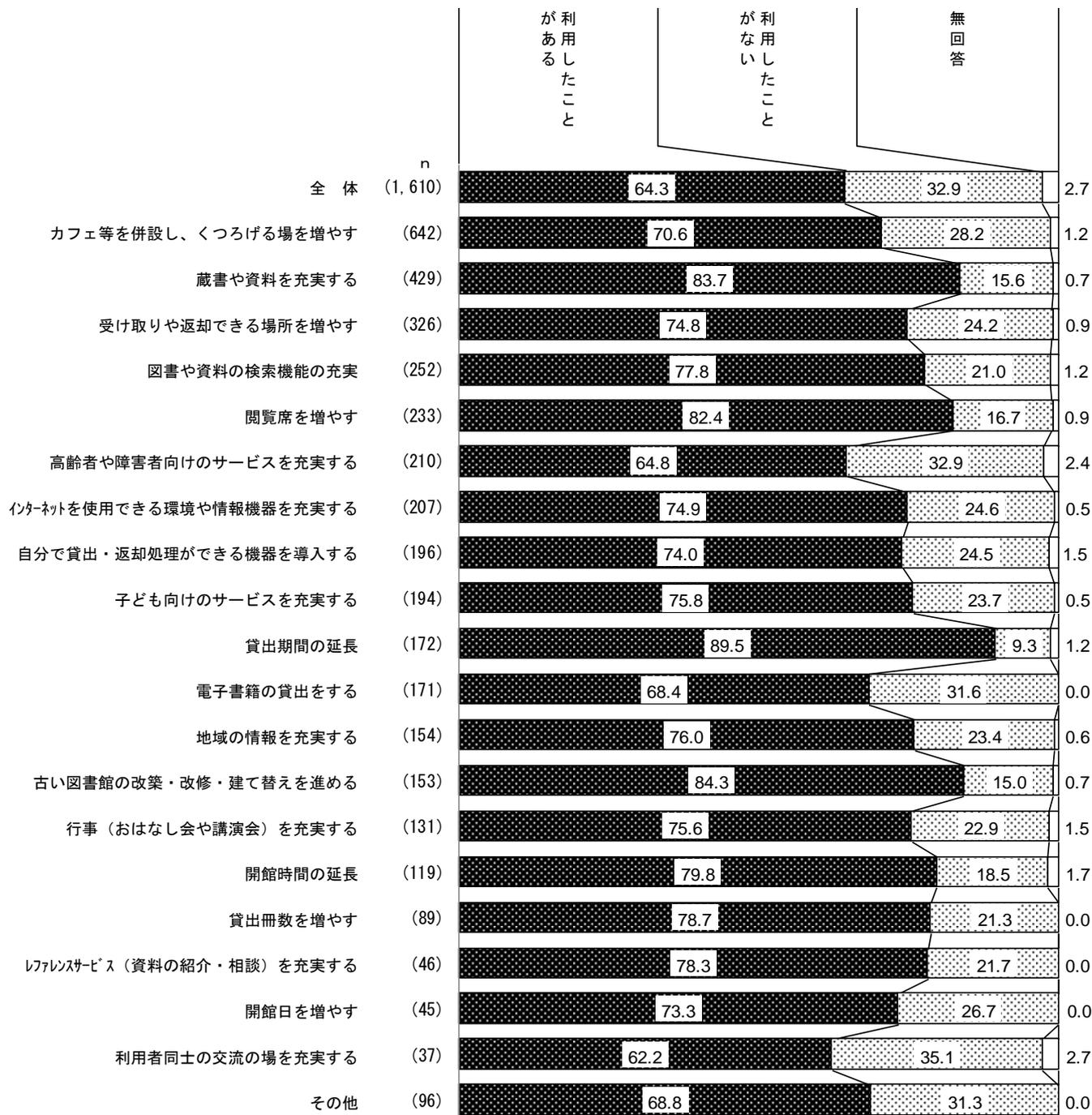
性／年代別でみると、「カフェ等を併設し、くつろげる場を増やす」では男性の10・20代～60代で約4割、女性の10・20代～60代で概ね5割となっている。「蔵書や資料を充実する」では男性は10・20代と50代で概ね4割と、他の年代よりも高くなっている。「受け取りや返却できる場所を増やす」では女性の10・20代～50代では3割弱又は3割台となっている。「図書や資料の検索機能の充実」では男女とも10・20代と50代で2割台と、他の年代よりも高くなっている。「閲覧席を増やす」では男女とも50代が、「高齢者や障害者向けのサービスを充実する」では男女とも70歳以上で2割を超えて他の年代よりも高くなっている。

地域別でみると、「カフェ等を併設し、くつろげる場を増やす」では蒲田地域と糀谷・羽田地域では4割台半ばとなっている。「蔵書や資料を充実する」、「受け取りや返却できる場所を増やす」、「図書や資料の検索機能の充実」、「高齢者や障害者向けのサービスを充実する」では糀谷・羽田地域が最も高く、次いで調布地域となっている。「閲覧席を増やす」では蒲田地域が18.1%で最も高くなっている。(図表3-4)

問2 × 問3

「区立図書館の利用の有無」 × 「区立図書館への要望」

図表3-5



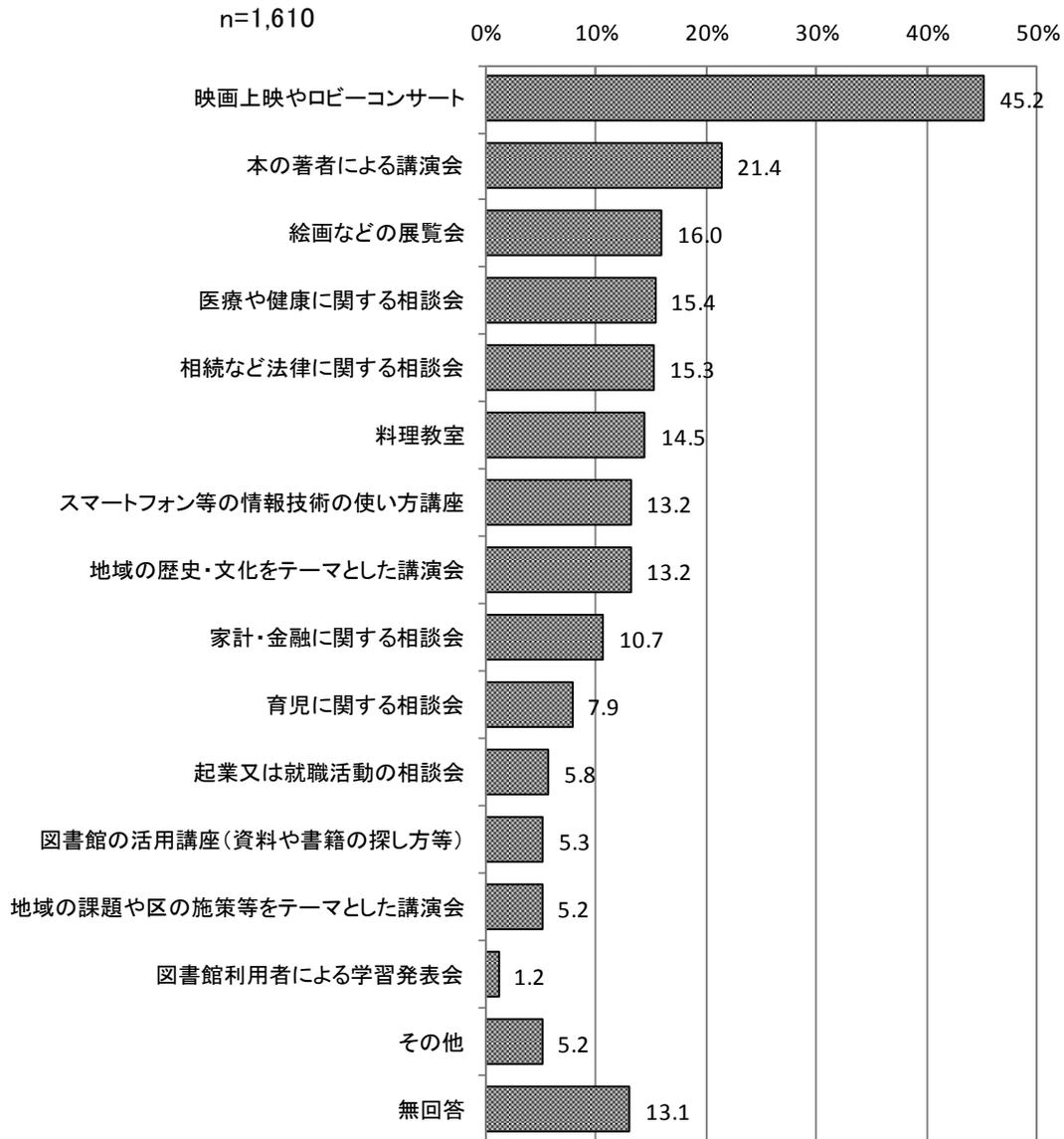
区立図書館の利用の有無について、要望別にみると、「利用したことがある」では【貸出期間の延長】が89.5%で最も高く、次いで【古い図書館の改築・改修・建て替えを進める】(84.3%)、【蔵書や資料を充実する】(83.7%)となっている。(図表3-5)

(3) 参加したいイベント

◎ 「映画上映やロビーコンサート」が4割台半ばで最も高くなっている

問4 あなたは、区立図書館でどのようなイベントがあれば参加してみたいですか。(〇はいくつでも)

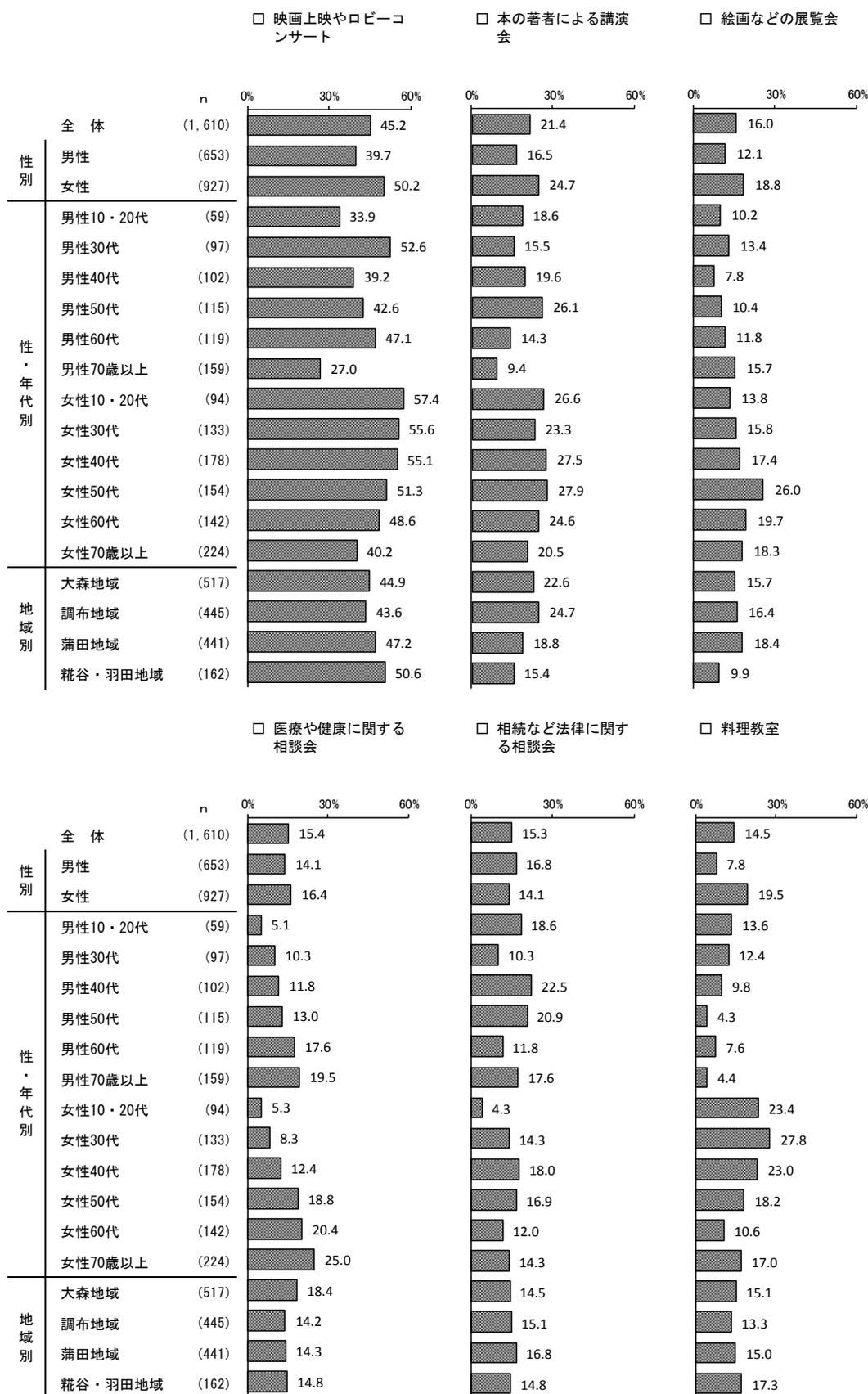
図表3-6 区立図書館で参加してみたいイベント



区立図書館で参加してみたいイベントを聞いたところ、「映画上映やロビーコンサート」が45.2%で最も高く、次いで「本の著者による講演会」(21.4%)となっている。

また、「絵画などの展覧会」、「医療や健康に関する相談会」、「相続など法律に関する相談会」、「料理教室」は1割台半ばとなっており、大きな差異は見られない。(図表3-6)

図表3-7 区立図書館で参加してみたいイベント（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



区立図書館で参加してみたいイベントについて、上位6項目を性別で見ると、「相続など法律に関する相談会」を除いて女性が男性を上回っている。

性／年代別で「映画上映やロビーコンサート」を見ると、男性では30代が52.6%で最も高くなっており、女性では10・20代の57.4%をピークに、10・20代～50代は5割台となっている。「本の著者による講演会」では男性50代と女性の全ての年代で2割を超えている。「絵画などの展覧会」では男性40代を除いて1割を超えており、女性50代が26.0%で最も高くなっている。「医療や健康に関する相談会」では男女とも概ね年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

地域別で見ると、「映画上映やロビーコンサート」では糀谷・羽田地域が過半数を占めて高くなっている。「本の著者による講演会」では大森地域と調布地域で2割を超えている。「医療や健康に関する相談会」では大森地域が18.4%で最も高くなっている。「相続など法律に関する相談会」では地域による差異は見られない。(図表3-7)

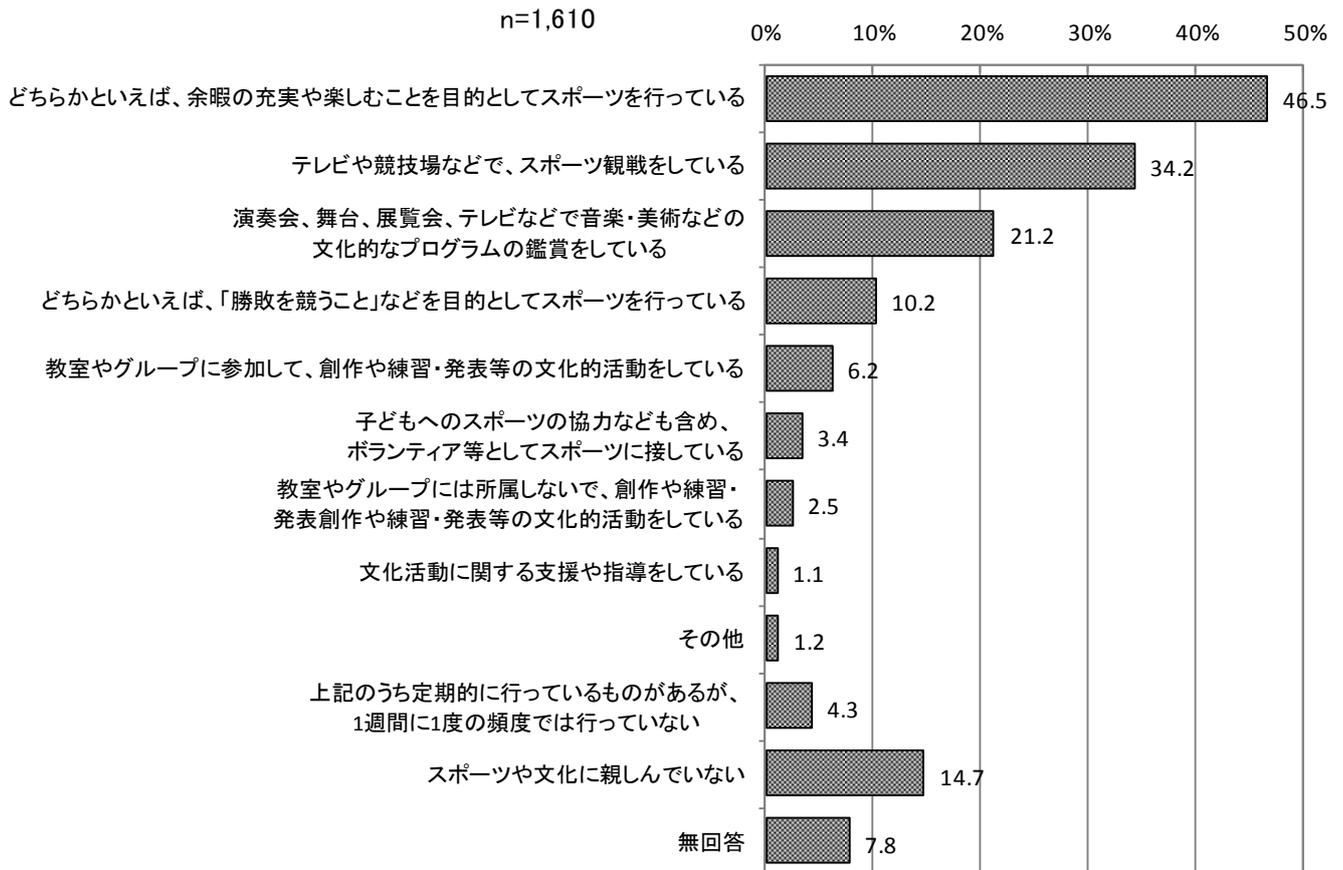
4 スポーツ・文化活動について

(1) スポーツや文化への親しみ

◎ 「どちらかといえば、余暇の充実や楽しむことを目的としてスポーツを行っている」が4割台半ばで最も高くなっている

問5 あなたは、普段どのような形でスポーツや文化に親しんでいますか。次のうち、1週間に1度以上行っているものを教えてください。(〇はいくつでも)

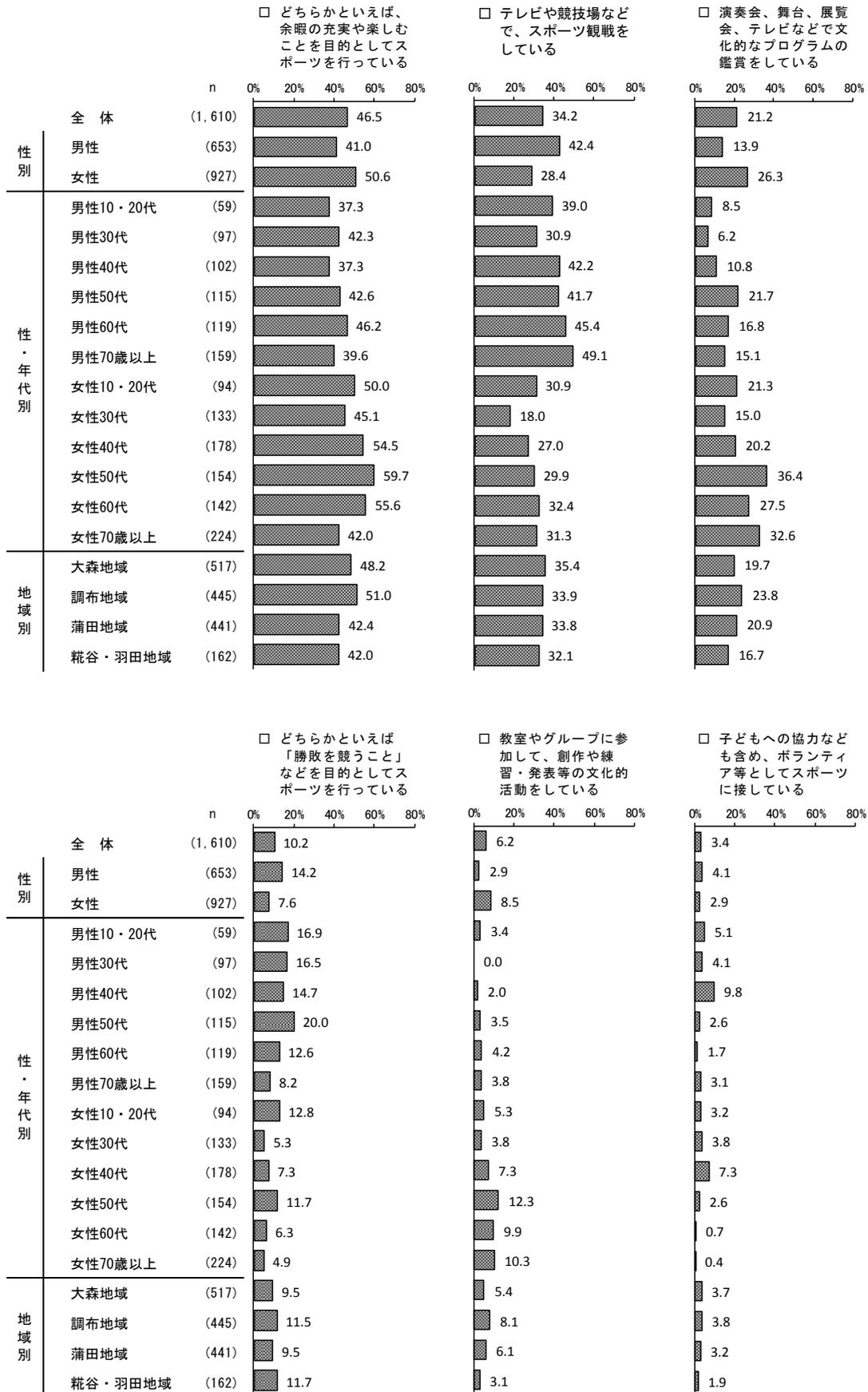
図表4-1 スポーツや文化への親しみ



普段どのような形でスポーツや文化に親しんでいるかを聞いたところ、「どちらかといえば、健康・美容を意識した運動（犬の散歩、ウォーキング、職場での階段使用等）や仲間との交流を楽しむレクリエーション等、余暇の充実や楽しむことを目的としてスポーツを行っている」が46.5%で最も高く、次いで「テレビや競技場などで、スポーツ観戦をしている」（34.2%）、「演奏会、舞台、展覧会、テレビなどで音楽・美術などの文化的なプログラムの鑑賞をしている」（21.2%）となっている。

一方、「スポーツや文化に親しんでいない」は14.7%となっている。（図表4-1）

図表4-2 スポーツや文化への親しみ（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



普段どのような形でスポーツや文化に親しんでいるかについて、上位6項目を性別でみると、「どちらかといえば、余暇の充実や楽しむことを目的としてスポーツを行っている」と「演奏会、舞台、展覧会、テレビなどで音楽・美術などの文化的なプログラムの鑑賞をしている」、「教室やグループに参加して、創作や練習・発表等の文化的活動をしている」では女性が男性を上回っている。

性／年代別でみると、「どちらかといえば、余暇の充実や楽しむことを目的としてスポーツを行っている」では、女性50代が59.7%で最も高く、全ての年代で女性が男性を上回っている。「テレビや競技場などで、スポーツ観戦をしている」では男性の40代～70歳以上で4割台と他の年代より高くなっている。「演奏会、舞台、展覧会、テレビなどで音楽・美術などの文化的なプログラムの鑑賞をしている」では女性50代と70歳以上で3割を超えて他の年代より高くなっている。

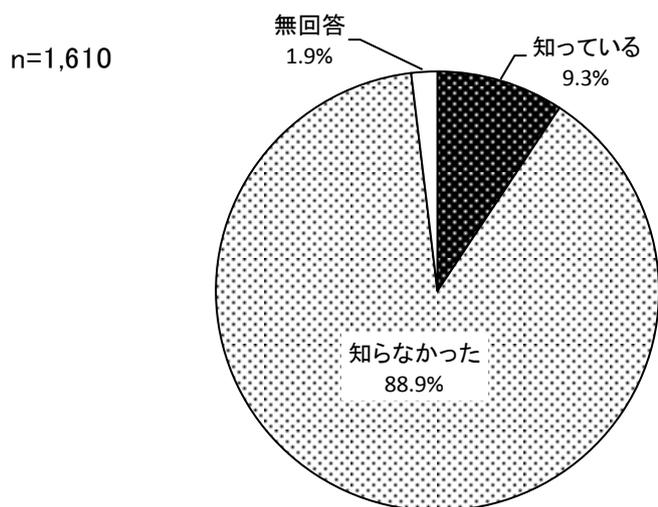
地域別にみると、「どちらかといえば、余暇の充実や楽しむことを目的としてスポーツを行っている」では、調布地域が51.0%で最も高くなっている。「テレビや競技場などで、スポーツ観戦をしている」では、大森地域が35.4%で最も高くなっている。「演奏会、舞台、展覧会、テレビなどで音楽・美術などの文化的なプログラムの鑑賞をしている」では調布地域が23.8%で最も高くなっている。(図表4-2)

(2) オリンピック選手団の事前キャンプ

◎ 「知っている」は約1割となっている

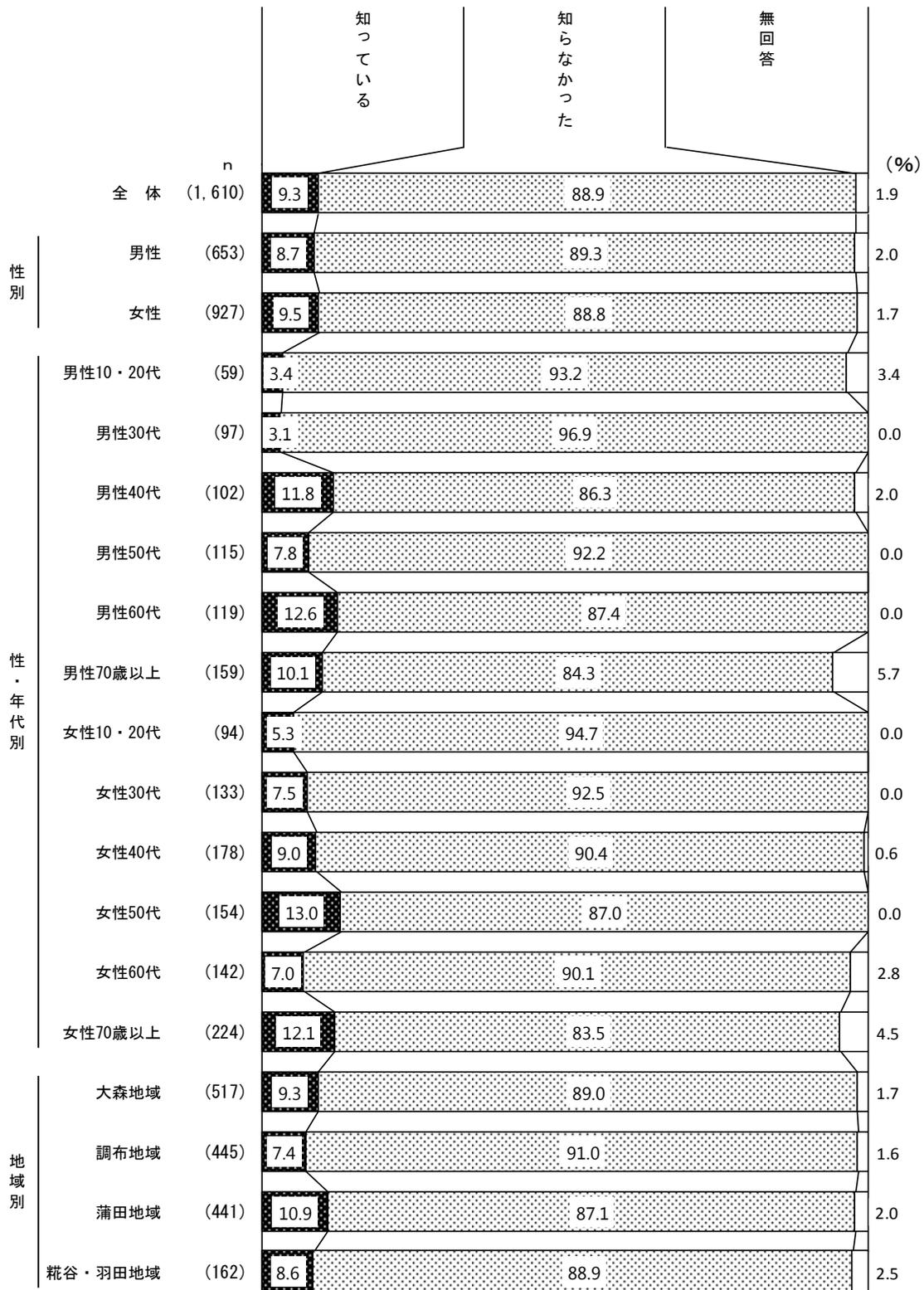
問6 あなたは、2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うことを知っていますか。(〇は1つ)

図表4-3 オリンピック選手団の事前キャンプ



2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うことを知っているかを聞いたところ、「知っている」が9.3%、「知らなかった」が88.9%となっている。(図表4-3)

図表4-4 オリンピック選手団の事前キャンプ（性別・性/年代別・地域別）



オリンピック選手団の事前キャンプについて、性別で見ると、大きな差異は見られない。

性/年代別で見ると、「知っている」では男性の40代と60歳以上、女性の50代と70歳以上で1割を超えている。

地域別で見ると、「知っている」では蒲田地域が10.9%で、最も高くなっている。(図表4-4)

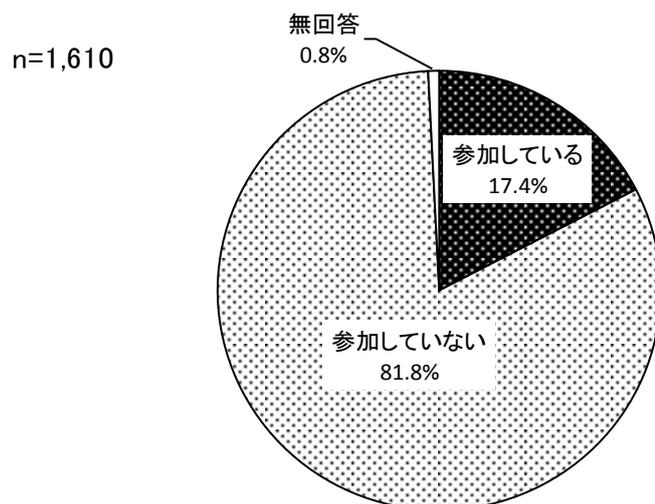
5 ボランティア・地域活動について

(1) 地域活動への参加

◎ 「参加している」が1割台半ばとなっている

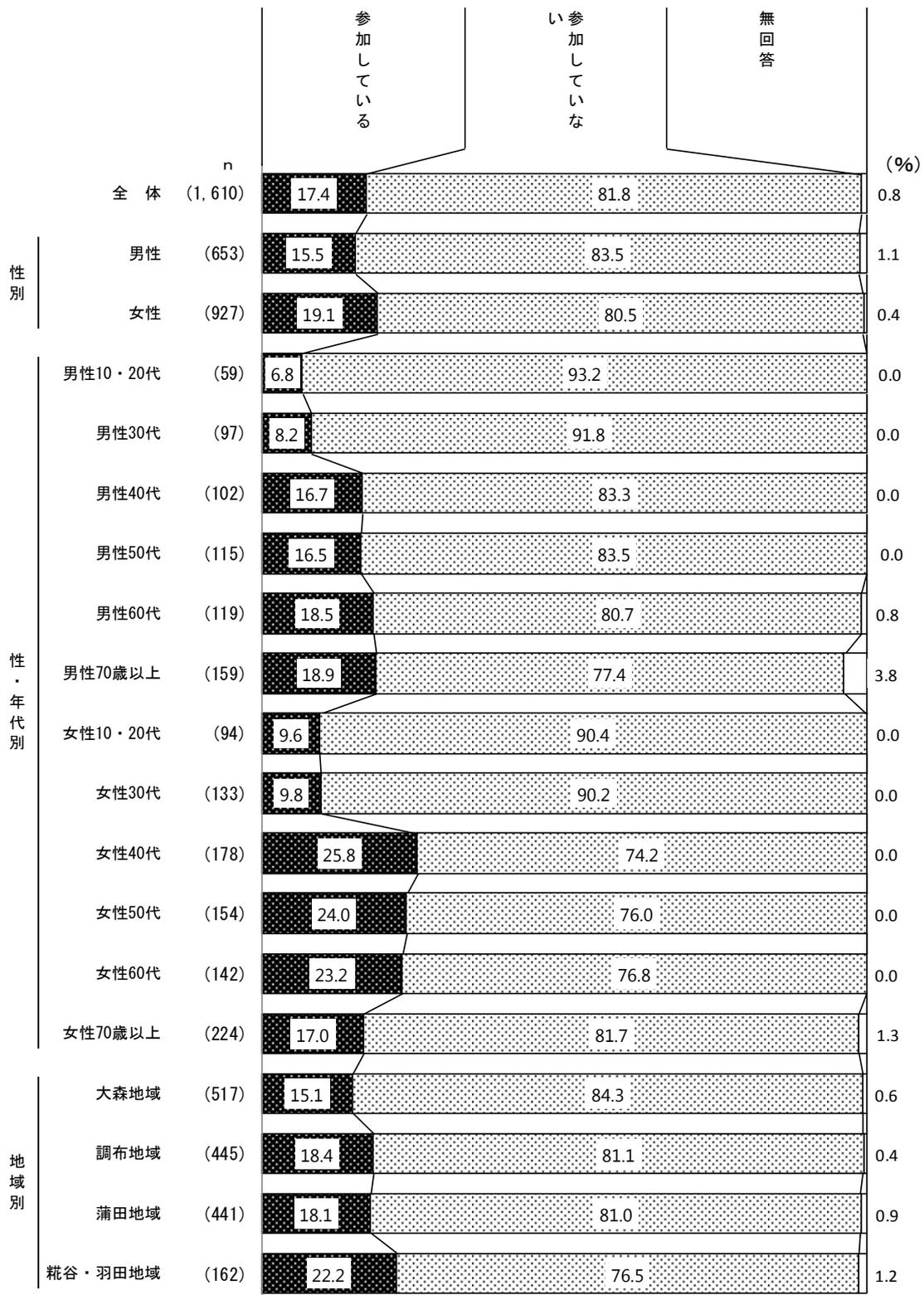
問7 あなたは、ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に現在参加していますか。(○は1つ)

図表5-1 地域活動への参加



ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動について聞いたところ、「参加している」が17.4%、「参加していない」が81.8%となっている。(図表5-1)

図表5-2 地域活動への参加（性別・性/年代別・地域別）



ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動への参加について、性別で見ると、「参加している」では男性（15.5%）、女性（19.1%）と、女性が男性を3.6ポイント上回っている。

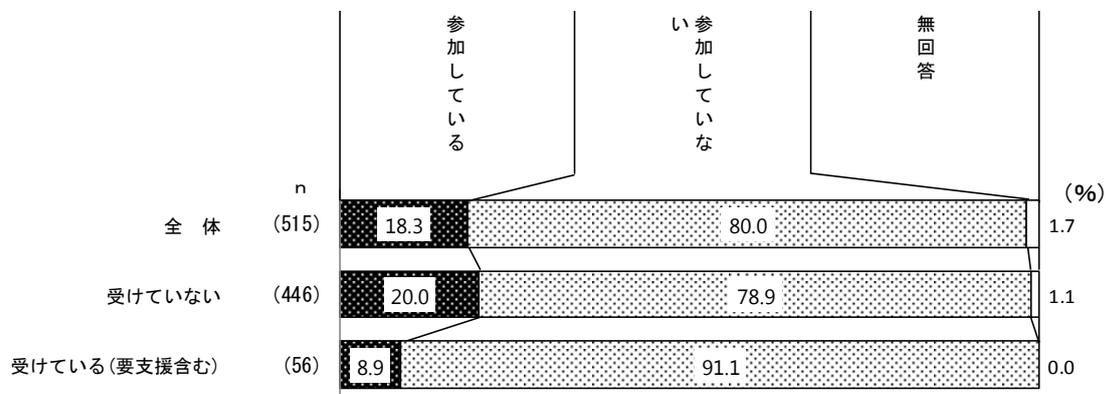
性／年代別で見ると、「参加している」では男性の40歳以上で1割台半ばから2割弱、女性の40代～60代で2割台半ばとなっており、若年層より中・高齢層の方が高くなっている。

地域別で見ると、「参加している」では糞谷・羽田地域が22.2%で最も高くなっている。（図表5－2）

問7×F2-1

「地域活動への参加」×「要介護認定を受けているか」

図表5-3



ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動への参加について、要介護認定別にみると、「参加している」は要介護認定を【受けていない】で20.0%、【受けている（要支援含む）】で8.9%となっている。（図表5-3）

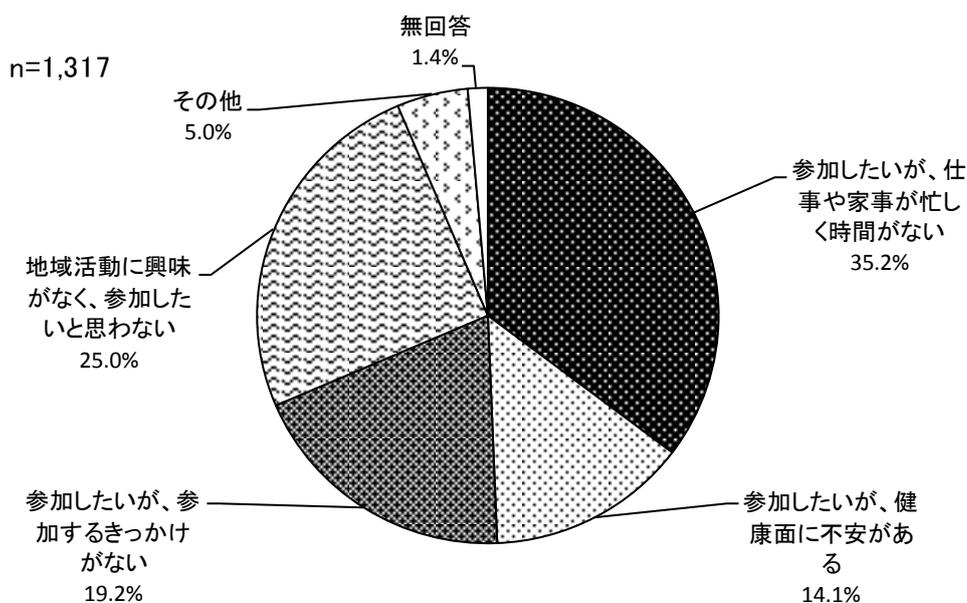
(2) 地域活動に参加しない理由

◎「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」が3割台半ばとなっている

【問7で「2. 参加していない」と回答された方】

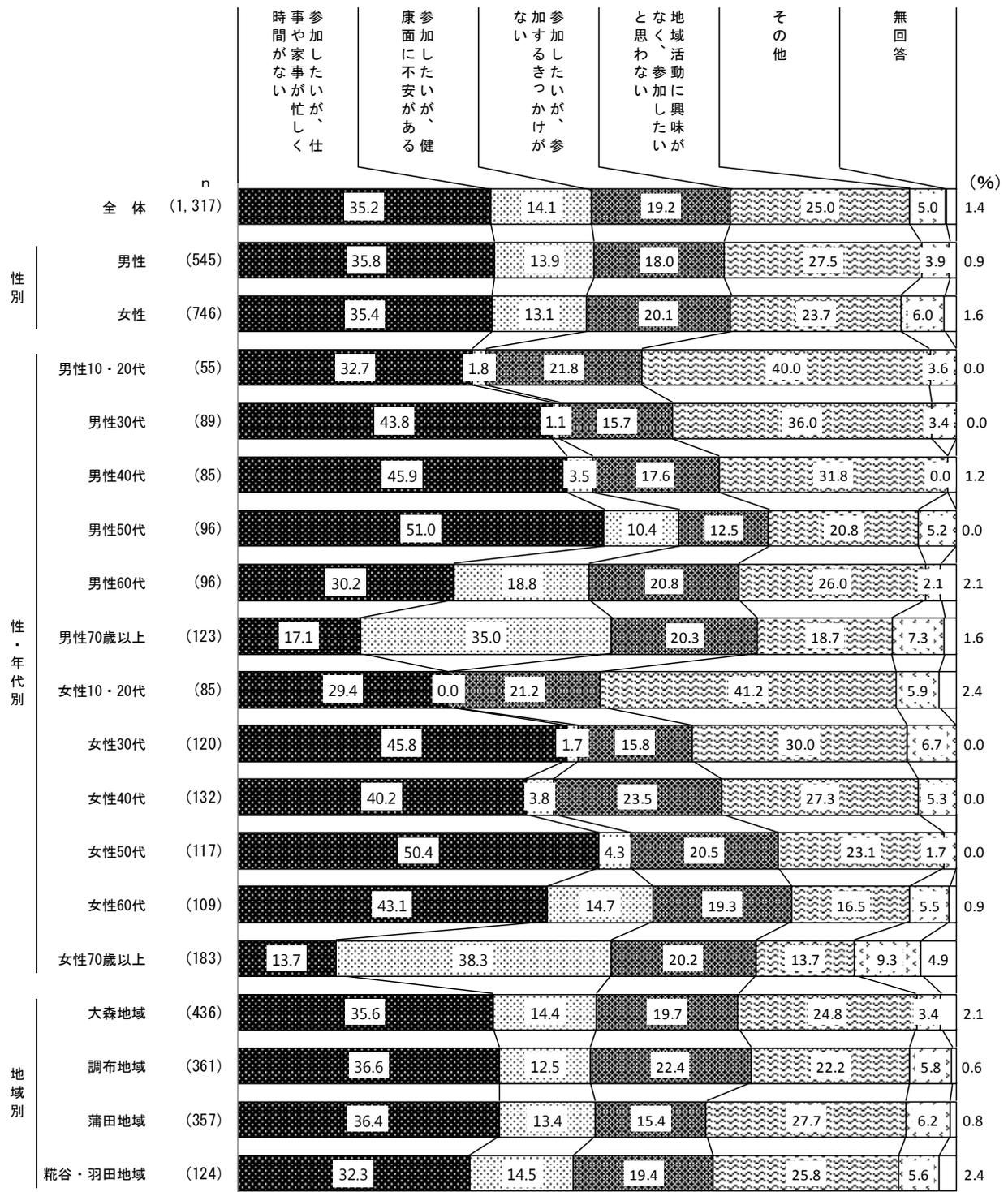
問7-1 現在、地域参加していない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

図表5-4 地域活動に参加しない理由



ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に参加しない理由を聞いたところ、「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」が35.2%で最も高く、次いで「地域活動に興味がなく、参加したいと思わない」(25.0%)、「参加したいが、参加するきっかけがない」(19.2%)、「参加したいが、健康面に不安がある」(14.1%) などとなっている。(図表5-4)

図表5-5 地域活動に参加しない理由（性別・性/年代別・地域別）



ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に参加しない理由について、性別でみると、大きな差異は見られないが「地域活動に興味がなく、参加したいと思わない」では男性(27.5%)、女性(23.7%)と、男性が女性を3.8ポイント上回っている。

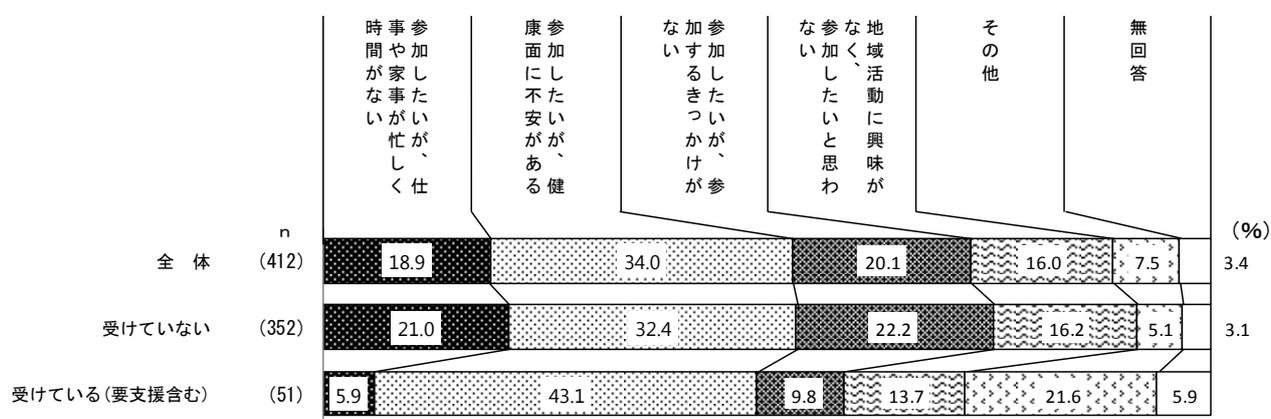
性/年代別でみると、男性では「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」が10・20代~50代にかけて増加傾向となり、60歳以上になると減少する傾向が見られ、女性でも40代を除きほぼ同じ傾向が見られる。「参加したいが、健康面に不安がある」では男女とも60代を過ぎて70歳以上になると急激に増加する。

地域別でみると、「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」では全ての地域で3割台となっている。
(図表5-5)

問7-1 × F2-1

「地域活動に参加しない理由」 × 「要介護認定を受けているか」

図表5-6



ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に参加しない理由について、要介護認定別にみると、「参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない」では【受けていない】が21.0%、【受けている（要支援含む）】が5.9%となっている。「参加したいが、健康面に不安がある」では【受けていない】が32.4%、【受けている（要支援含む）】が43.1%となっている。「参加したいが、参加するきっかけがない」では【受けていない】が22.2%、【受けている（要支援含む）】が9.8%となっている。「地域活動に興味がなく、参加したいと思わない」では【受けていない】が16.2%、【受けている（要支援含む）】が13.7%となっている。（図表5-6）

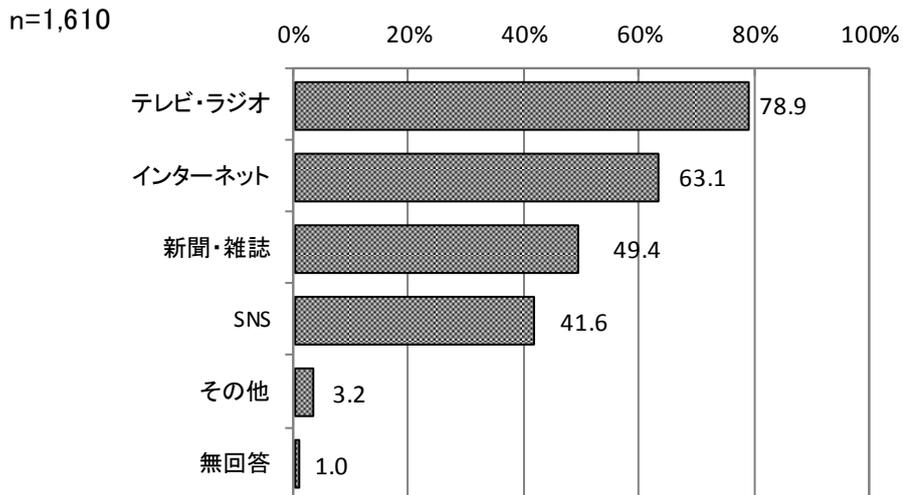
6 生活やレジャーに関する情報について

(1) 情報を得る媒体について

◎ 「テレビ・ラジオ」が8割弱で最も高くなっている

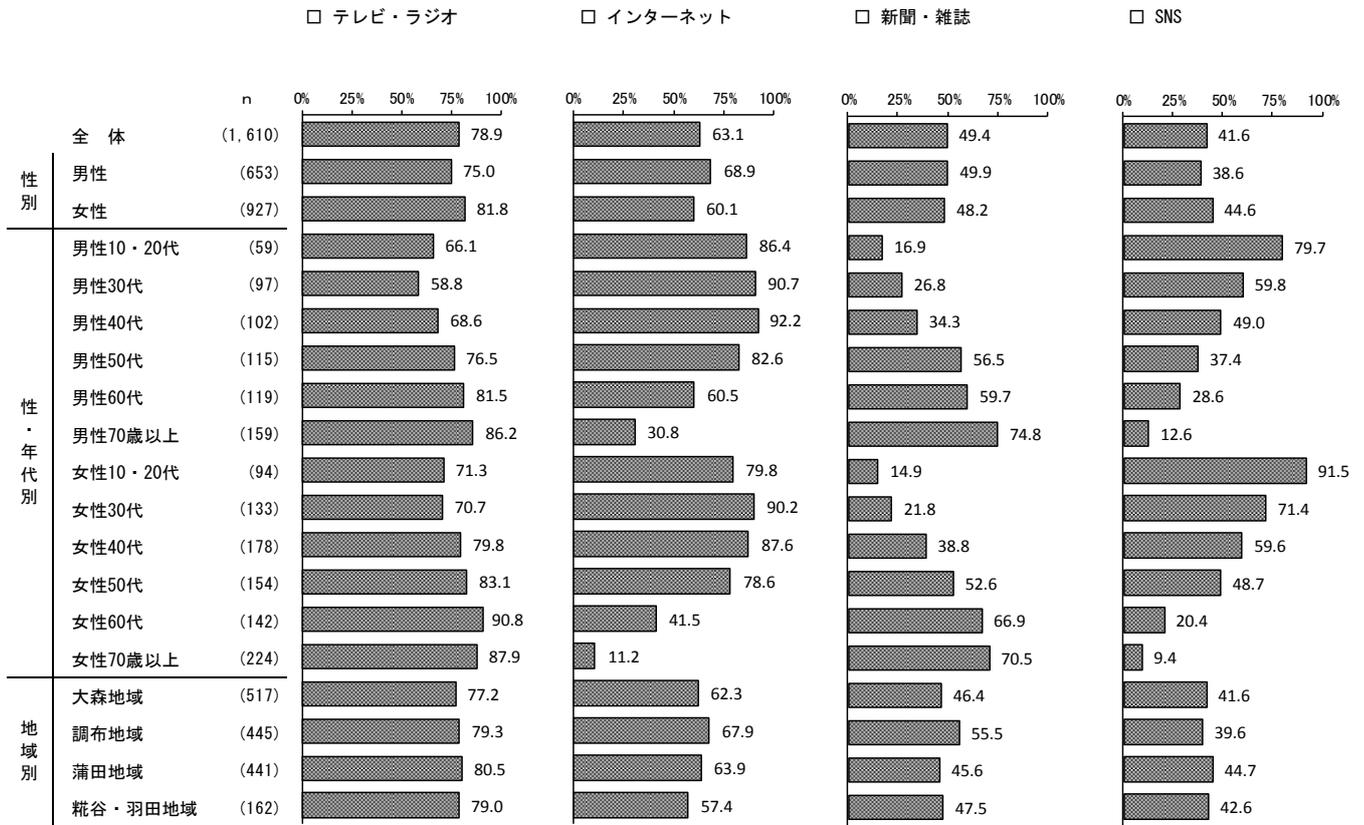
問8 あなたは、生活やレジャーに関する情報をどのような媒体から得ていますか。(〇はいくつでも)

図表6-1 情報を得る媒体について



生活やレジャーに関する情報をどのような媒体から得ているか聞いたところ、「テレビ・ラジオ」が78.9%、「インターネット」が63.1%、「新聞・雑誌」が49.4%、「SNS」が41.6%などとなっている。(図表6-1)

図表6-2 情報を得る媒体について（性別・性/年代別・地域別 上位4項目）



情報を得る媒体について、上位4項目を性別で見ると、「テレビ・ラジオ」では男性(75.0%)、女性(81.8%)と、女性が男性を6.8ポイント上回っている。「インターネット」では男性(68.9%)、女性(60.1%)と、男性が女性を8.8ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「テレビ・ラジオ」と「新聞・雑誌」は年代が上がるにつれて、概ね増加する傾向が見られ、「インターネット」と「SNS」は年代が上がるにつれて、概ね減少する傾向が見られる。

地域別で見ると、「テレビ・ラジオ」では地域による差異はあまり見られず、「インターネット」、「新聞・雑誌」では調布地域が最も高く、「SNS」では蒲田地域が最も高くなっている。(図表6-2)

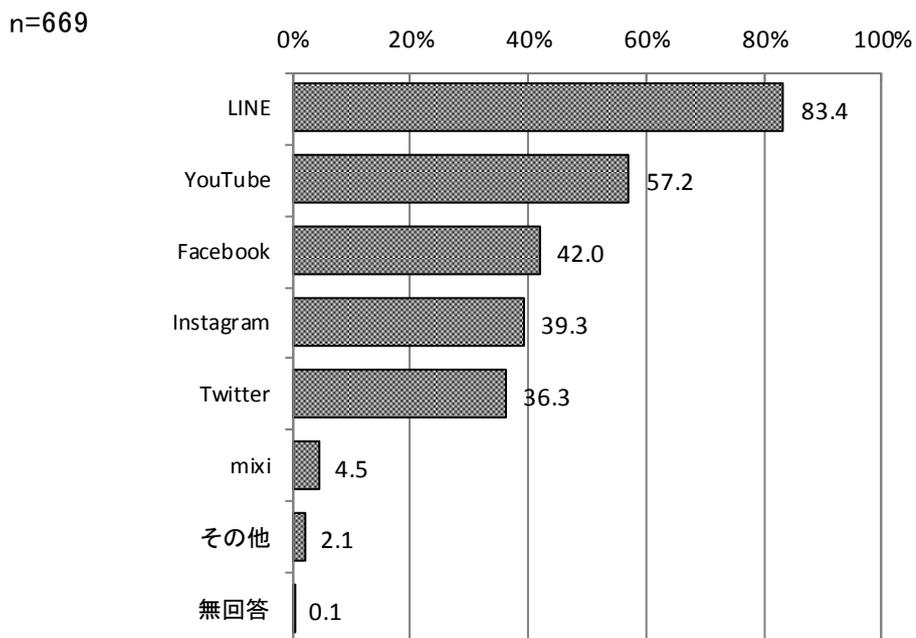
(2) SNSの利用について

◎ 「LINE」が8割台半ばで最も高くなっている

【問8で「4. SNS」と回答された方】

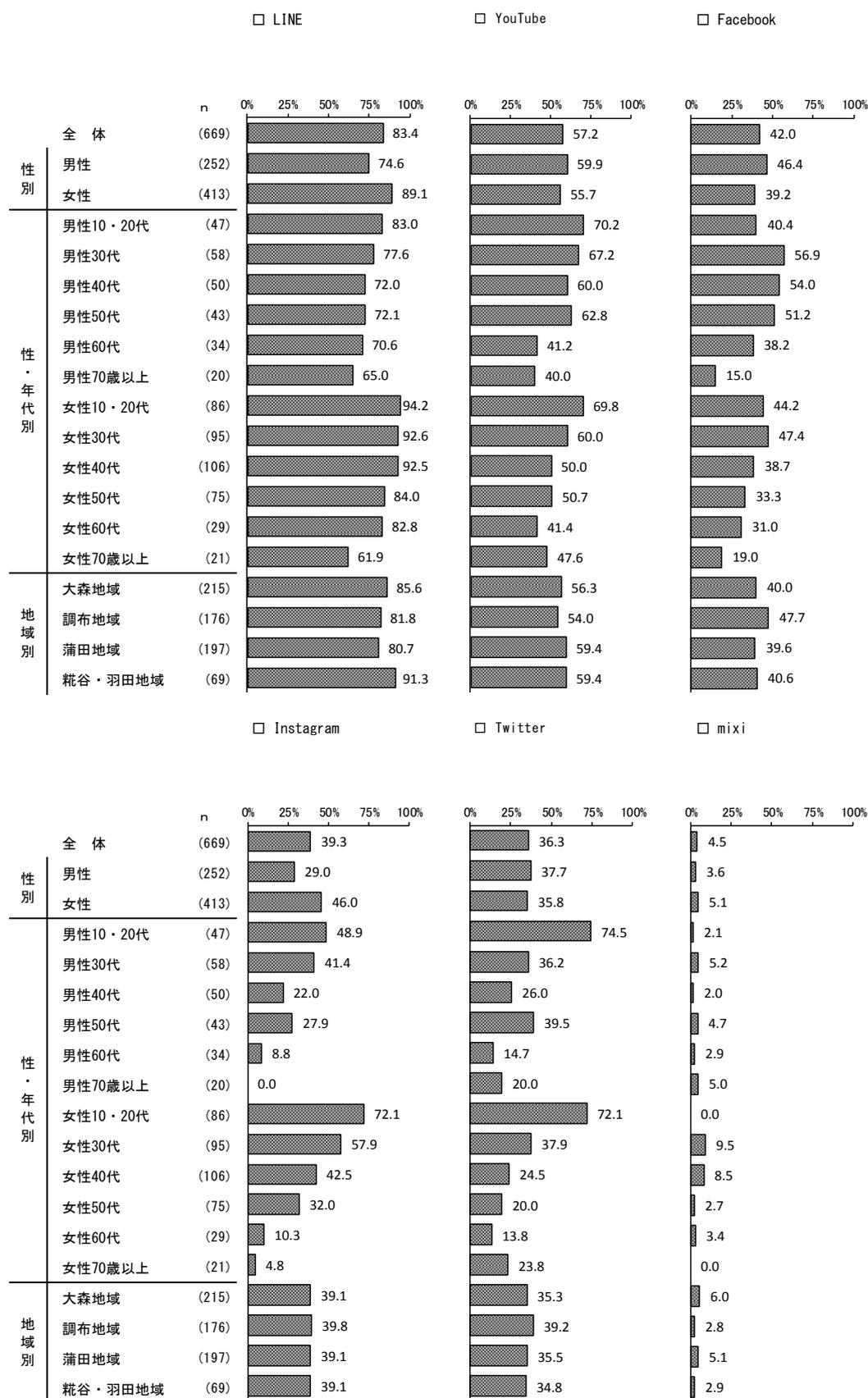
問8-1 あなたは、どのSNSを利用していますか。(〇はいくつでも)

図表6-3 SNSの利用について



情報を得る際「SNS」を使う人に、どのSNSを利用しているか聞いたところ、「LINE」が83.4%、「You Tube」が57.2%、「Facebook」が42.0%、「Instagram」が39.3%、「Twitter」が36.3%、「mixi」が4.5%となっている。(図表6-3)

図表6-4 SNSの利用について（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

SNS の利用について、上位 6 項目を性別で見ると、「LINE」、「Instagram」では女性が男性を上回っており、「YouTube」、「Facebook」、「Twitter」では男性が女性を上回っている。

性／年代別で見ると、「LINE」は男性は年代が下がるほど増加傾向で、女性は 10・20 代～40 代で 9 割を超えて高くなっている。「YouTube」は男女とも 10・20 代が約 7 割で最も高くなっている。「Facebook」は男女とも 30 代が最も高くなっている。「Instagram」は男性では 10・20 代が 48.9%で最も高いのに対し、女性では 10・20 代が 72.1%で最も高くなっている。「Twitter」では男女とも 10・20 代が 7 割台で最も高くなっている。

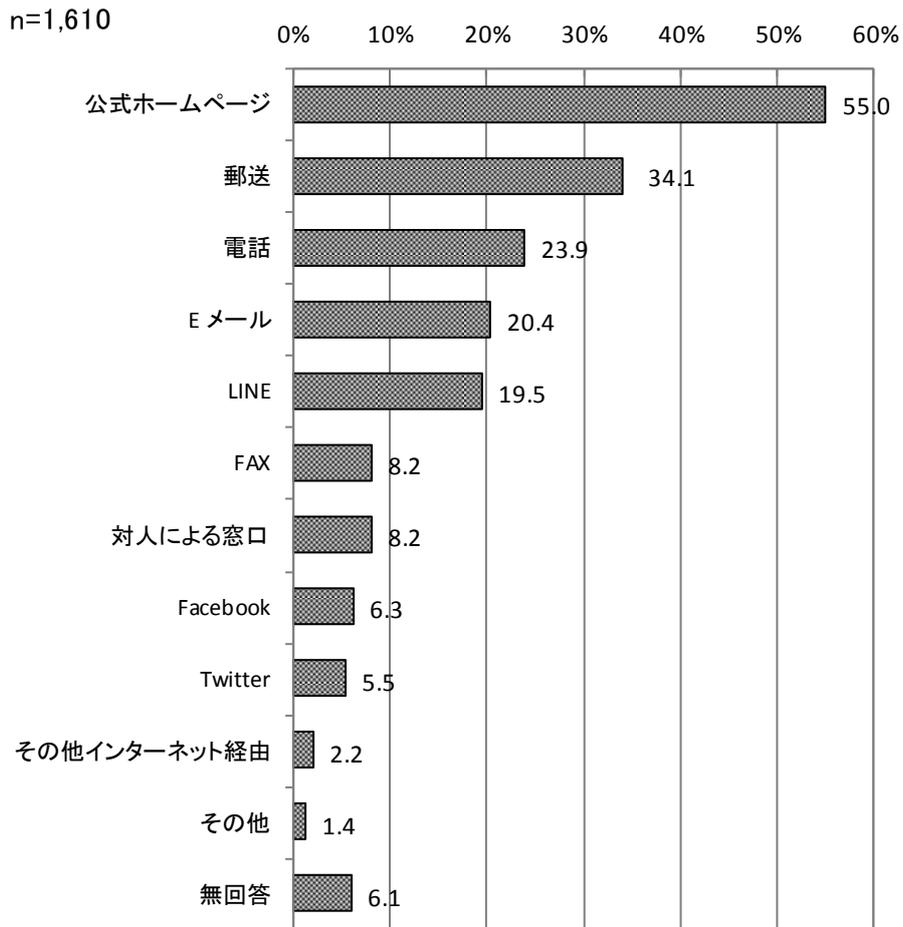
地域別で見ると、「LINE」は糀谷・羽田地域が 91.3%で最も高く、「YouTube」は全ての地域で 5 割台となっている。「Facebook」、「Instagram」、「Twitter」は調布地域が最も高く、「Instagram」は全ての地域で約 4 割となっている。(図表 6-4)

(3) イベントへの申込み方法

◎ 「公式ホームページ」が5割台半ばで最も高くなっている

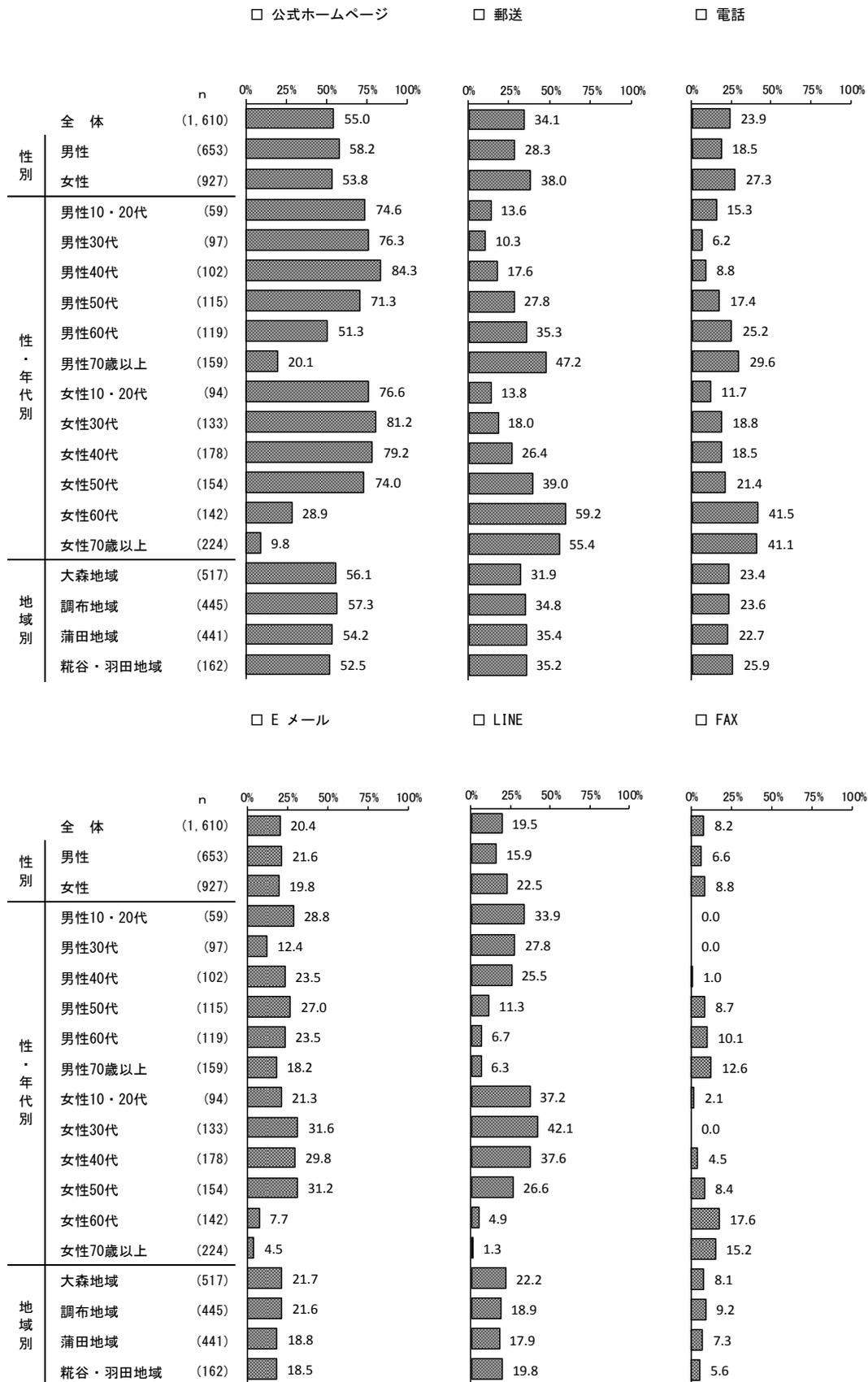
問9 行政や民間企業等が主催する様々なイベントに申込み場合、あなたにとって利用しやすい方法は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

図表6-5 イベントへの申し込み方法



様々なイベントに申込み場合、利用しやすい方法を聞いたところ、「公式ホームページ」が55.0%で最も高く、次いで「郵送」(34.1%)、「電話」(23.9%)、「Eメール」(20.4%)、「LINE」(19.5%)となっている。(図表6-5)

図表6-6 イベントへの申込み方法（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



イベントへの申込み方法について、上位6項目を性別で見ると、「公式ホームページ」は男性（58.2%）、女性（53.8%）で、男性が女性を4.4ポイント上回っている。「郵送」と「電話」、「LINE」では女性が男性を上回っている。

性／年代別で見ると、「公式ホームページ」では男女とも10・20代～50代が7割を超えて、他の年代より高くなっている。「郵送」と「電話」では男女とも年代が上がるにつれて概ね増加する傾向が見られる。「Eメール」では男性30代、男性70歳以上、女性60歳以上を除く年代では2～3割台となっている。

地域別で見ると、「公式ホームページ」では全ての地域で5割台半ばとなっており、「郵送」では全ての地域で3割台となっている。「電話」、「Eメール」、「LINE」では全ての地域で1割台～2割台となっている。（図表6-6）

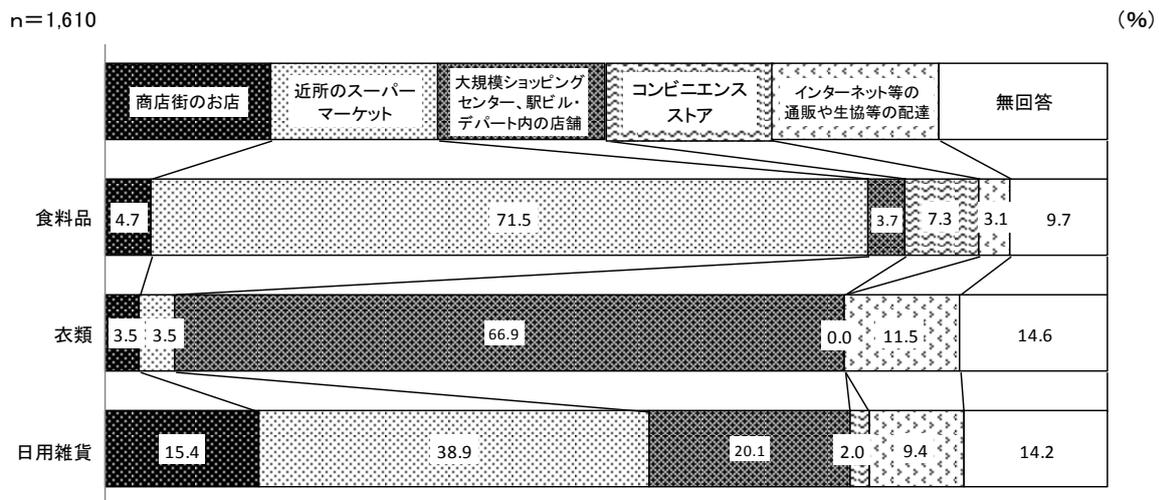
7 普段の買い物・生活について

(1) 普段の買い物で利用するお店

◎ 食料品は「近所のスーパーマーケット」が7割強、衣類は「大規模ショッピングセンター等」が6割台半ば、日用雑貨は「近所のスーパーマーケット」が4割弱で、それぞれ最もよく利用されている

問 10 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する業態と、その理由をそれぞれ選択肢から1つ選んでください。

図表 7-1 普段の買い物で利用するお店（業態）

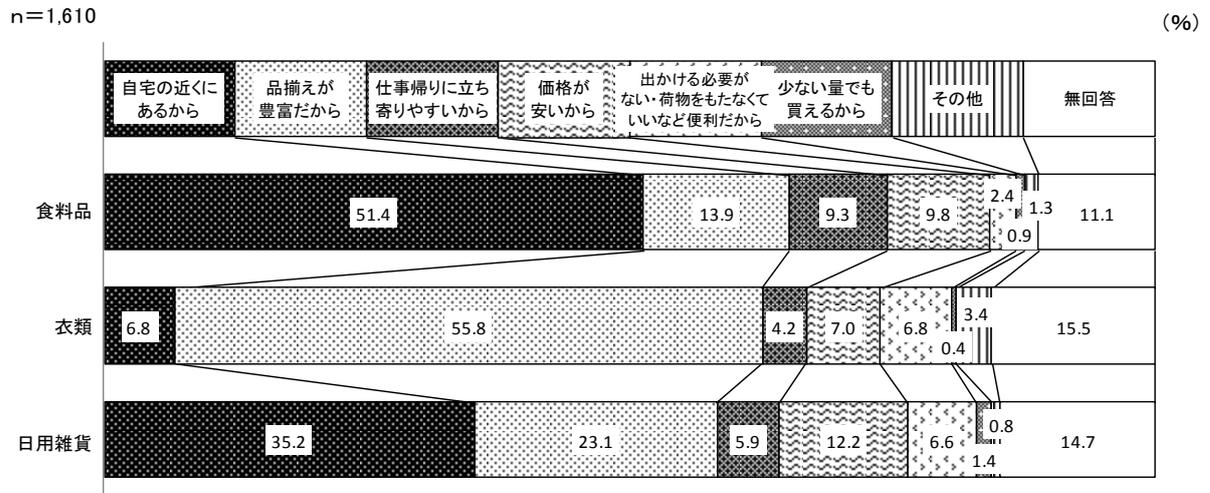


【食料品】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が71.5%で最も高く、次いで「コンビニエンスストア」(7.3%)、「商店街のお店」(4.7%)となっている。

【衣類】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」が66.9%で最も高く、次いで「インターネット等の通販や生協等の配達」(11.5%)、「商店街のお店」「近所のスーパーマーケット」(同率3.5%)となっている。

【日用雑貨】を購入する際、普段の買い物で利用するお店の業態を聞いたところ、「近所のスーパーマーケット」が38.9%で最も高く、次いで「大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗」(20.1%)、「商店街のお店」(15.4%)となっている。(図表7-1)

図表 7-2 普段の買い物で利用するお店（そのお店を最も利用する理由）



【食料品】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が51.4%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」（13.9%）、「価格が安いから」（9.8%）となっている。

【衣類】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「品揃えが豊富だから」が55.8%で最も高く、次いで「価格が安いから」（7.0%）、「自宅の近くにあるから」、「出かける必要がない・荷物をもたなくていいなど便利だから」（同率6.8%）となっている。

【日用雑貨】を購入する際、普段の買い物で利用するお店を選ぶ理由について聞いたところ、「自宅の近くにあるから」が35.2%で最も高く、次いで「品揃えが豊富だから」（23.1%）、「価格が安いから」（12.2%）となっている。（図表7-2）

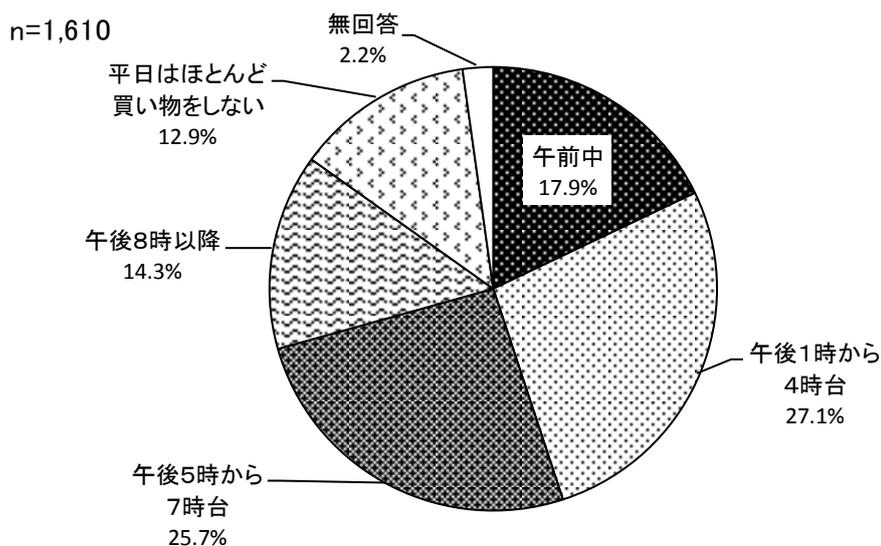
(2) 買い物をする時間帯について

◎ 「午後1時から4時台」が2割台半ばで最も高くなっている

問11 平日に食料品や日用品の買い物をする時間帯はどれですか。最も多いものを選んでください。

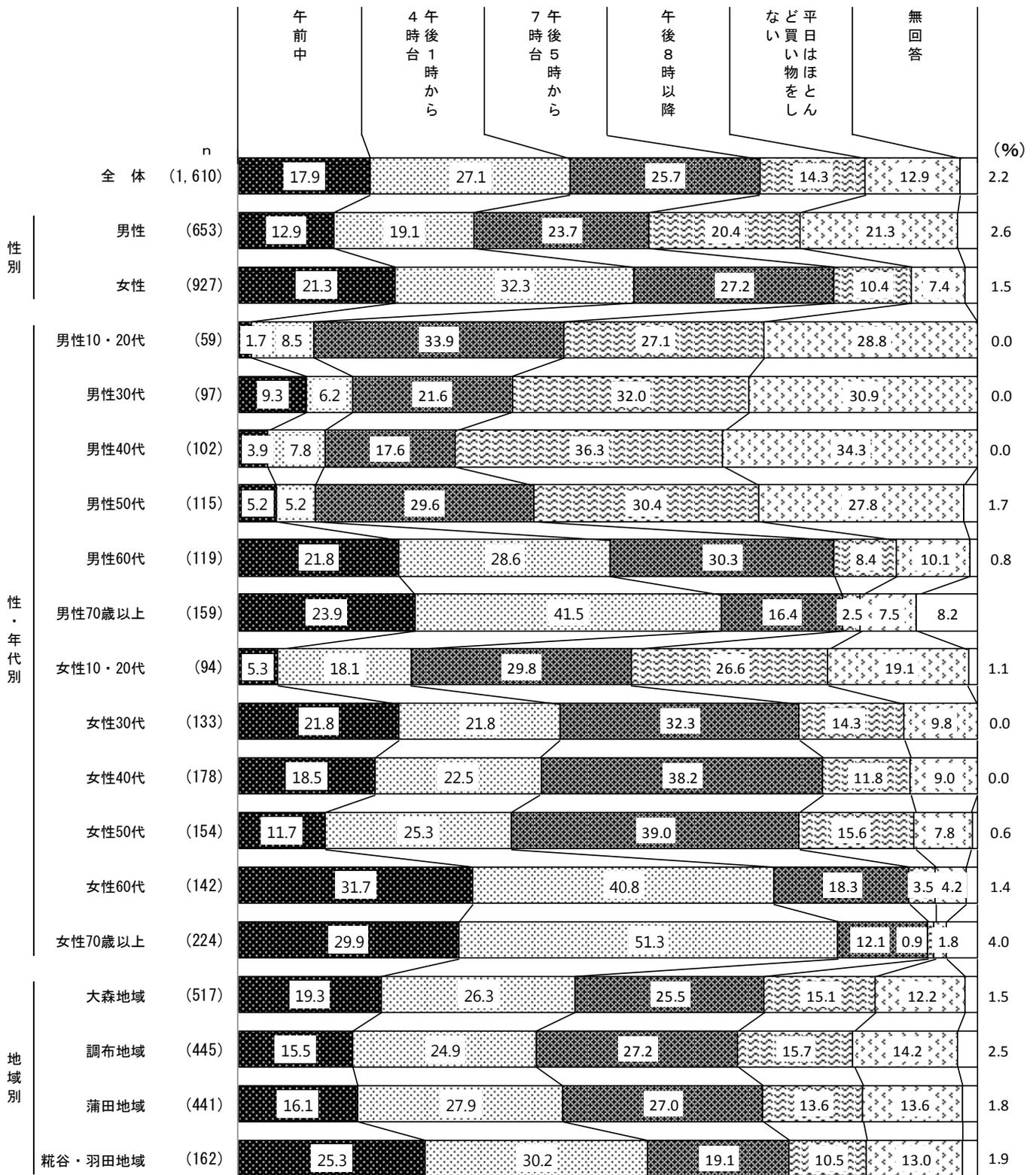
(○は1つ)

図表7-3 買い物をする時間帯について



食料品や日用品の買い物をする時間を聞いたところ、「午後1時から4時台」が27.1%で最も高く、次いで「午後5時から7時台」(25.7%)、「午前中」(17.9%)となっている。(図表7-3)

図表7-4 買い物をする時間帯について（性別・性/年代別・地域別）



買い物をする時間帯について、性別で見ると、男性は「午後5時から7時台」が23.7%で最も高く、女性は「午後1時から4時台」が32.3%で最も高くなっている。一方、「平日はほとんど買い物をしない」では男性(21.3%)、女性(7.4%)と、男性が女性を13.9ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、男性10・20代~50代は「平日はほとんど買い物をしない」が3割弱又は3割台であるが、男性60歳以上では概ね1割と大幅に減少している。女性10・20代は「午後5時から7時台」と「午後8時以降」の合計がそれぞれ概ね3割弱となっている。女性60歳以上は「午前中」と「午後1時から4時台」が急激に増加し、この2項目で7割以上となっている。

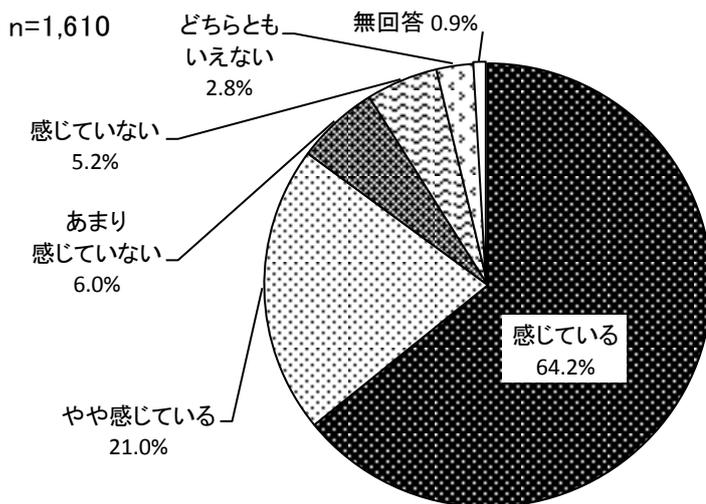
地域別で見ると、「午前中」及び「午後1時から4時台」では糺谷・羽田地域が25.3%と30.2%で、それぞれ最も高くなっている。「平日はほとんど買い物をしない」ではどの地域も概ね1割台半ばで、地域による大きな差異は見られない。(図表7-4)

(3) 公共交通機関の環境

◎ 《感じている（合計）》が8割台半ばとなっている

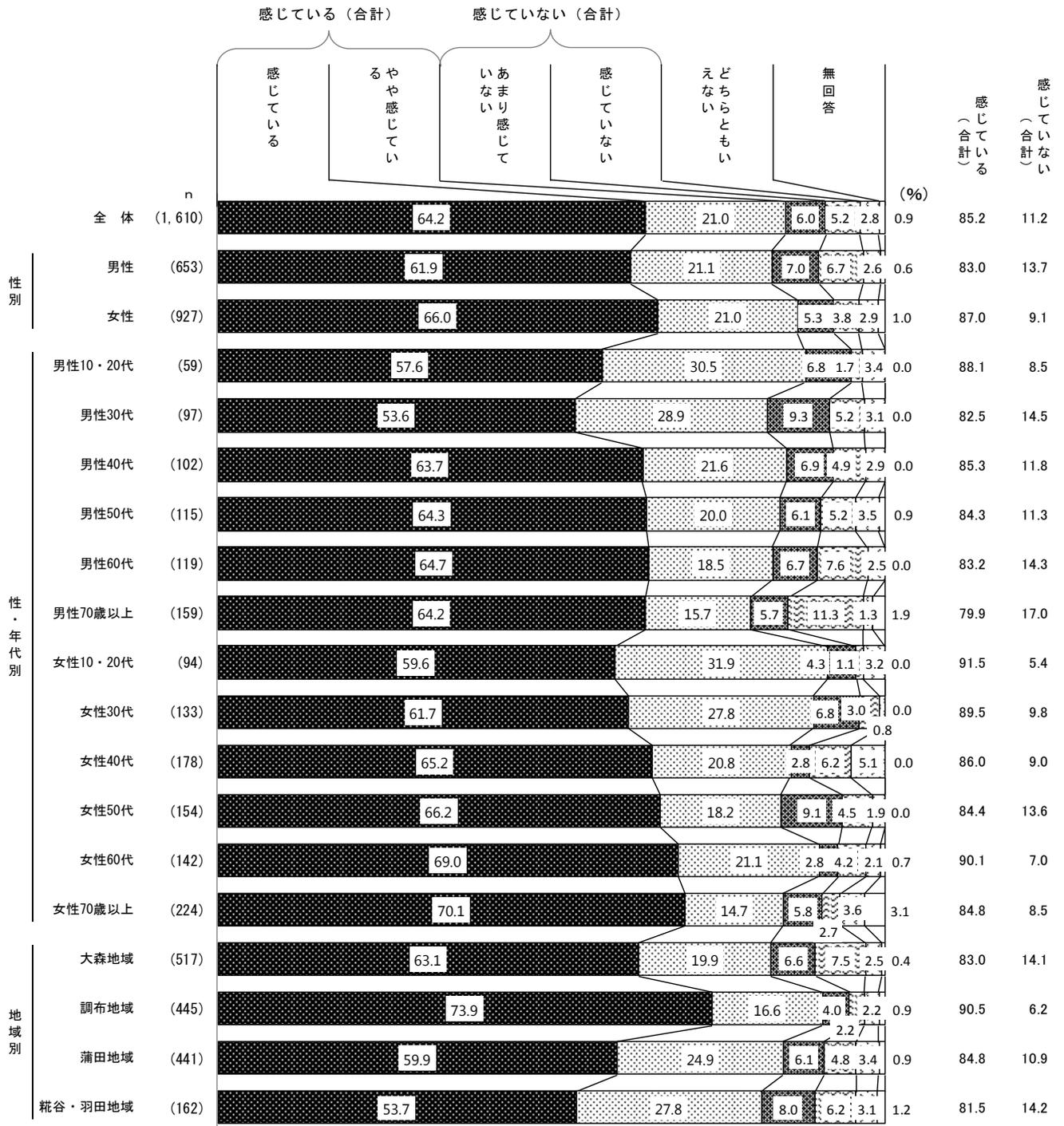
問12 あなたのご自宅の周辺は、近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすいと感じていますか。(〇は1つ)

図表7-5 公共交通機関の環境



自宅周辺の公共交通機関が利用しやすいと感じているかを聞いたところ、《感じている（合計）》（「感じている」と「やや感じている」の合計）が85.2%、《感じていない（合計）》（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）が11.2%、「どちらともいえない」が2.8%となっている。（図表7-5）

図表 7-6 公共交通機関の環境（性別・性/年代別・地域別）



自宅周辺の公共交通機関が利用しやすいと感じているかを聞いたところ、性別で見ると、《感じている（合計）》では男性（83.0%）、女性（87.0%）と、女性が男性より4.0ポイント上回っている。

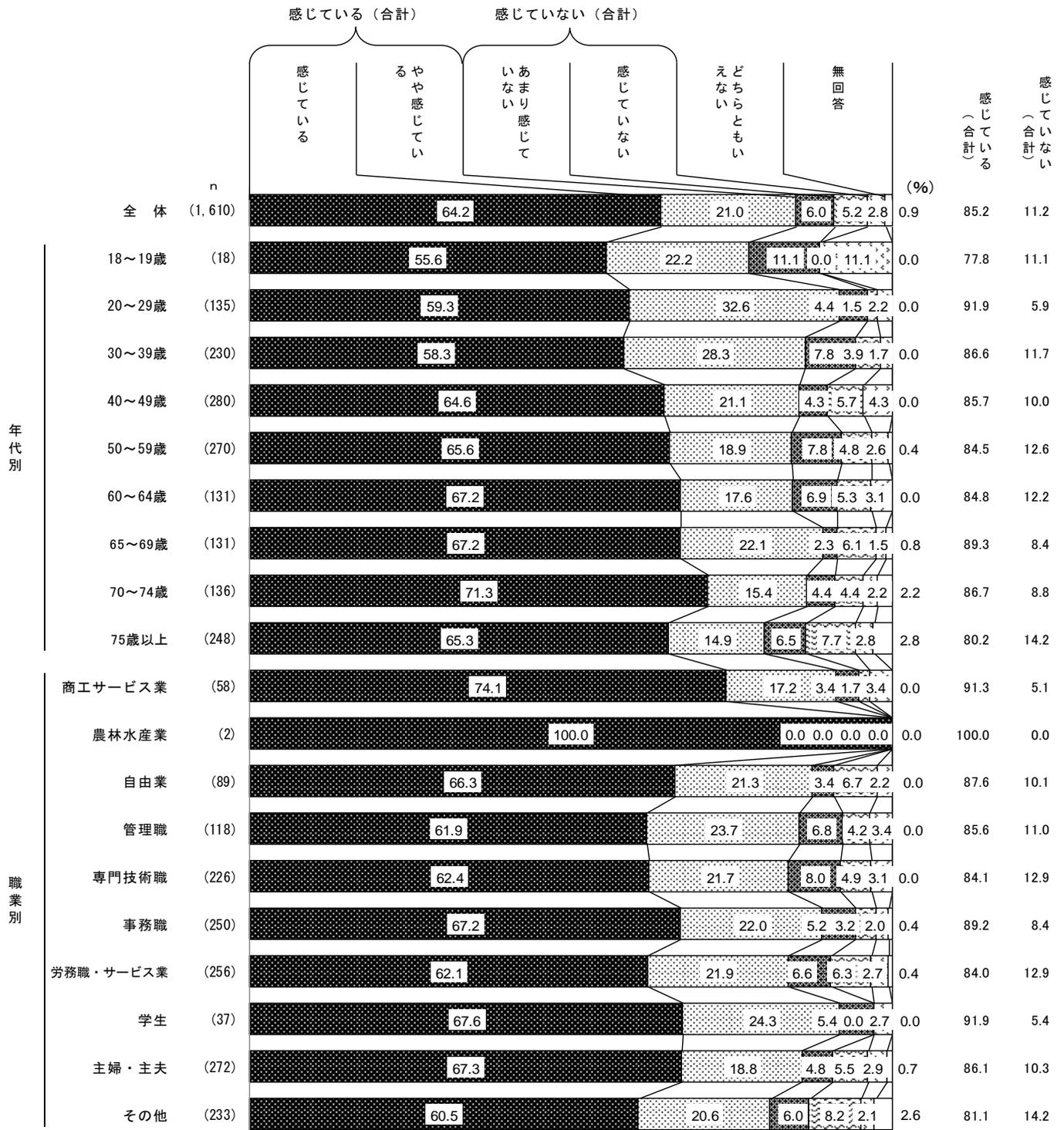
性/年代別で見ると、男性は《感じている（合計）》では全ての年代で概ね8割台、女性は10・20代と60代で概ね9割、他の年代でも8割台半ば以上となっている。

地域別で見ると、《感じている（合計）》では、調布地域が90.5%で最も高くなっている。（図表7-6）

問12×F2、F7

「公共交通機関の環境」×「年代別」、「職業別」

図表7-7



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

自宅周辺の公共交通機関が利用しやすいと感じているかを聞いたところ、年代別でみると、《感じている（合計）》は20～29歳が91.9%で最も高くなっており、それ以外の年代でも概ね8割の人が《感じている（合計）》と回答している。

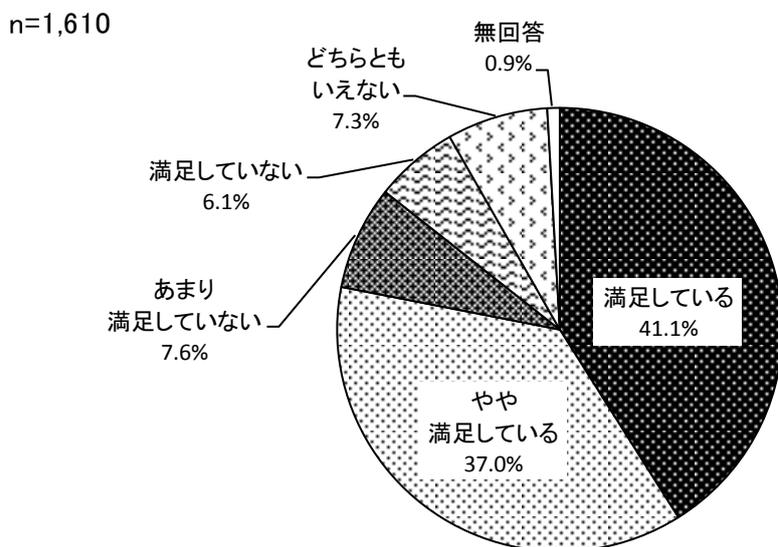
職業別でみると、《感じている（合計）》は商工サービス業（91.3%）と学生（91.9%）で9割台と高くなっている。それ以外の職業では8割台となっている。（図表7-7）

(4) 大田区の公共交通機関の満足度

◎ 《満足している（合計）》が8割弱となっている

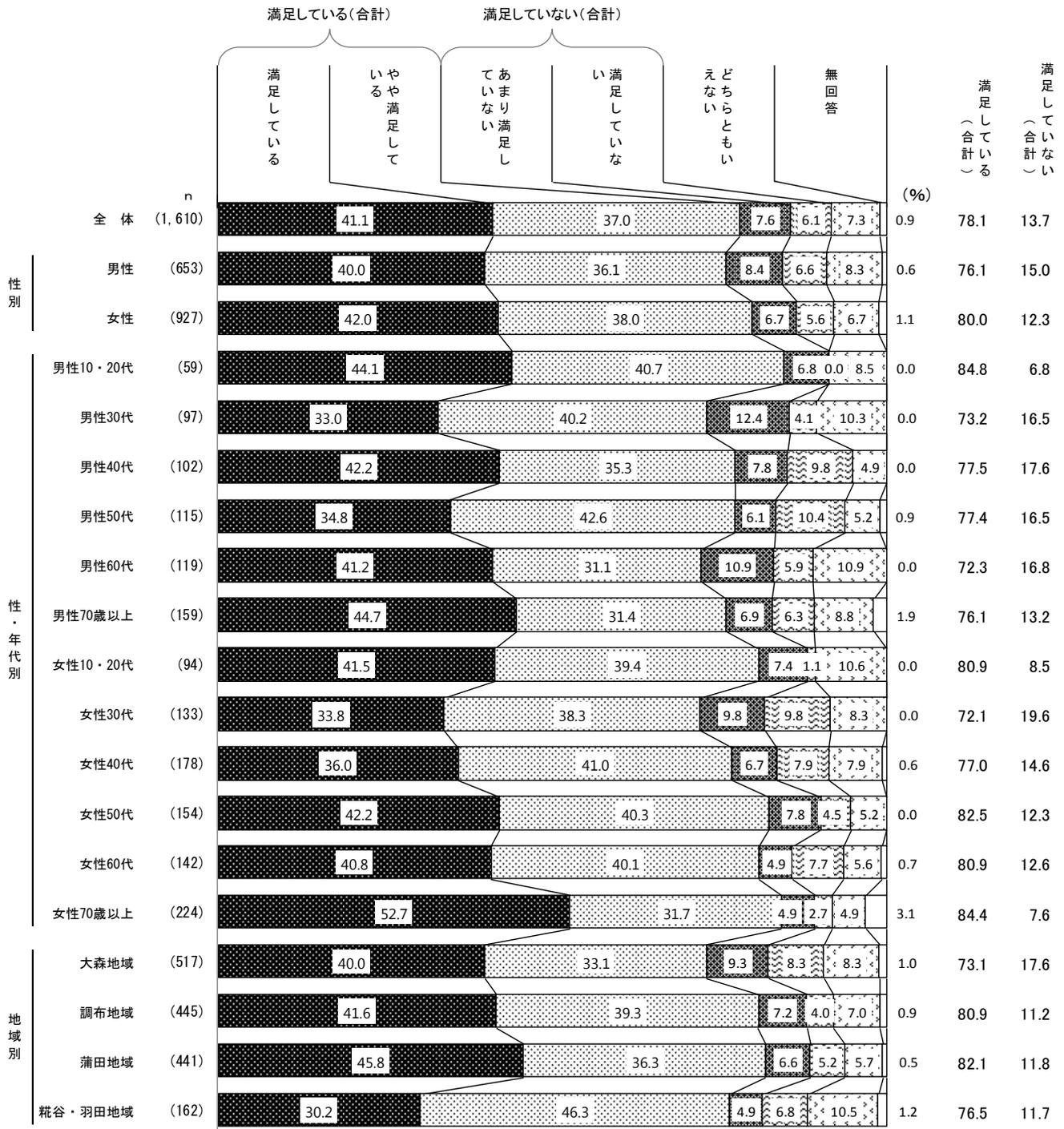
問13 大田区内の公共交通網（電車・バスなど）に満足していますか。（○は1つ）

図表7-8 大田区の公共交通機関の満足度



大田区内の公共交通機関に満足しているかを聞いたところ、《満足している（合計）》（「満足している」と「やや満足している」の合計）が78.1%、《満足していない（合計）》（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）が13.7%、「どちらともいえない」が7.3%となっている。（図表7-8）

図表 7-9 大田区の公共交通機関の満足度（性別・性/年代別・地域別）



大田区の公共交通機関の満足度について、性別で見ると、「満足している（合計）」では男性（76.1%）、女性（80.0%）と、女性が男性より3.9ポイント上回っている。

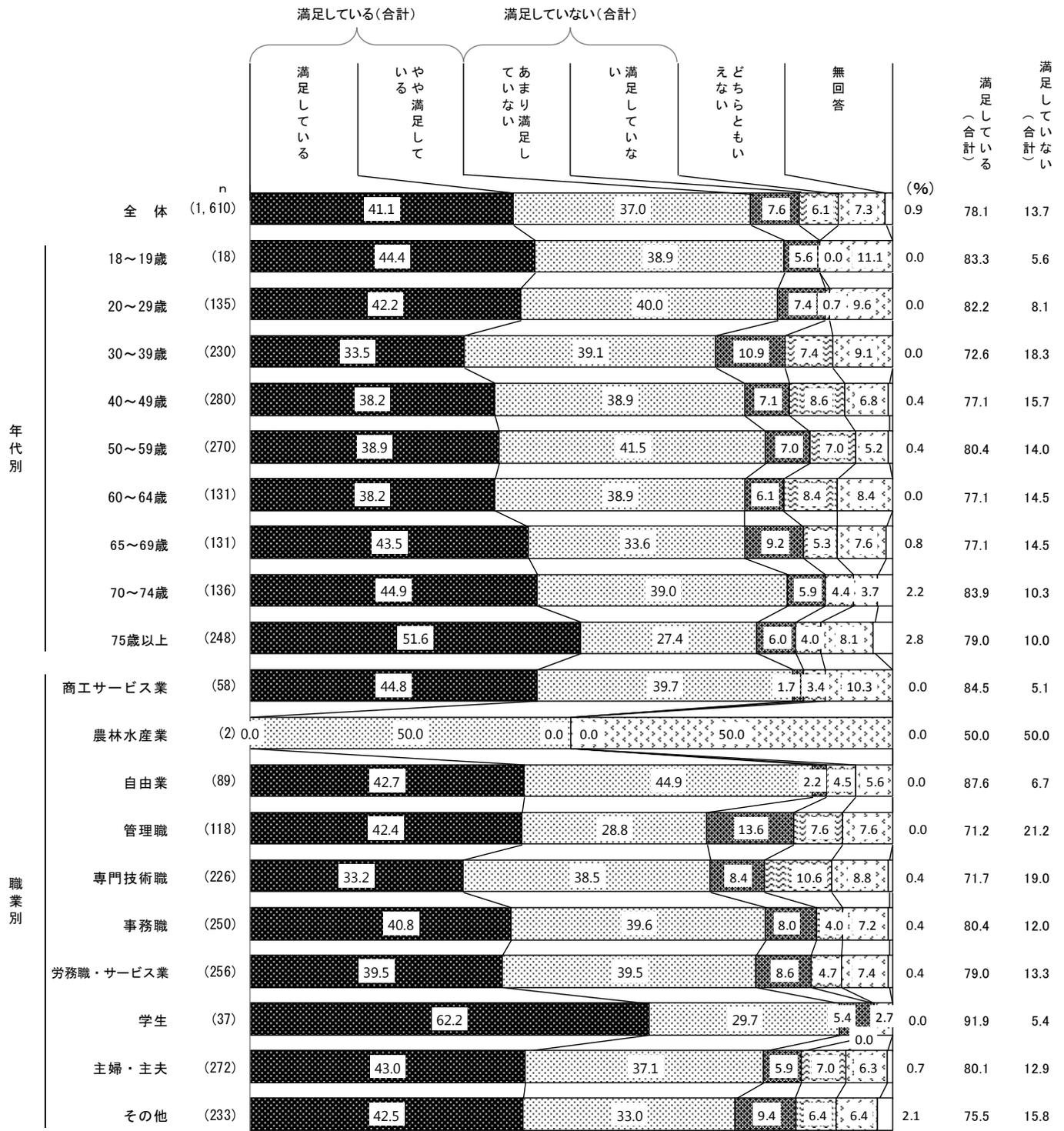
性/年代別で見ると、「満足している（合計）」では男性10・20代、女性10・20代と50歳以上で8割を超えて他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「満足している（合計）」では調布地域と蒲田地域が8割を超えている。（図表7-9）

問13×F2、F7

「大田区の公共交通機関の満足度」×「年代別」、「職業別」

図表7-10



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

大田区の公共交通機関の満足度について、年代別でみると、《満足している（合計）》は20～29歳、50～59歳、70～74歳で8割を超えて、他の年代より高くなっている。一方、《満足していない（合計）》は30～39歳が18.3%で最も高くなっている。

職業別でみると、《満足している（合計）》では学生が91.9%で最も高く、次いで自由業（87.6%）、商工サービス業（84.5%）となっており、概ねどの職業も7割を超えている。一方、管理職では《満足していない（合計）》が21.2%と他の職業よりも高くなっている。（図表7-10）

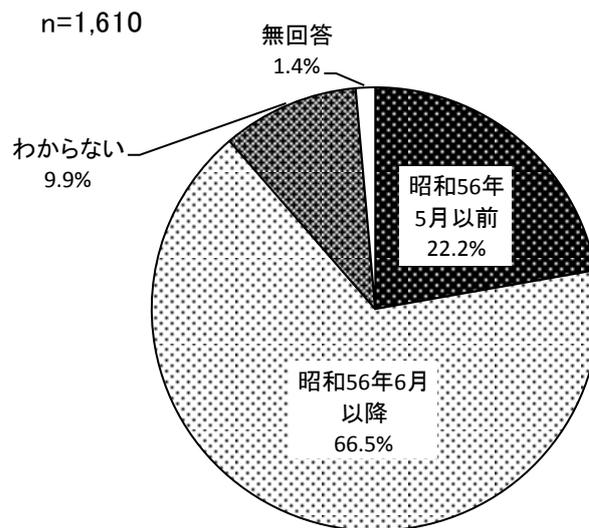
8 住まいの建物について

(1) 住まいの建築年月

◎ 「昭和 56 年 5 月以前」が 2 割強となっている

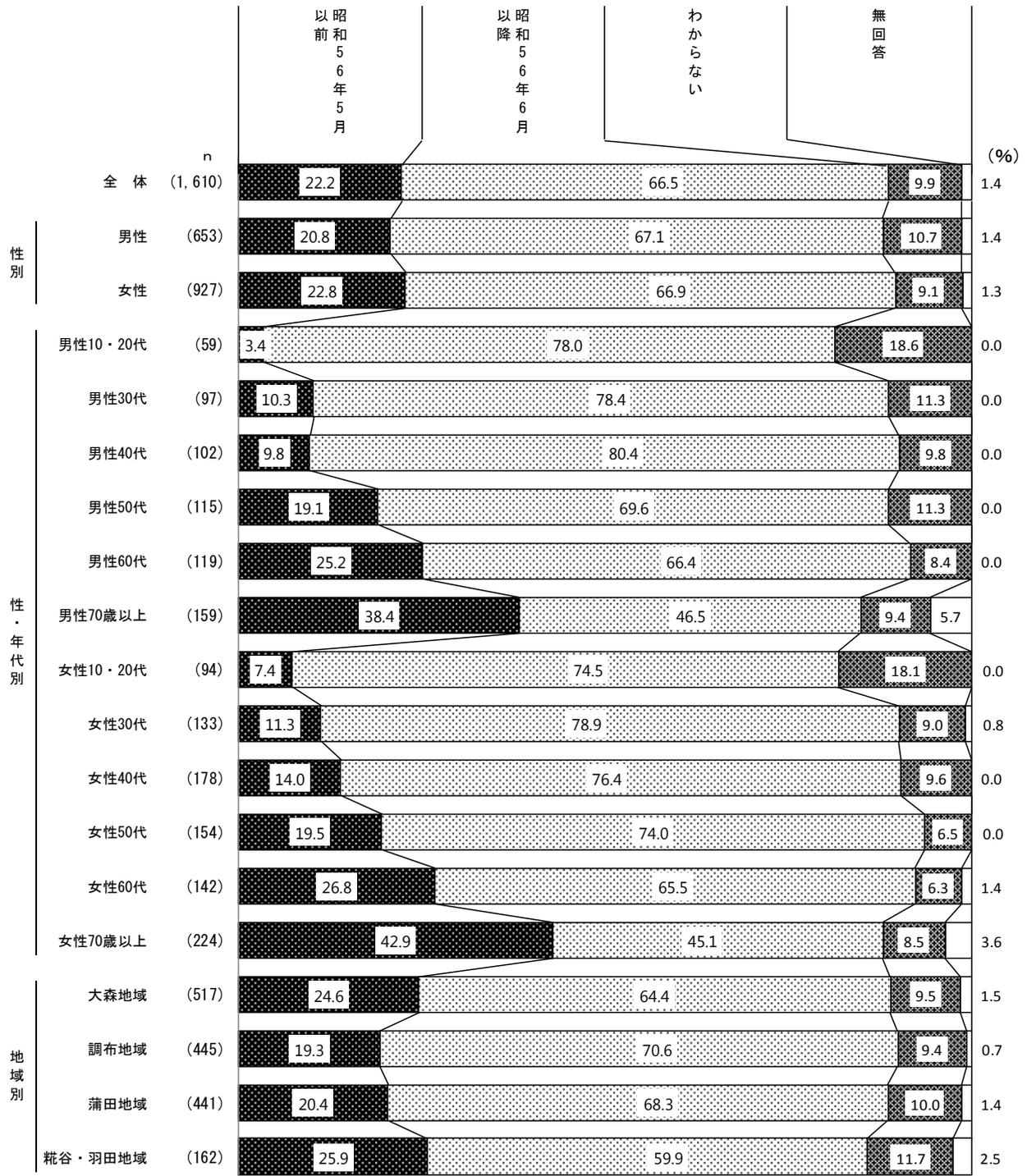
問 14 あなたがお住まいの建物は、いつ建てられたものですか。(〇は 1 つ)

図表 8 - 1 住まいの建築年月



居住している建物がいつ建てられたかを聞いたところ、「昭和 56 年 5 月以前」が 22.2%、「昭和 56 年 6 月以降」が 66.5%、「わからない」が 9.9%となっている。(図表 8 - 1)

図表8-2 住まいの建築年月（性別・性/年代別・地域別）



居住している建物の建築年月について、性別で見ると、大きな差異は見られない。

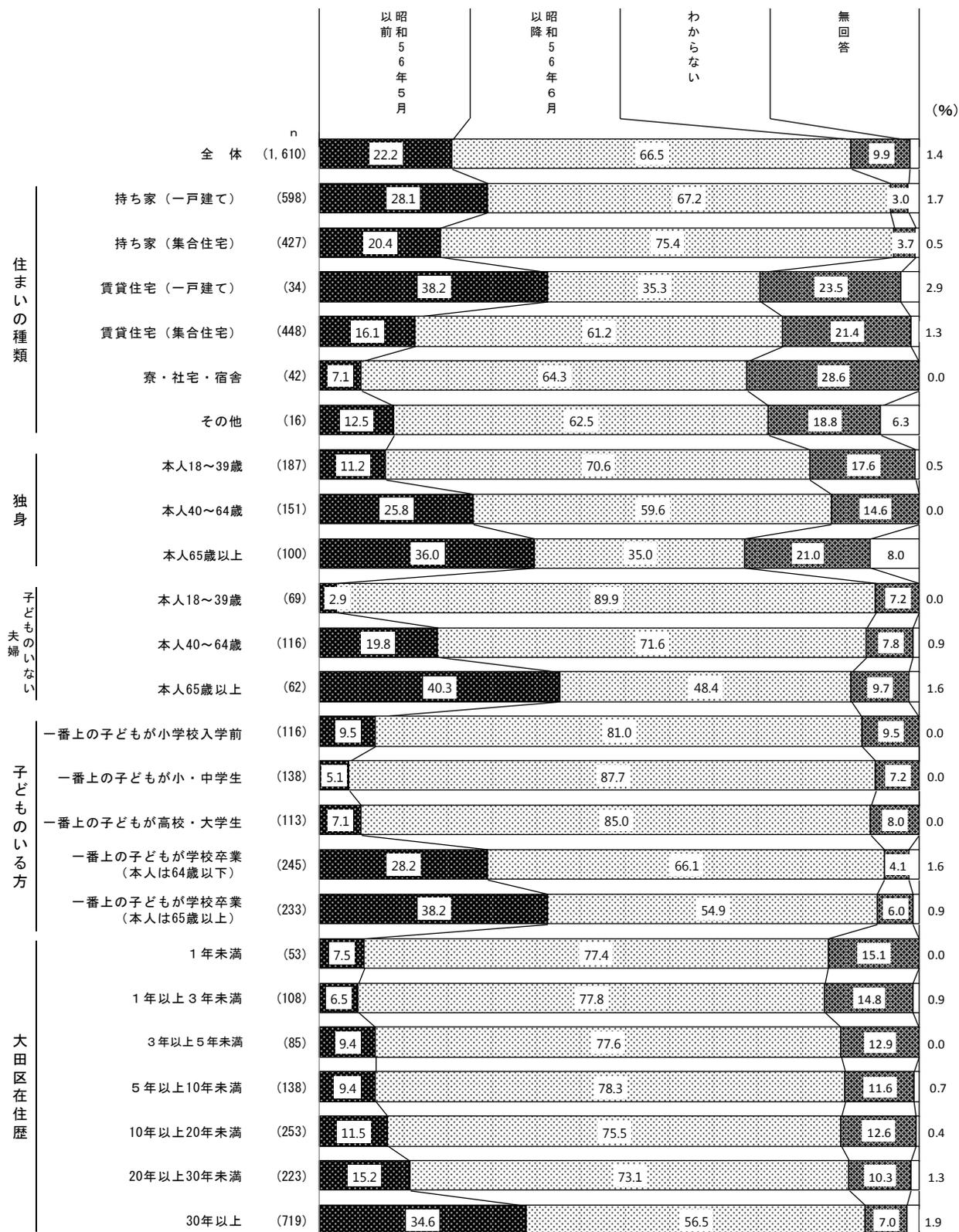
性／年代別で見ると、建てられた時期が「昭和 56 年 5 月以前」は男女とも年代が上がるにつれて概ね割合が高くなり、男性 70 歳以上で 38.4%、女性 70 歳以上で 42.9%とそれぞれ最も高くなっている。

地域別で見ると、建てられた時期が「昭和 56 年 5 月以前」は糞谷・羽田地域 (25.9%) と大森地域 (24.6%) が 2 割台半ばで高くなっている。(図表 8 - 2)

問 14× F 6、F10、F11

「住まいの建築年月」×「住まいの種類別」、「家族の形態別」、「区内在住年数」

図表 8-3



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

居住している建物の建築年月について、住まいの種類別でみると、建てられた時期が「昭和56年5月以前」は賃貸住宅（一戸建て）が38.2%で最も高く、次いで持ち家（一戸建て）が28.1%、持ち家（集合住宅）が20.4%となっている。

家族の形態別でみると、独身や子どもの有無に関わらず、年代が上がるほど「昭和56年5月以前」に建てられた居宅に住む方が多いと考えられる。

大田区在住歴でみると、30年以上在住している方の居宅は、建てられた時期が「昭和56年5月以前」のものが34.6%と最も高く、20年以上30年未満の15.2%より19.4ポイント上回っている。（図表8-3）

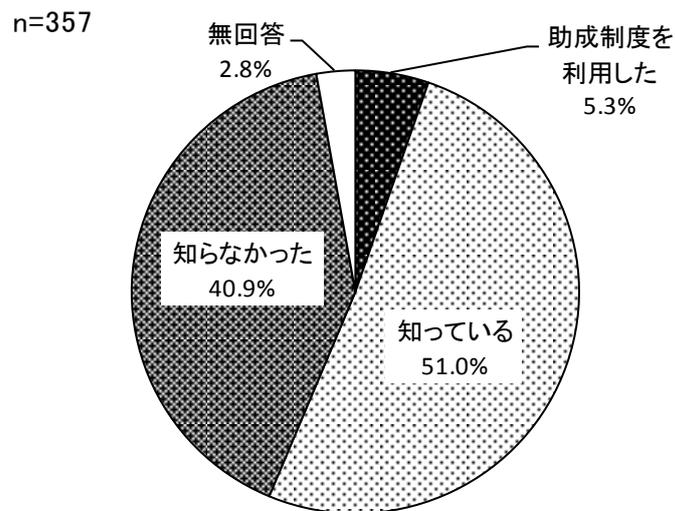
(2) 耐震化の助成制度について

◎ 「知っている」が5割強となっている

【問 14 で「1. 昭和 56 年 5 月以前」と回答された方】

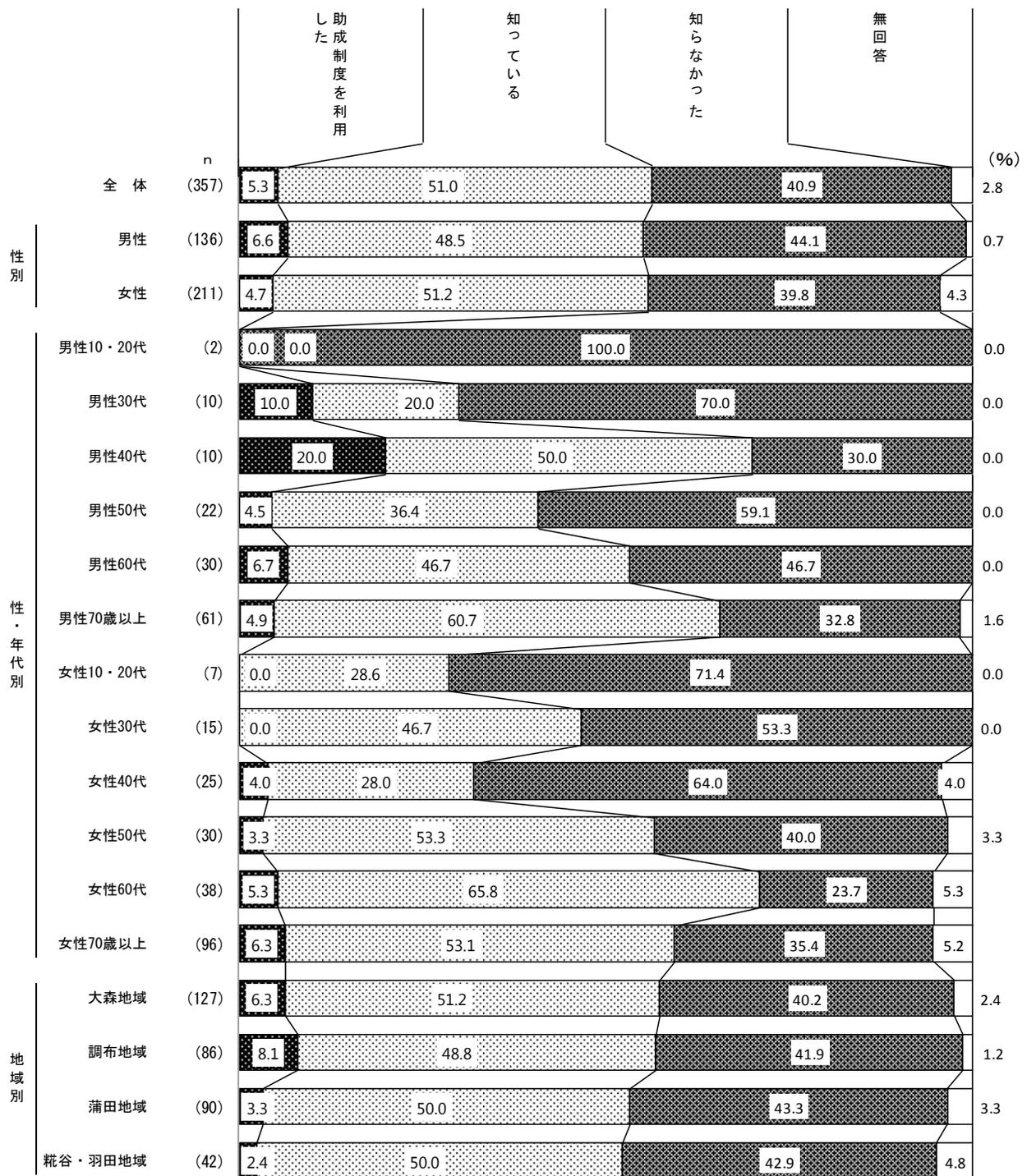
問 14-1 大田区では災害に強いまちづくりを進めるため、昭和 56 年 5 月以前の耐震基準で建てられた住宅やマンションの耐震化を推進しています。耐震診断や耐震改修工事を行う際に助成制度を設けていますが、あなたはこの制度をご存知ですか。(〇は 1 つ)

図表 8-4 耐震化の助成制度について



耐震診断や耐震改修工事を行う際に助成制度があることを知っているかと聞いたところ、「助成制度を利用した」は 5.3%、「知っている」が 51.0%、「知らなかった」は 40.9%となっている。(図表 8-4)

図表 8-5 耐震化の助成制度について（性別・性/年代別・地域別）



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

耐震化の助成制度について、性別で見ると、「助成制度を利用した」、「知っている」では大きな差異は見られなかったが、「知らなかった」では男性（44.1%）、女性（39.8%）と、男性が女性を4.3ポイント上回っている。

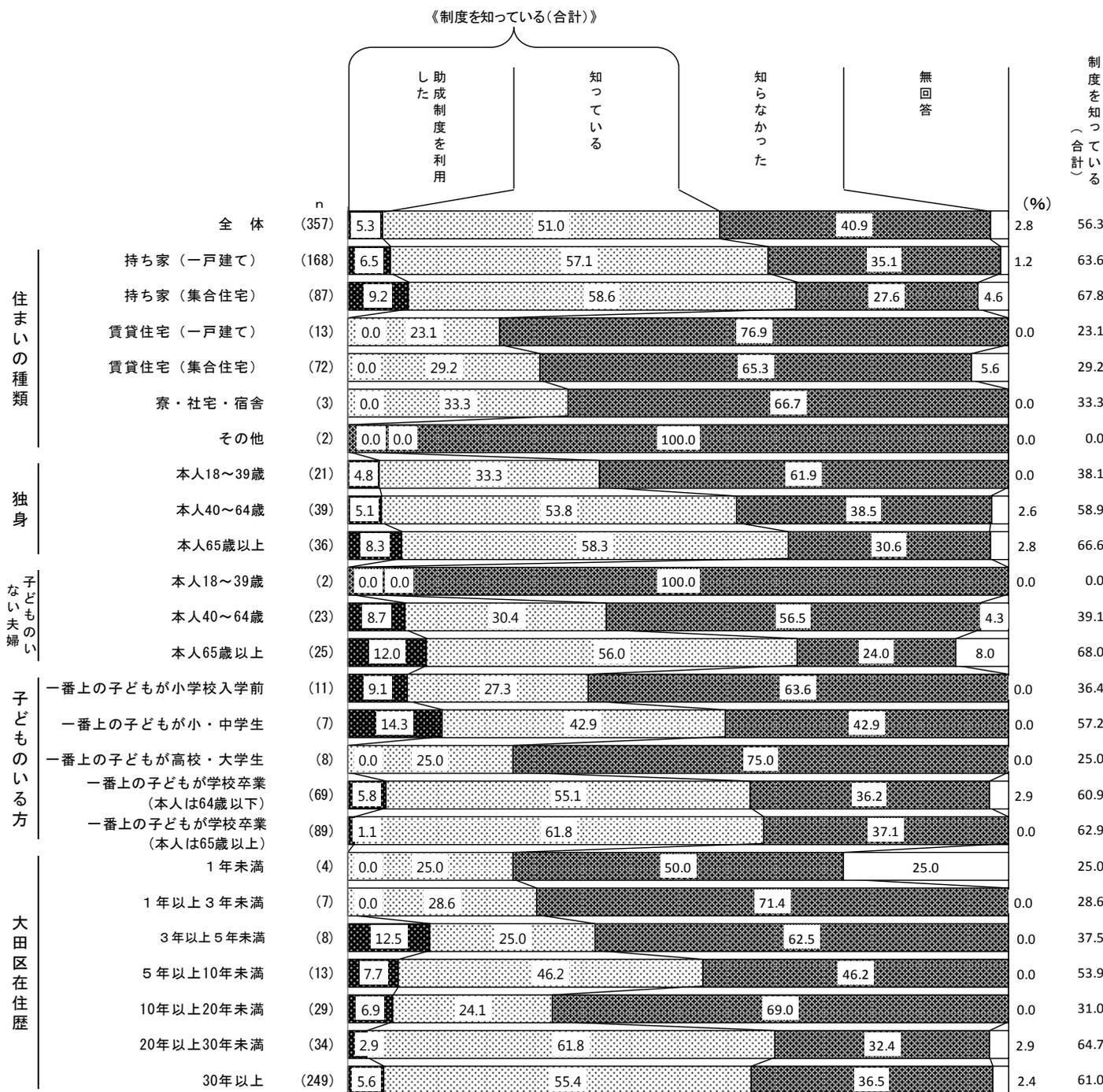
性/年代別で見ると、男性70歳以上と、女性の50歳以上で「知っている」が過半数を超えている。

地域別で見ると、「助成制度を利用した」では調布地域が8.1%で最も高くなっている。（図表8-5）

問 14-1 × F6、F10、F11

「耐震化の助成制度について」 × 「住まいの種類別」、「家族の形態別」、「区内在住年数」

図表 8-6



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

耐震化の助成制度について、住まいの種類別で見ると、《制度を知っている（合計）》（「助成制度を利用した」と「知っている」の合計）は持ち家（一戸建て・集合住宅）では過半数を占めて他の住まいより高くなっている。その内「助成制度を利用した」は持ち家（集合住宅）が9.2%、持ち家（一戸建て）が6.5%となっている。一方、賃貸住宅（集合住宅）では「知らなかった」が過半数を占めている。

家族の形態別で見ると、独身・本人が40歳以上、子どものいる方・一番上の子どもが学校卒業（本人は64歳以下・本人は65歳以上）ではいずれも《制度を知っている（合計）》が過半数を占めている。

大田区在住歴別で見ると、《制度を知っている（合計）》では20年以上30年未満と30年以上が過半数を占めている。その内「助成制度を利用した」は30年以上が5.6%となっており、昭和56年5月以前に建てられた建物に住んでいる方で「助成制度を利用した」と回答した人の割合とほぼ同じである。（図表8-6）

9 コミュニティサイクル・自転車利用について

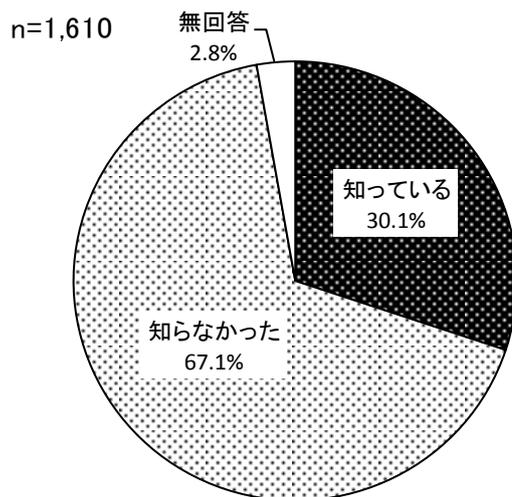
(1) 大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度

◎ 「知っている」が約3割となっている

問 15 あなたは、大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることをご存知ですか。

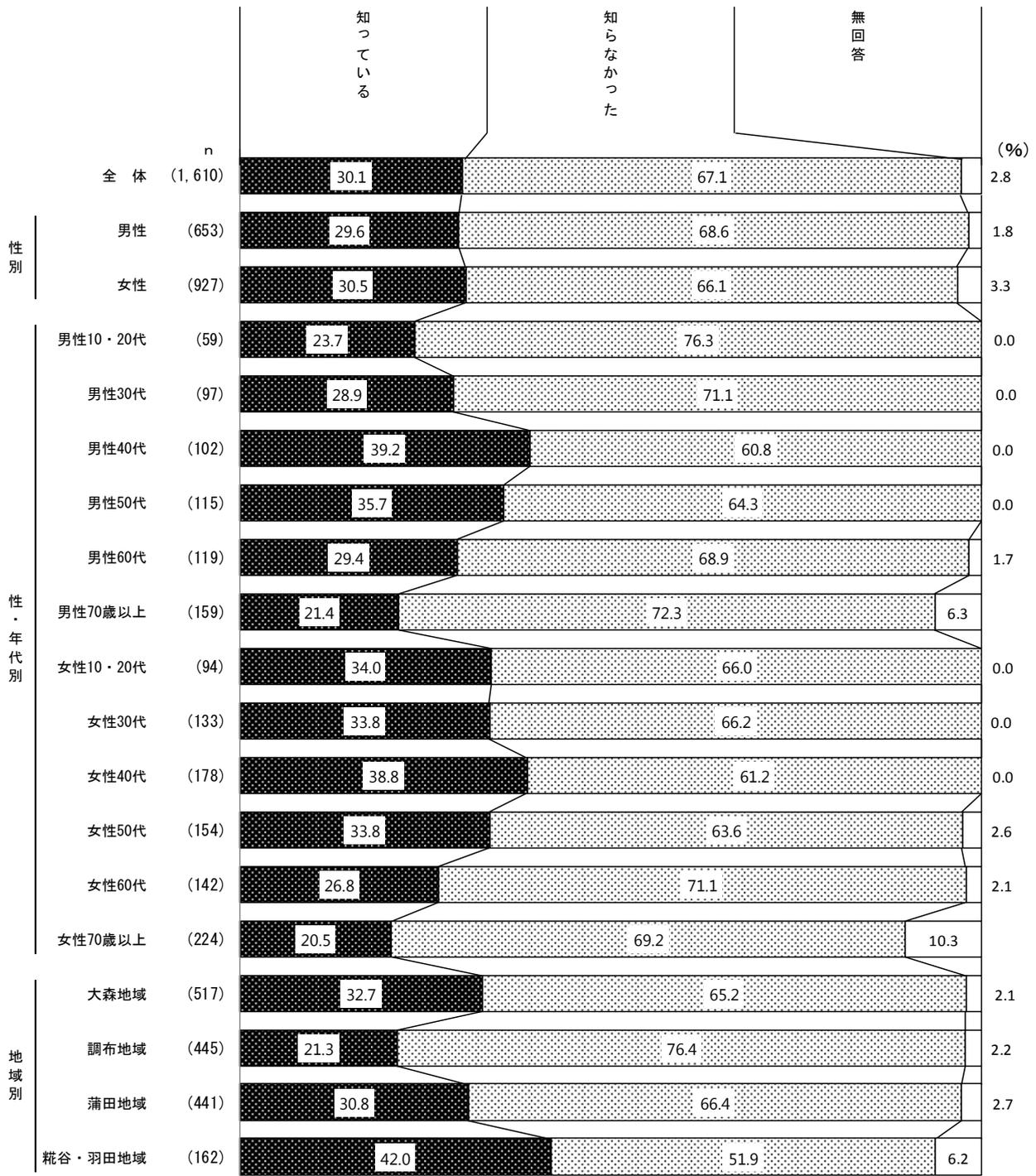
(○は1つ)

図表 9-1 大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度



大田区内でコミュニティサイクルが運営されているのを知っているかと聞いたところ、「知っている」が30.1%、「知らなかった」が67.1%となっている。(図表9-1)

図表9-2 大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度（性別・性/年代別・地域別）



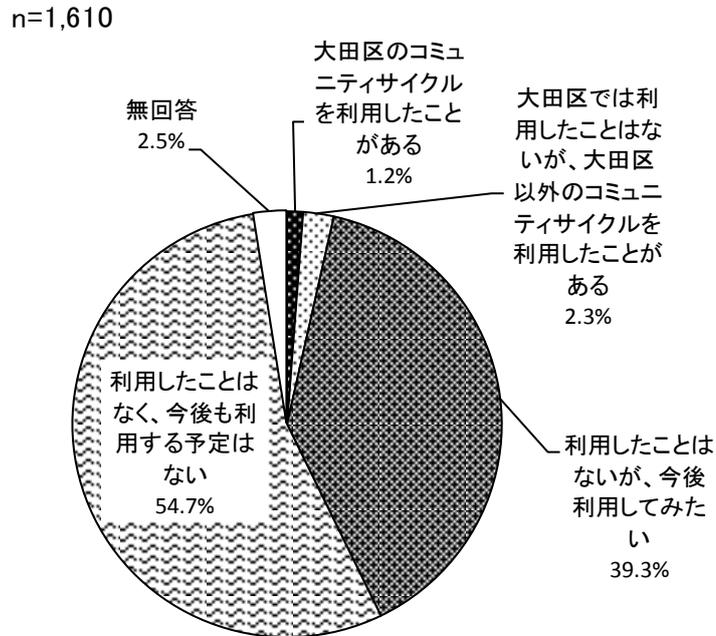
大田区内でのコミュニティサイクル運営の認知度について、性別で見ると、大きな差異は見られない。性/年代別で見ると、「知っている」は男性では40代がピークで39.2%と最も高く、50代では35.7%となっている。女性では10・20代～50代が3割台、中でも40代が38.8%で最も高くなっている。地域別で見ると、「知っている」は糞谷・羽田地域が42.0%で最も高くなっている。（図表9-2）

(2) コミュニティサイクルの利用の有無

◎ 「大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある」は1.2%となっている

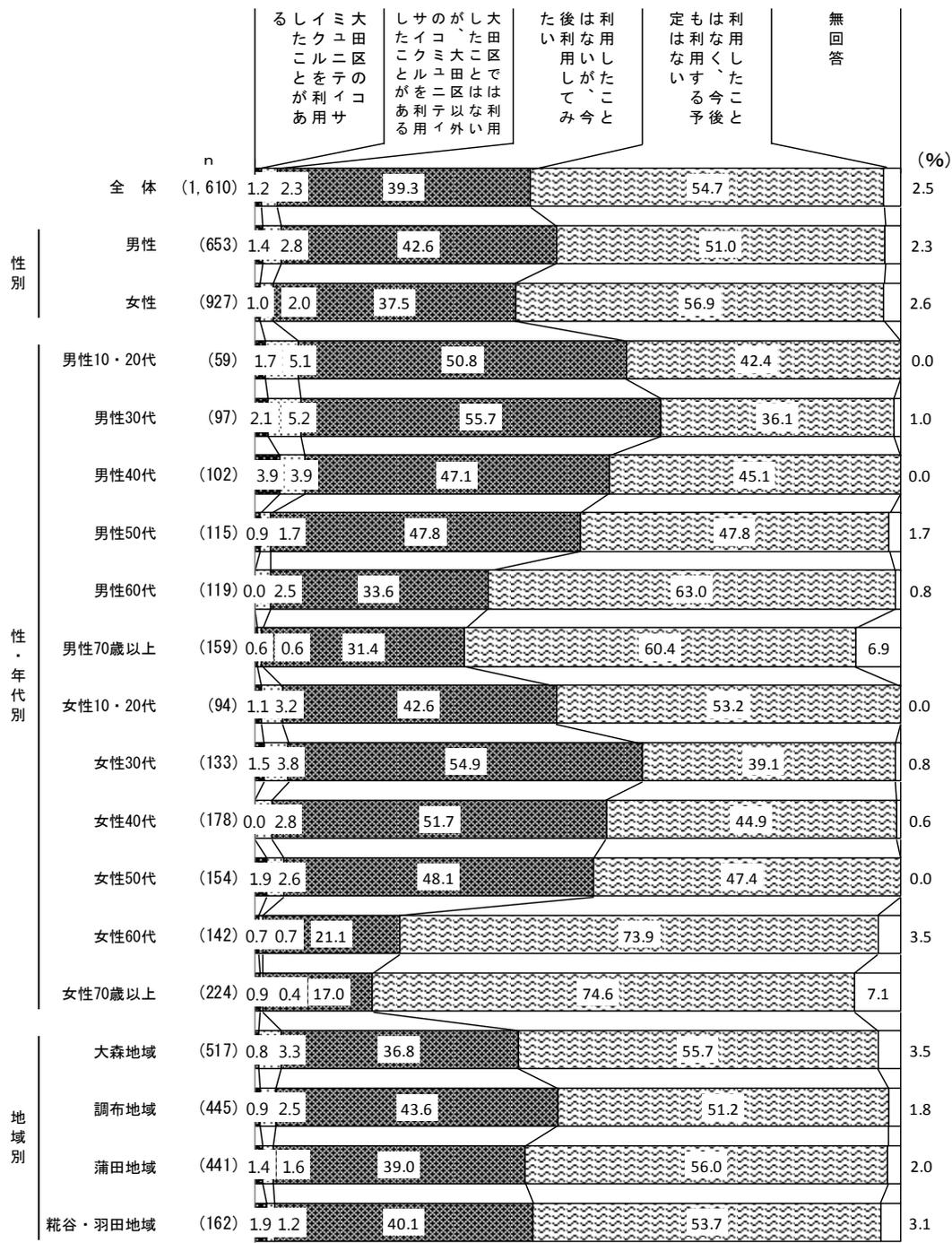
問 16 あなたは、コミュニティサイクルを利用したことがありますか。(○は1つ)

図表9-3 コミュニティサイクルの利用の有無



コミュニティサイクルの利用の有無を聞いたところ、「大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある」が1.2%、「大田区では利用したことはないが、大田区以外のコミュニティサイクルを利用したことがある」が2.3%、「利用したことはないが、今後利用してみたい」が39.3%、「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」が54.7%となっている。(図表9-3)

図表9-4 コミュニティサイクルの利用の有無（性別・性/年代別・地域別）



コミュニティサイクルの利用の有無について、性別で見ると、「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」では男性（51.0%）、女性（56.9%）と、女性が男性を5.9ポイント上回っている。「利用したことはないが、今後利用してみたい」では男性（42.6%）、女性（37.5%）と、男性が女性を5.1ポイント上回っている。

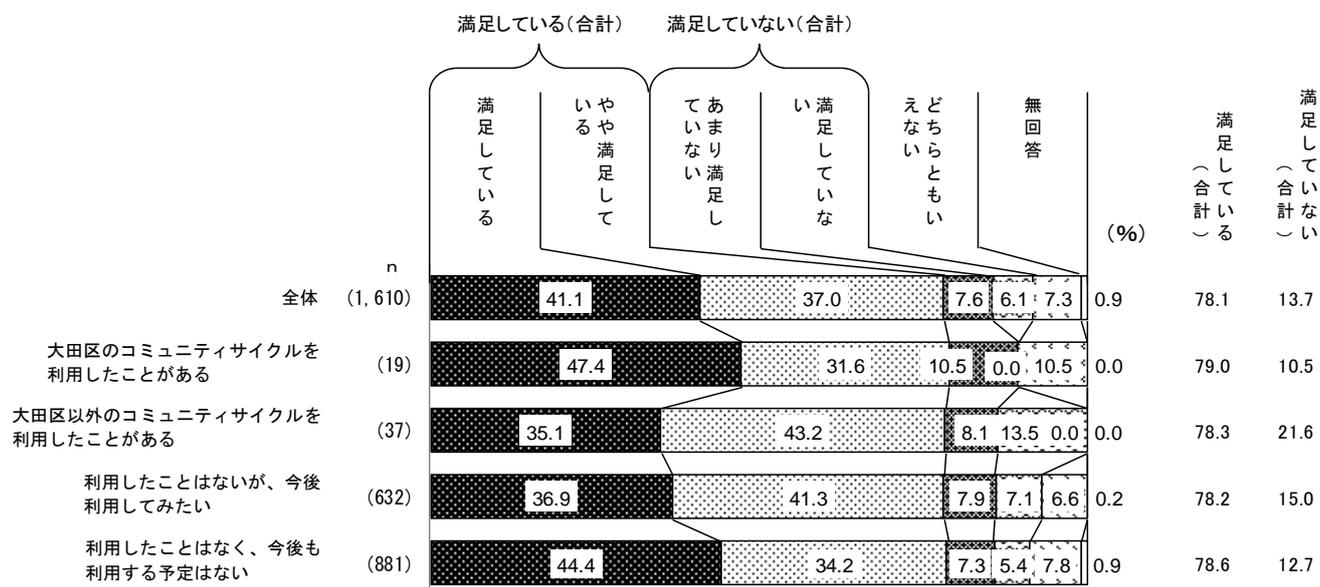
性/年代別で見ると、「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」では男女とも60歳以上で約6～7割と、年代が上がるにつれて増加傾向となっている。「利用したことはないが、今後利用してみたい」では男女とも30代が5割台半ばで最も高くなっている。

地域別で見ると、「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」は、全ての地域で5割台となっている。「利用したことはないが、今後利用してみたい」では調布地域が43.6%で最も高くなっている。（図表9-4）

問13×問16

「大田区の公共交通機関の満足度」×「コミュニティサイクルの利用の有無」

図表9-5



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

大田区の公共交通機関の満足度について、コミュニティサイクルの利用の有無別でみたところ、「満足している(合計)」では、【大田区以外のコミュニティサイクルを利用したことがある】と回答した人は78.3%となっている。

一方、「満足していない(合計)」は、【大田区以外のコミュニティサイクルを利用したことがある】と回答した人の21.6%で最も高くなっている。(図表9-5)

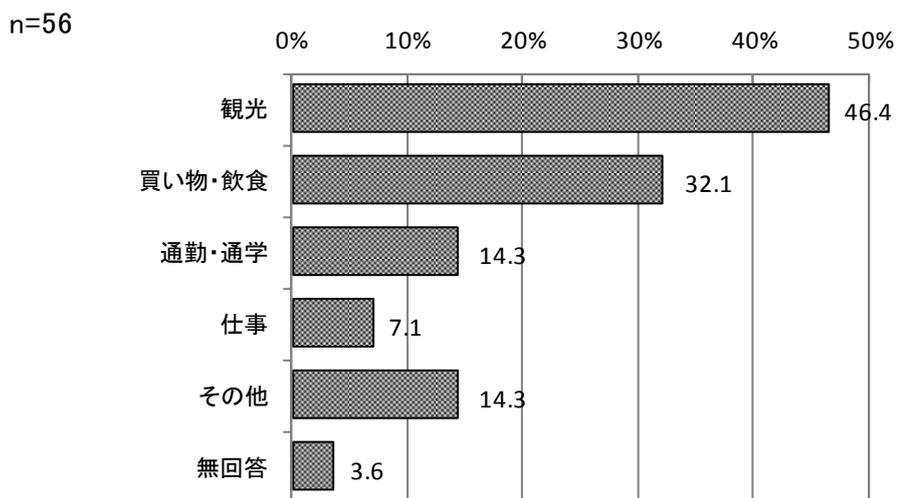
(3) コミュニティサイクルの利用目的について

◎ 「観光」が4割台半ばで最も高くなっている

【問16で「1」または「2」と回答された方】

問16-1 コミュニティサイクルの利用目的は何ですか。(〇はいくつでも)

図表9-6 コミュニティサイクルの利用目的について



問16で「コミュニティサイクルを利用したことがある」と回答した方に、その利用目的を聞いたところ、「観光」が46.4%で最も高く、次いで「買い物・飲食」(32.1%)、「通勤・通学」(14.3%)となっている。(図表9-6)

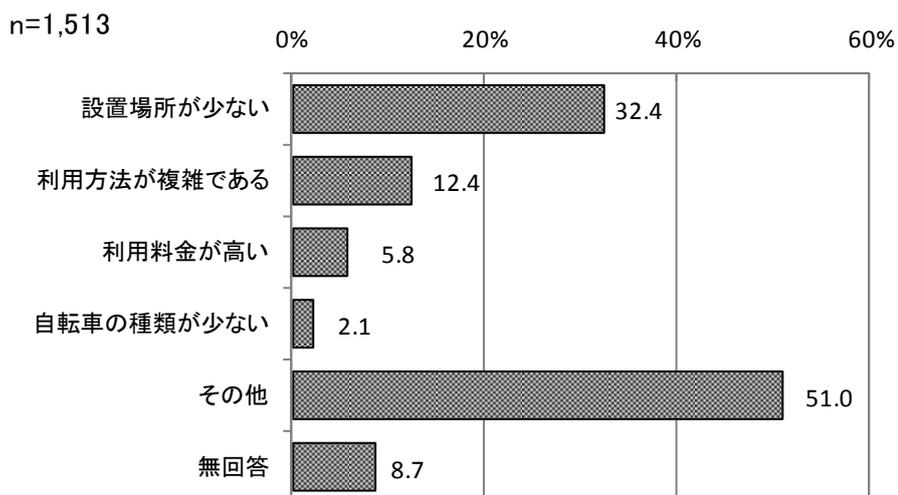
(4) コミュニティサイクルを利用しない理由について

◎ 「設置場所が少ない」が3割強で最も高くなっている

【問16で「3」または「4」と回答された方】

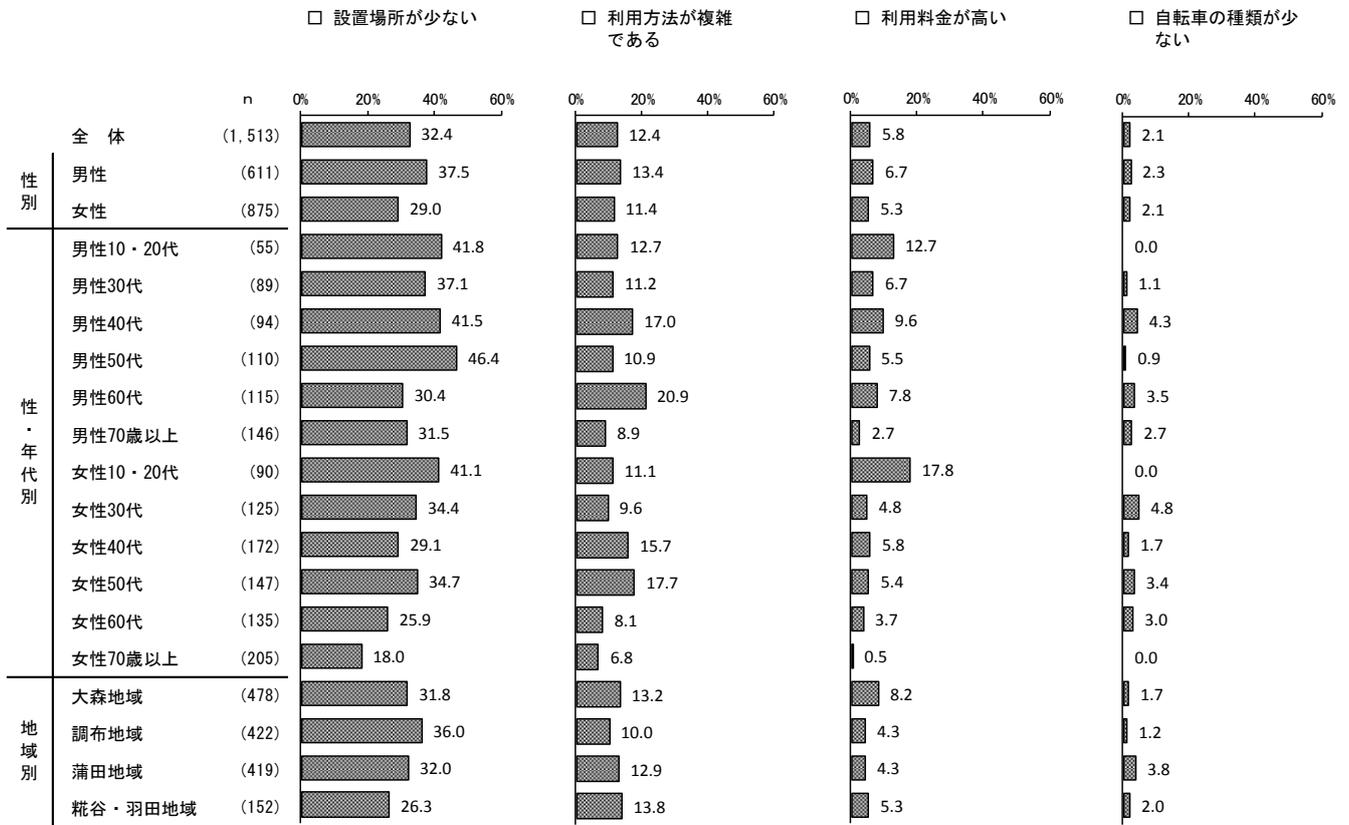
問16-2 コミュニティサイクルを利用しない（利用したことがない）理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

図表9-7 コミュニティサイクルを利用しない理由について



問16で「コミュニティサイクルを利用したことがない」と回答した方に、その理由を聞いたところ、「設置場所が少ない」が32.4%で最も高く、次いで「利用方法が複雑である」(12.4%)、「利用料金が低い」(5.8%)となっている。(図表9-7)

図表9-8 コミュニティサイクルを利用しない理由について
(性別・性/年代別・地域別 上位4項目)



コミュニティサイクルを利用しない理由について、上位4項目を性別で見ると、「設置場所が少ない」では男性(37.5%)、女性(29.0%)と、男性が女性を8.5ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「設置場所が少ない」では男女10・20代と男性40代~50代が4割を超えて他の年代より高くなっている。「利用方法が複雑である」では男性60代が20.9%で最も高くなっている。「利用料金が低い」では男女とも10・20代が1割を超えて、他の年代より高くなっている。

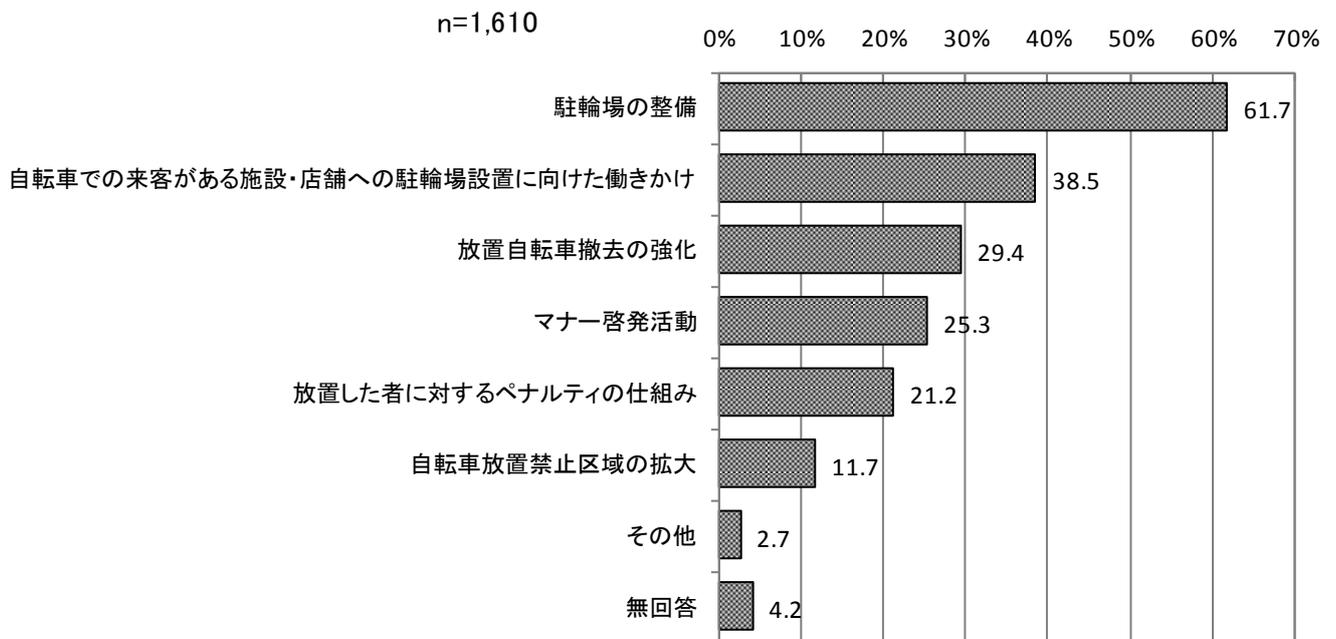
地域別で見ると、「設置場所が少ない」では調布地域が36.0%で最も高くなっている。「利用方法が複雑である」では全ての地域で概ね1割となっている。「利用料金が低い」では大森地域が8.2%と最も高くなっている。(図表9-8)

(5) 放置自転車対策について

◎「駐輪場の整備」が6割強で最も高くなっている

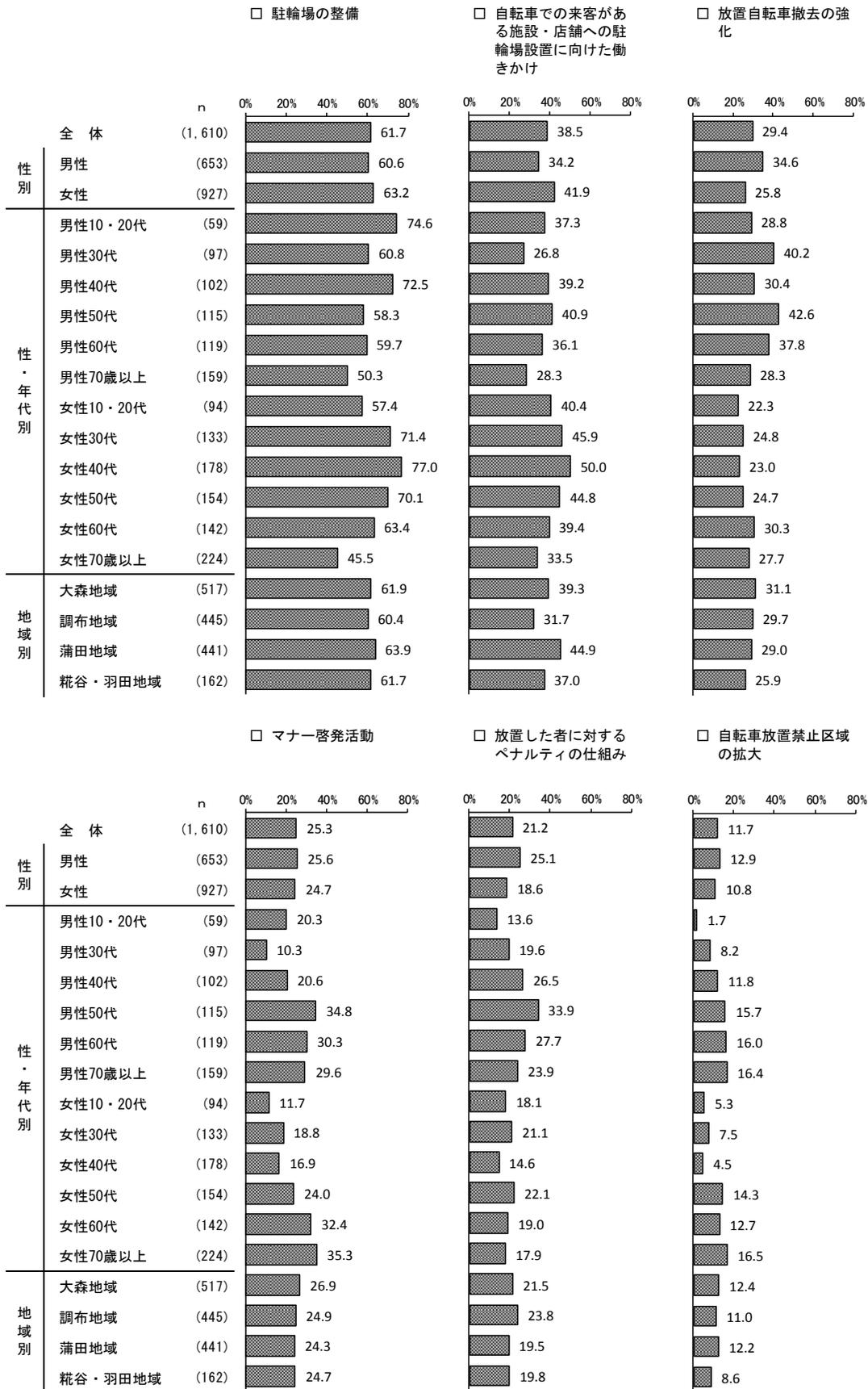
問17 区内の放置自転車対策として、力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表9-9 放置自転車対策について



放置自転車対策として力を入れてほしいことを聞いたところ、「駐輪場の整備」が61.7%で最も高く、次いで「自転車での来客がある施設・店舗への駐輪場設置に向けた働きかけ」(38.5%)、「放置自転車撤去の強化」(29.4%)となっている。(図表9-9)

図表9-10 放置自転車対策について（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



放置自転車対策について、上位6項目を性別で見ると、「放置自転車撤去の強化」では男性（34.6%）、女性（25.8%）と、男性が女性を8.8ポイント上回っており、「自転車での来客がある施設・店舗への駐輪場設置に向けた働きかけ」では男性（34.2%）、女性（41.9%）と、女性が男性を7.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「駐輪場の整備」では男性10・20代と男性40代、女性30代～50代が7割を超え、他の年代より高くなっている。「自転車での来客がある施設・店舗への駐輪場設置に向けた働きかけ」では男性50代、女性10・20代～50代が4割を超えて、他の年代より高くなっている。「放置自転車撤去の強化」、「放置した者に対するペナルティの仕組み」では男性50代が最も高くなっている。

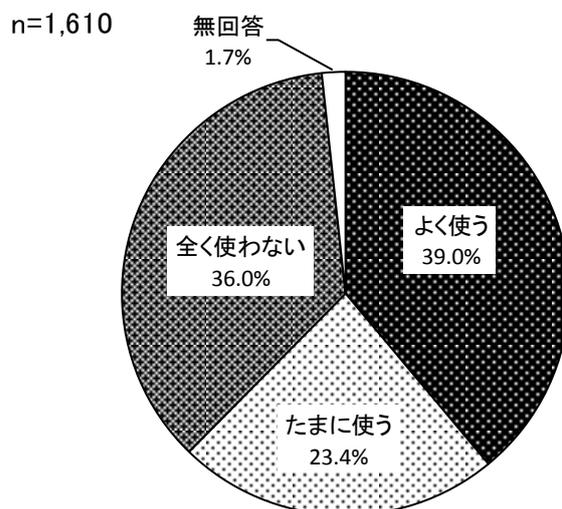
地域別で見ると、「駐輪場の整備」では全ての地域で6割台となっている。「自転車での来客がある施設・店舗への駐輪場設置に向けた働きかけ」では蒲田地域が44.9%で最も高くなっている。（図表9-10）

(6) 自転車の利用について

◎ 《使う（合計）》が6割強となっている

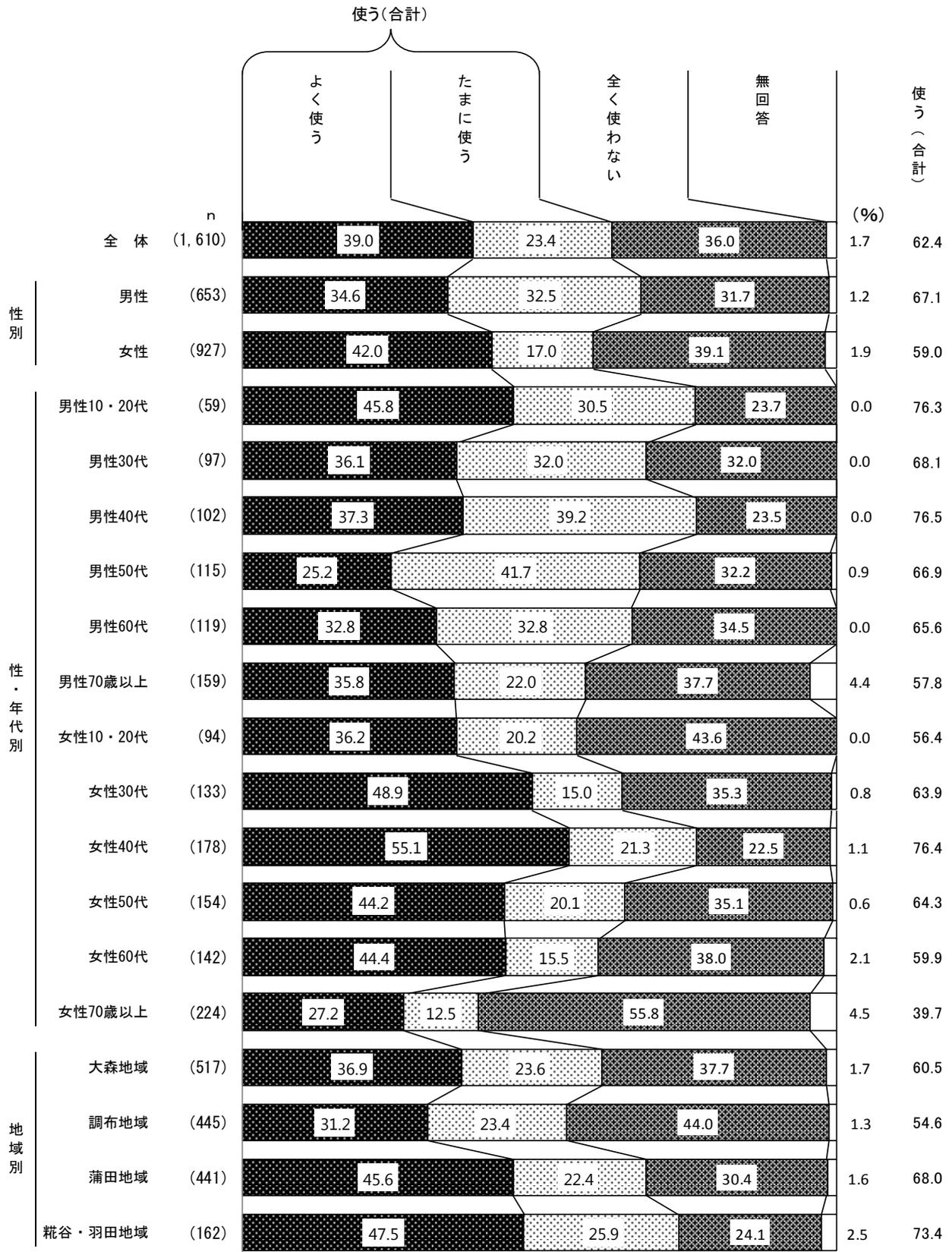
問18 あなたは、普段から自転車を使いますか。(○は1つ)

図表9-11 自転車の利用について



普段から自転車をを使うか聞いたところ、《使う（合計）》（「よく使う」と「たまに使う」の合計）が62.4%、「全く使わない」が36.0%となっている。（図表9-11）

図表9-12 自転車の利用について（性別・性/年代別・地域別）



自転車の利用について、性別で見ると、《使う（合計）》では男性（67.1%）、女性（59.0%）と、男性が女性を8.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《使う（合計）》では男女とも40代が最も高くなっており、「全く使わない」は男性では70歳以上が37.7%、女性では70歳以上が55.8%で最も高くなっている。

地域別で見ると、《使う（合計）》では糀谷・羽田地域で73.4%と最も高くなっている。一方、「全く使わない」では調布地域が44.0%で最も高くなっている。（図表9-12）

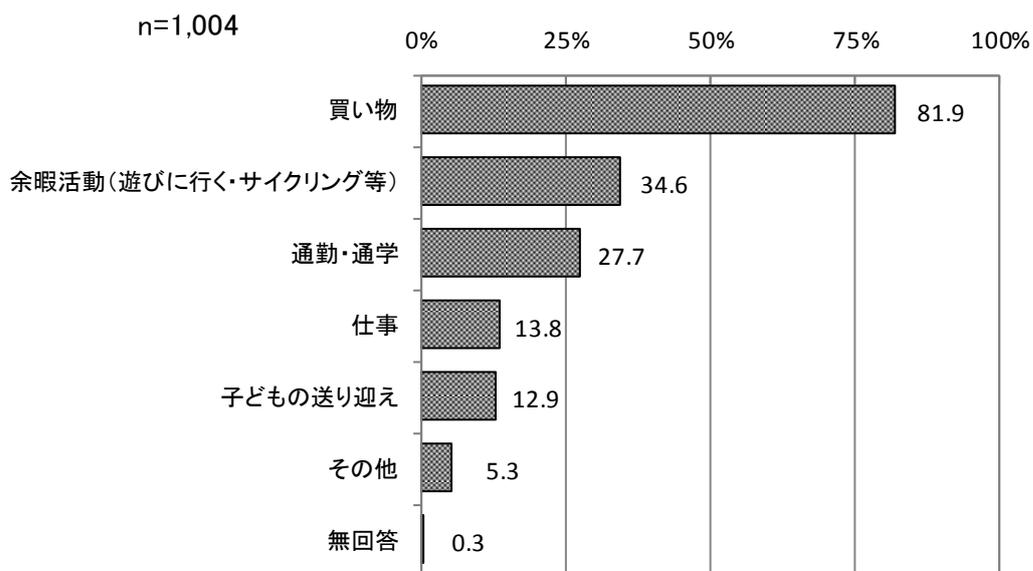
(7) 自転車を使う主な目的について

◎ 「買い物」が8割強で最も高くなっている

【問18で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

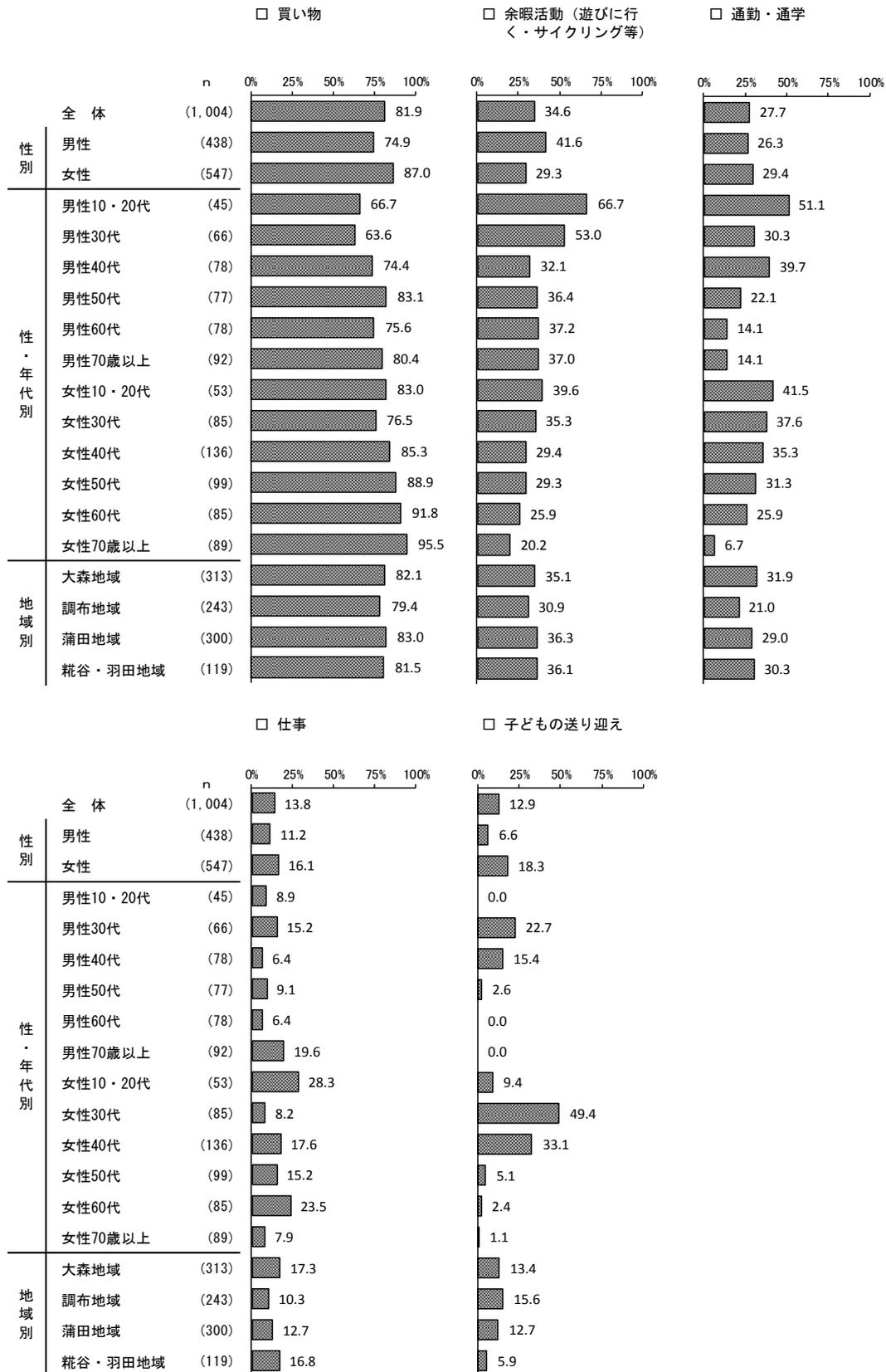
問18-1 あなたが自転車を使う主な目的は何ですか。(〇はいくつでも)

図表9-13 自転車を使う主な目的について



自転車を使う主な目的を聞いたところ、「買い物」が81.9%で最も高く、次いで「余暇活動（遊びに行く・サイクリング等）」(34.6%)、「通勤・通学」(27.7%)となっている。(図表9-13)

図表9-14 自転車を使う主な目的について（性別・性/年代別・地域別 上位5項目）



自転車を使う主な目的について、上位5項目を性別で見ると、「余暇活動（遊びに行く・サイクリング等）」を除いて、女性が男性を上回っている。

性／年代別で見ると、「買い物」では男性では50代が83.1%で最も高く、女性は30代から年代が上がるにつれて増加傾向となっている。「余暇活動（遊びに行く・サイクリング等）」では男性10・20代が66.7%で最も高く、男性30代で53.0%、男性40歳以上では3割台となっている。女性は10・20代が39.6%で最も高く、年代が上がるにつれて減少傾向となっている。「通勤・通学」では男性10・20代が51.1%で最も高く、女性では10・20代の41.5%をピークに年代が上がるにつれて減少傾向となっている。

地域別で見ると、「買い物」では全ての地域で概ね8割、「余暇活動（遊びに行く・サイクリング等）」では全ての地域で概ね3割台、「通勤・通学」では調布地域を除いて約3割となっている。（図表9-14）

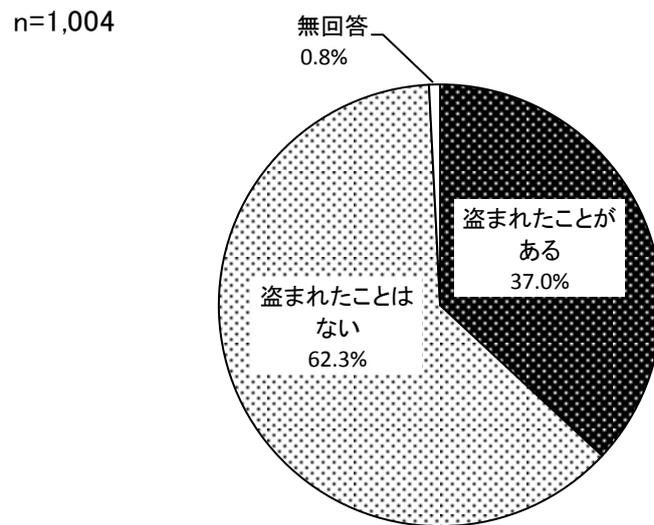
(8) 自転車を盗まれた経験

◎ 「盗まれたことがある」が3割台半ばとなっている

【問18で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

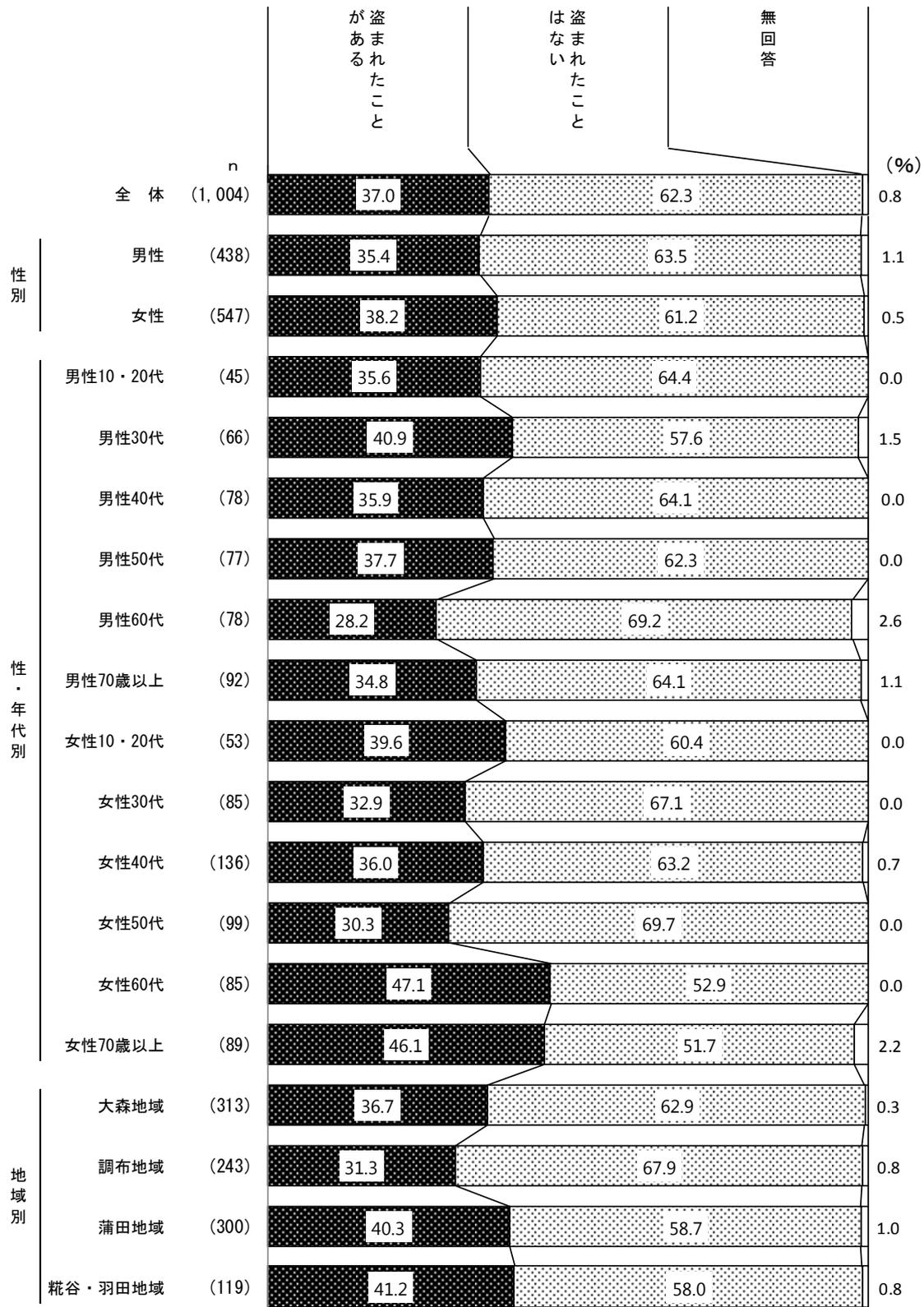
問18-2 あなたは、過去に自転車を盗まれたことがありますか。(○は1つ)

図表9-15 自転車を盗まれた経験



自転車を盗まれたことがあるかを聞いたところ、「盗まれたことがある」が37.0%、「盗まれたことはない」が62.3%となっている。(図表9-15)

図表9-16 自転車被盗まれた経験（性別・性/年代別・地域別）



自転車を盗まれた経験について、性別で見ると、「盗まれたことがある」では男性(35.4%)、女性(38.2%)と、女性が男性を2.8ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「盗まれたことがある」では男性30代、女性60歳以上で4割を超えて、他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「盗まれたことがある」では蒲田地域、糀谷・羽田地域で4割を超えている。(図表9-16)

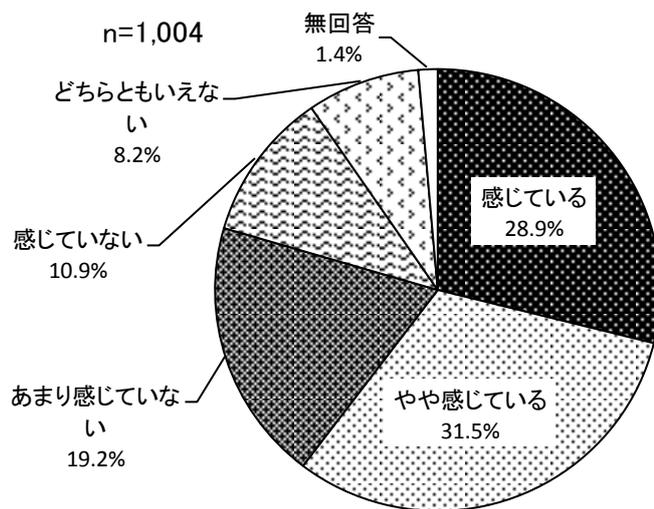
(9) 自転車を安全・快適に利用できるか

◎ 《感じている（合計）》が約6割となっている

【問18で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

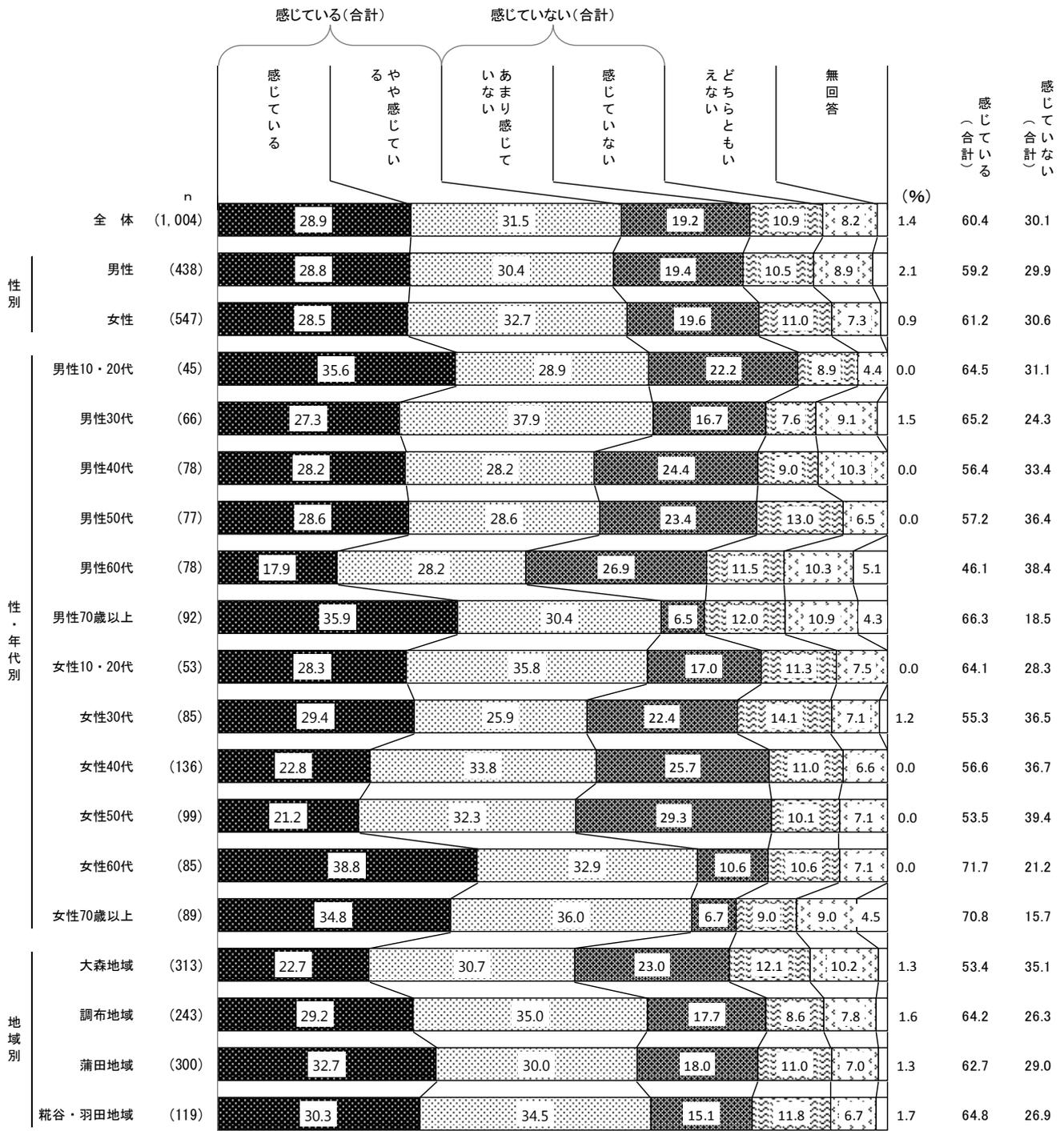
問18-3-1 あなたは、普段自転車を安全・快適に利用できると感じていますか。(○は1つ)

図表9-17 自転車を安全・快適に利用できるか



普段自転車を安全・快適に利用できると感じているか聞いたところ、《感じている（合計）》（「感じている」と「やや感じている」の合計）が60.4%、《感じていない（合計）》（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）が30.1%、「どちらともいえない」が8.2%となっている。（図表9-17）

図表9-18 自転車を利用できるか（性別・性/年代別・地域別）



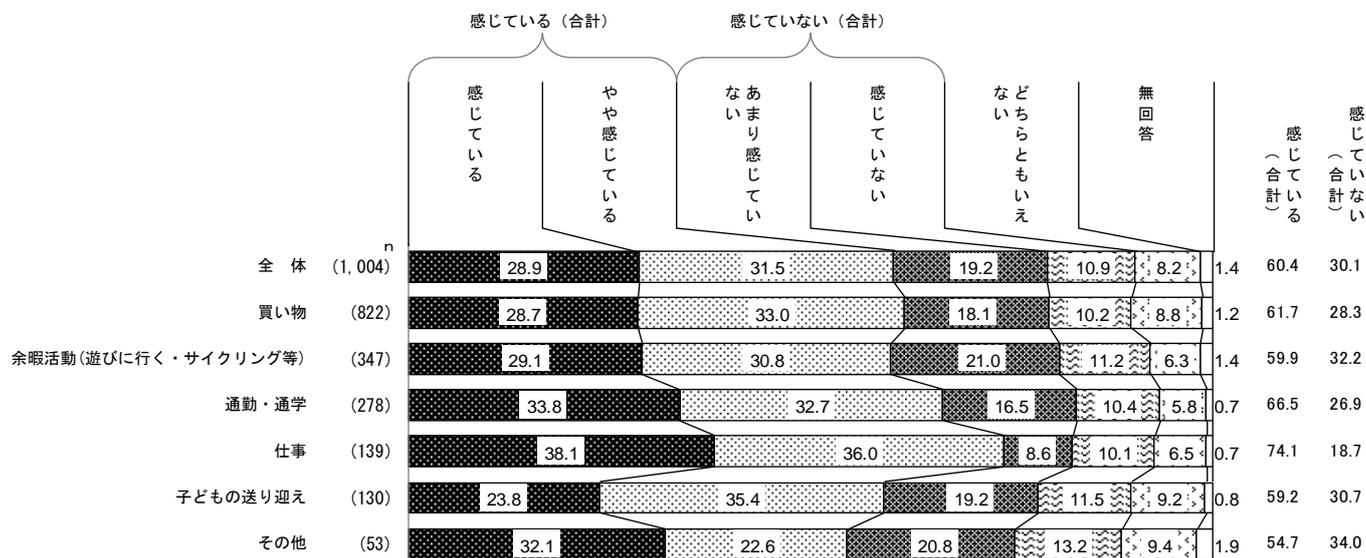
普段自転車を安全・快適に利用できると感じているかについて、性別で見ると、大きな差異は見られない。性/年代別で見ると、《感じている(合計)》は男性10・20代～30代、男性70歳以上で6割台、女性60歳以上で7割台と他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、《感じている(合計)》は大森地域を除いて6割台となっている。一方、《感じていない(合計)》は大森地域で3割台半ばと他の地域よりも高くなっている。(図表9-18)

問 18-1 × 問 18-3-1

「自転車を使う主な目的について」 × 「自転車を安全・快適に利用できるか」

図表 9-19



自転車を使う主な目的について、【自転車を安全・快適に利用できるか】という問いに対する回答別でみると、「仕事」では《感じる (合計)》は7割台半ばとなっている。

「余暇活動(遊びに行く・サイクリング等)」では《感じる (合計)》は約6割、《感じていない (合計)》は3割強となっている。(図表 9-19)

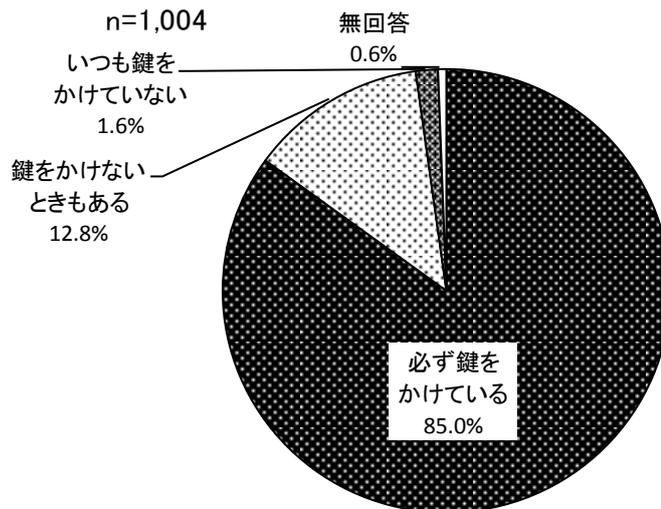
(10) 自転車に鍵をかけるかについて

◎ 「必ず鍵をかけている」が8割台半ばとなっている

【問18で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

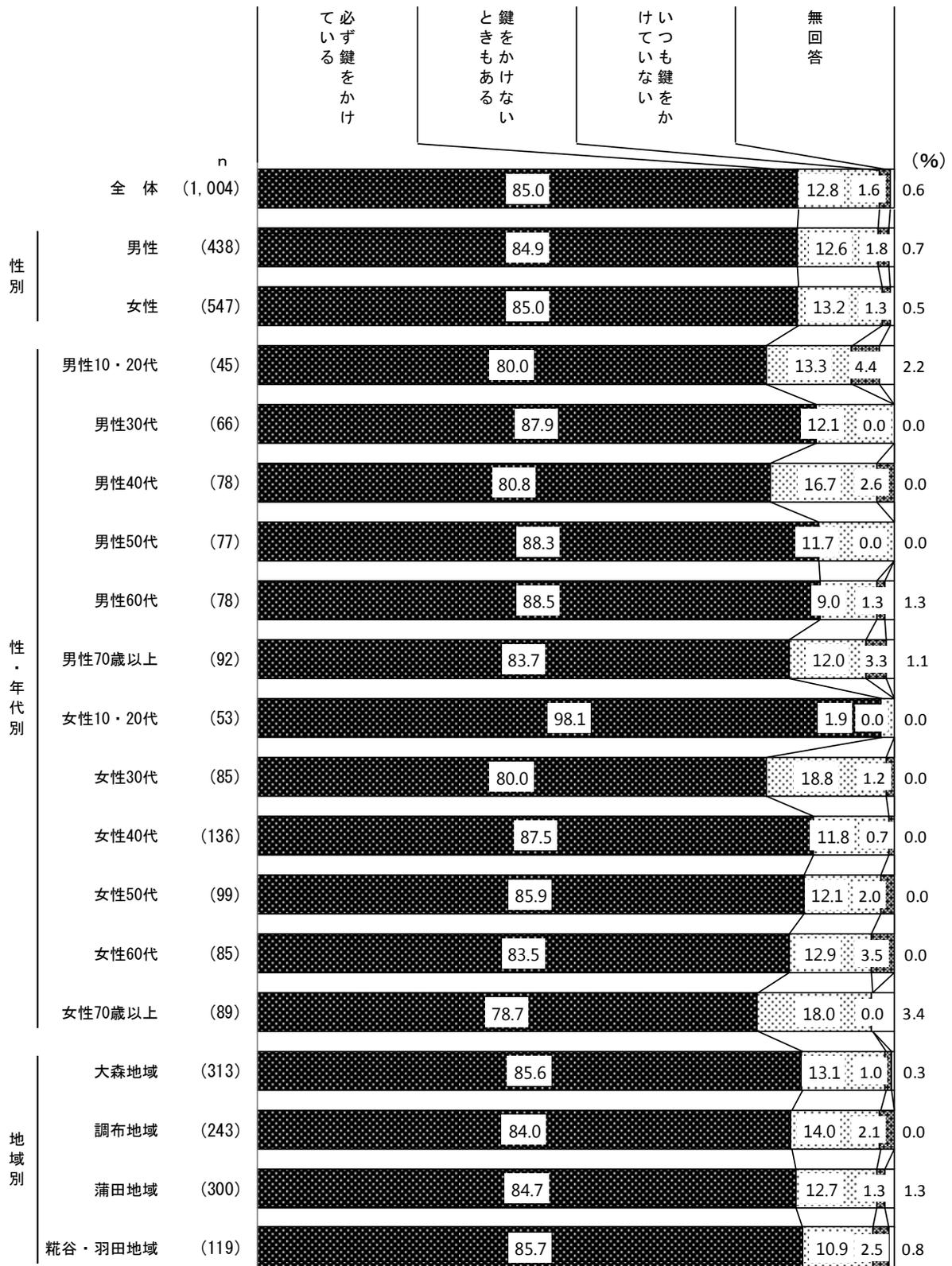
問18-4 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(○は1つ)

図表9-20 自転車に鍵をかけるかについて



普段自転車から降りた後に鍵をかけるかを聞いたところ、「必ず鍵をかけている」が85.0%、「鍵をかけないときもある」が12.8%、「いつも鍵をかけていない」が1.6%となっている。(図表9-20)

図表9-21 自転車に鍵をかけるかについて（性別・性/年代別・地域別）



自転車に鍵をかけるかについて、性別で見ると、大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると、「必ず鍵をかけている」は全ての年代で概ね8割となっており、「鍵をかけないときもある」は女性30代と70歳以上が2割弱と他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「必ず鍵をかけている」は全ての地域で8割台半ばとなっている。(図表9-21)

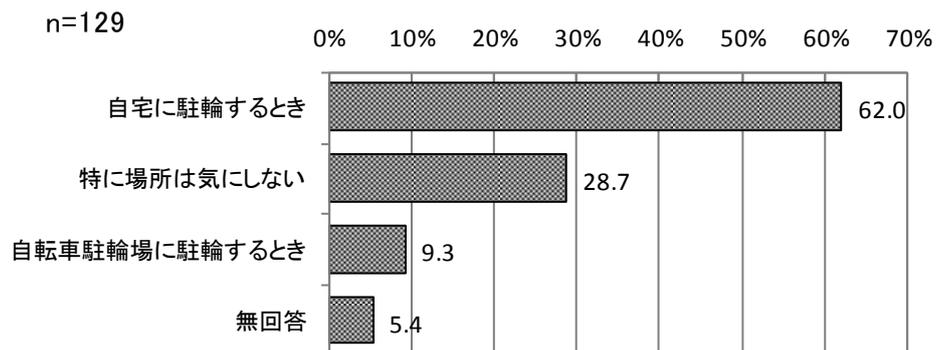
(11) 自転車に鍵をかけない時は、どのような時か

◎ 「自宅に駐輪するとき」が6割強で最も高くなっている

【問 18-4 で「2. 鍵をかけないときもある」と回答された方】

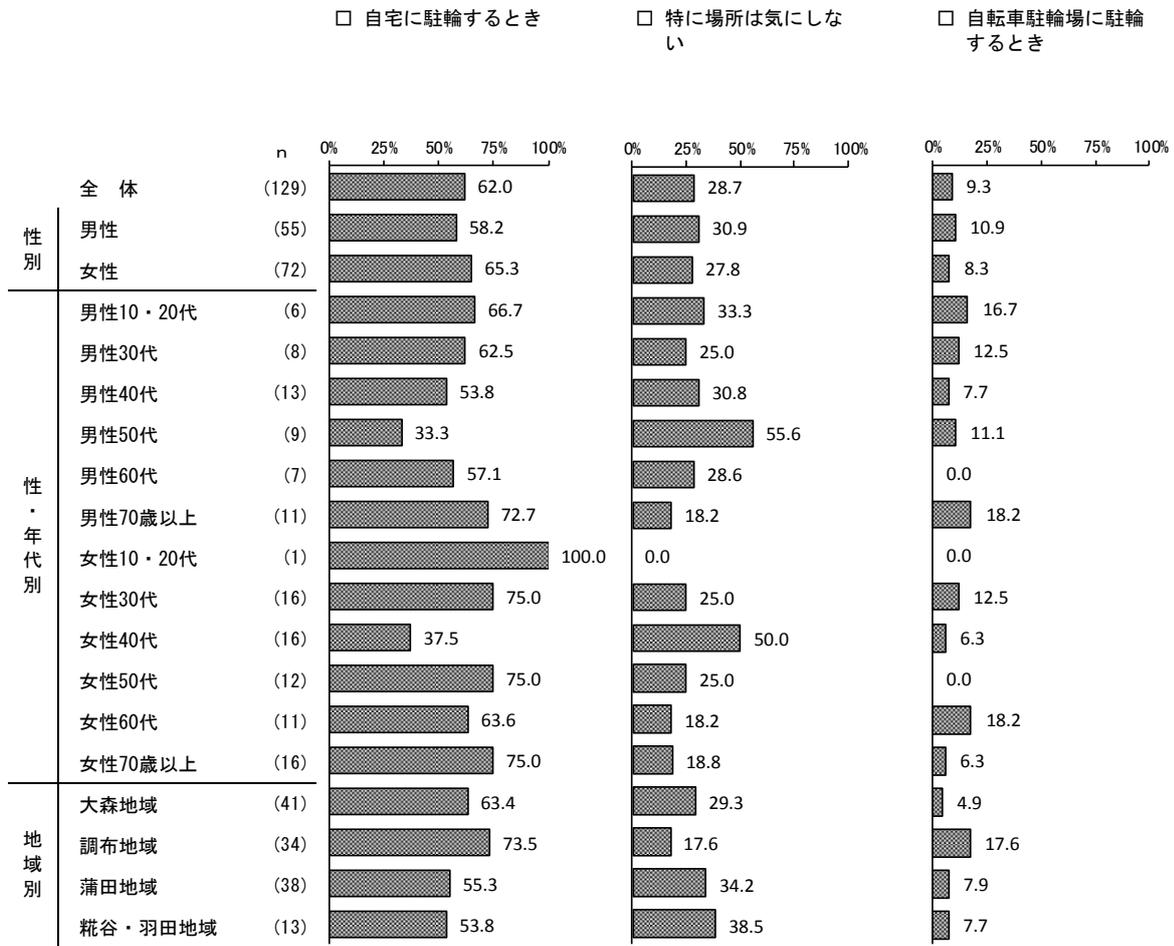
問 18-4-1 あなたが自転車に鍵をかけないのは、どのようなときですか。(〇はいくつでも)

図表 9-22 自転車に鍵をかけない時は、どのような時か



自転車に鍵をかけない時はどのような時かと聞いたところ、「自宅に駐輪するとき」が62.0%で最も高く、次いで「特に場所は気にしない」(28.7%)、「自転車駐輪場に駐輪するとき」(9.3%)となっている。(図表 9-22)

図表 9-23 鍵をかけないのは、どんな時か（性別・性/年代別・地域別）



※回答者が 30 人未満の層は参考扱いとする

自転車に鍵をかけない時について、性別で見ると、「自宅に駐輪するとき」では男性(58.2%)、女性(65.3%)と、女性が男性を7.1ポイント上回っている。「特に場所は気にしない」、「自転車駐輪場に駐輪するとき」では男性が女性を上回っている。

地域別で見ると、「自宅に駐輪するとき」では調布地域が73.5%、「自転車駐輪場に駐輪するとき」では調布地域が17.6%でそれぞれ最も高くなっている。(図表9-23)

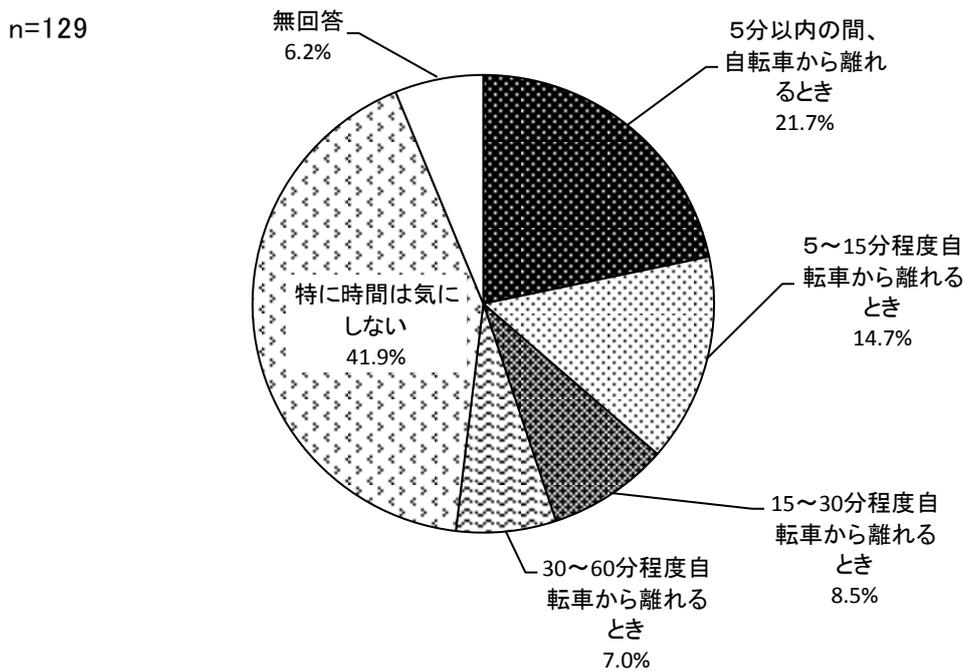
(12) 自転車に鍵をかけない時の時間について

◎ 「特に時間は気にしない」が4割強となっている

【問 18-4 で「2. 鍵をかけないときもある」と回答された方】

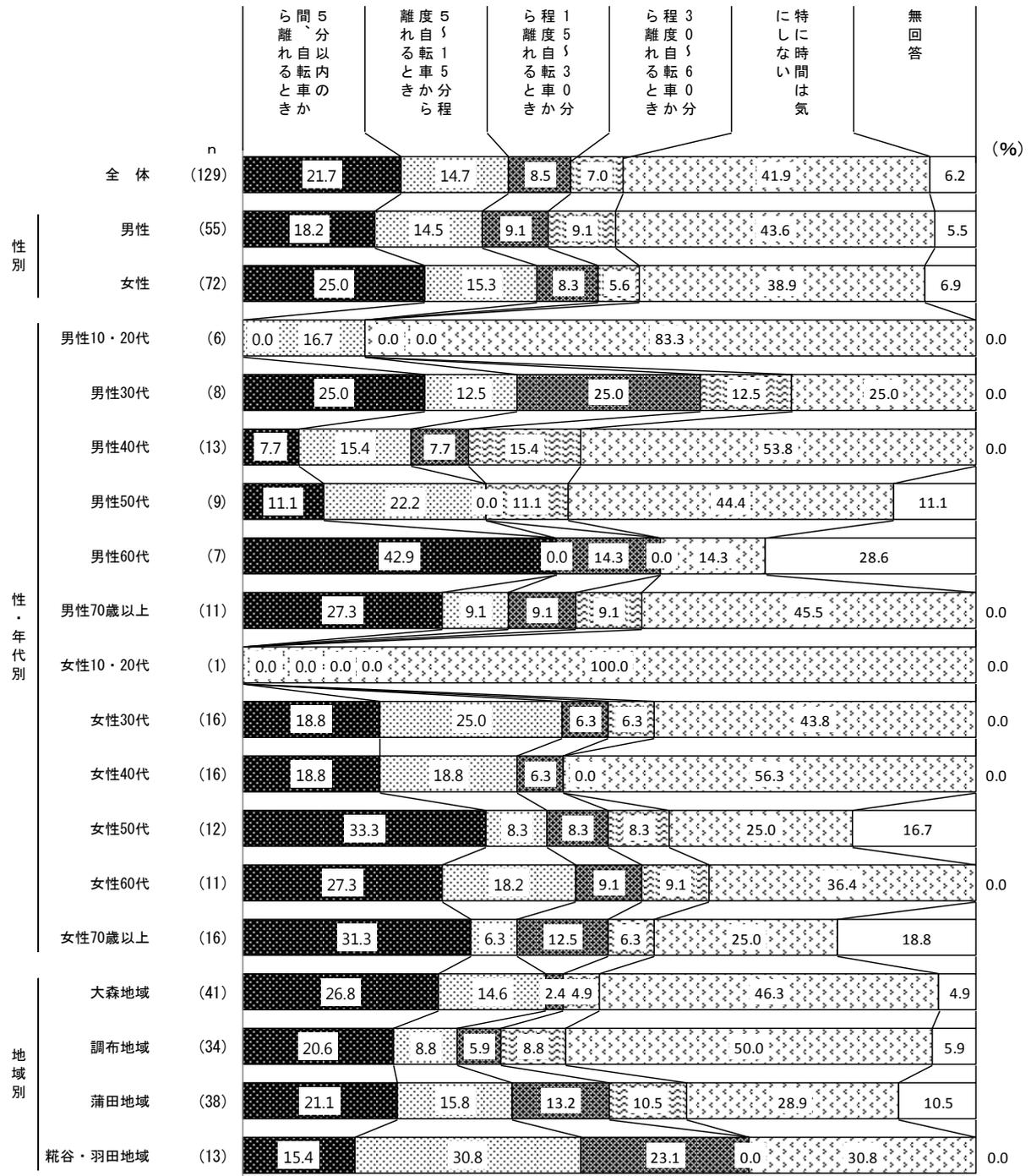
問 18-4-2 あなたが自転車に鍵をかけないのは、どのくらいの時間自転車から離れるときですか。
(○は1つ)

図表 9-24 自転車に鍵をかけない時の時間について



自転車に鍵をかけないのは、どのくらい自転車から離れる時か聞いたところ、「5分以内の間、自転車から離れるとき」が21.7%、「5~15分程度自転車から離れるとき」が14.7%、「15~30分程度自転車から離れるとき」が8.5%、「30~60分程度自転車から離れるとき」が7.0%、「特に時間は気にしない」が41.9%となっている。(図表 9-24)

図表 9-25 自転車に鍵をかけない時の時間について（性別・性/年代別・地域別）



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

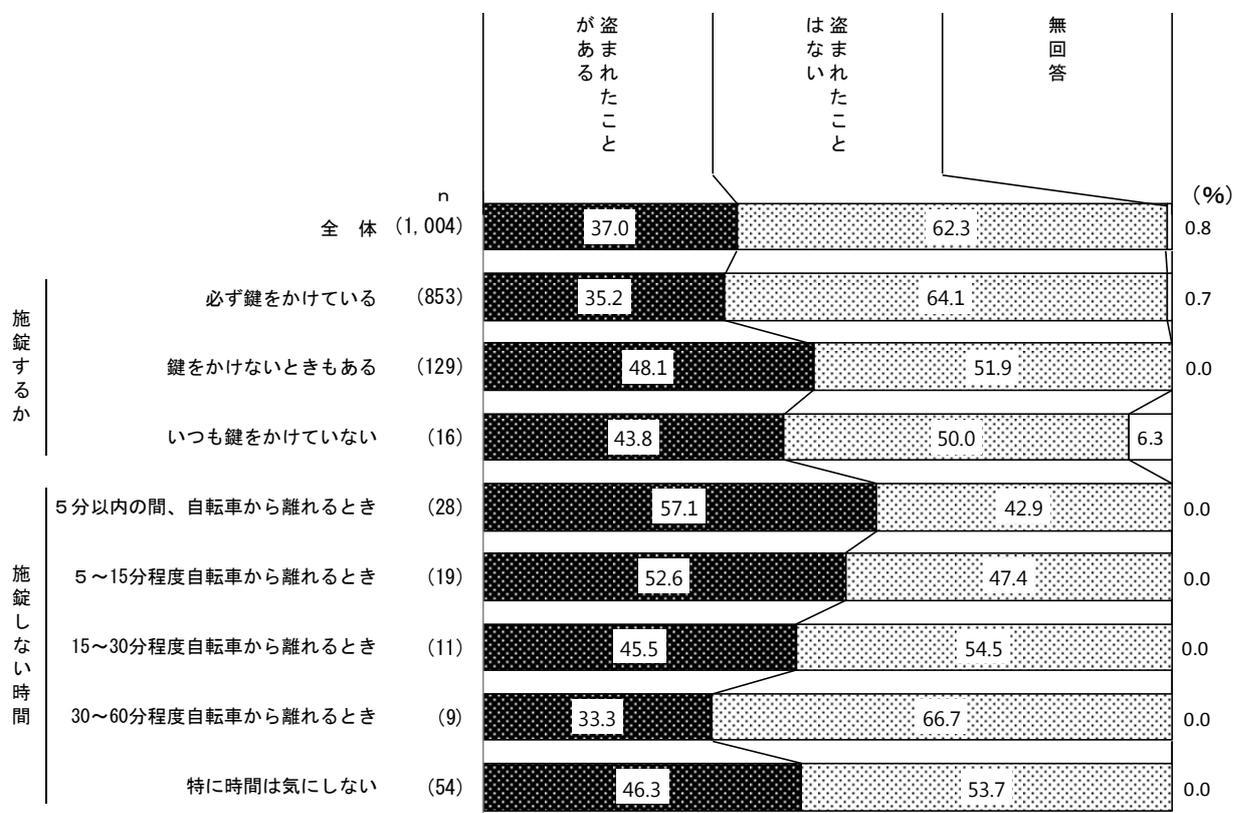
自転車に鍵をかけない時の時間について、性別で見ると、男女とも「特に時間は気にしない」が概ね4割で最も高くなっている。「5分以内の間、自転車から離れるとき」は男性（18.2%）、女性（25.0%）と、女性が男性を6.8ポイント上回っている。

地域別で見ると、全ての地域で「特に時間は気にしない」が最も高くなっている。（図表9-25）

問 18-2 × 問 18-4、問 18-4-2

「盗まれた経験」 × 「施錠するか」、「施錠しない時間」

図表 9-26



※回答者が 30 人未満の層は参考扱いとする

自転車を盗まれた経験について、自転車に施錠するかでみたところ、「盗まれたことがある」では【鍵をかけないときもある】で 48.1%と最も高い。

自転車に施錠しない時間でみたところ、「盗まれたことがある」では、【特に時間は気にしない】で 46.3%となっている。(図表 9-26)

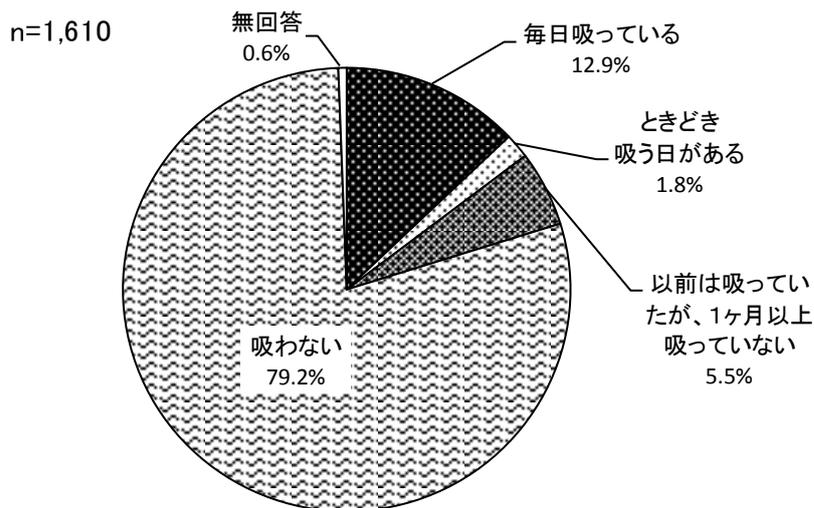
10 喫煙・受動喫煙について

(1) 喫煙について

◎ 「吸わない」が約8割となっている

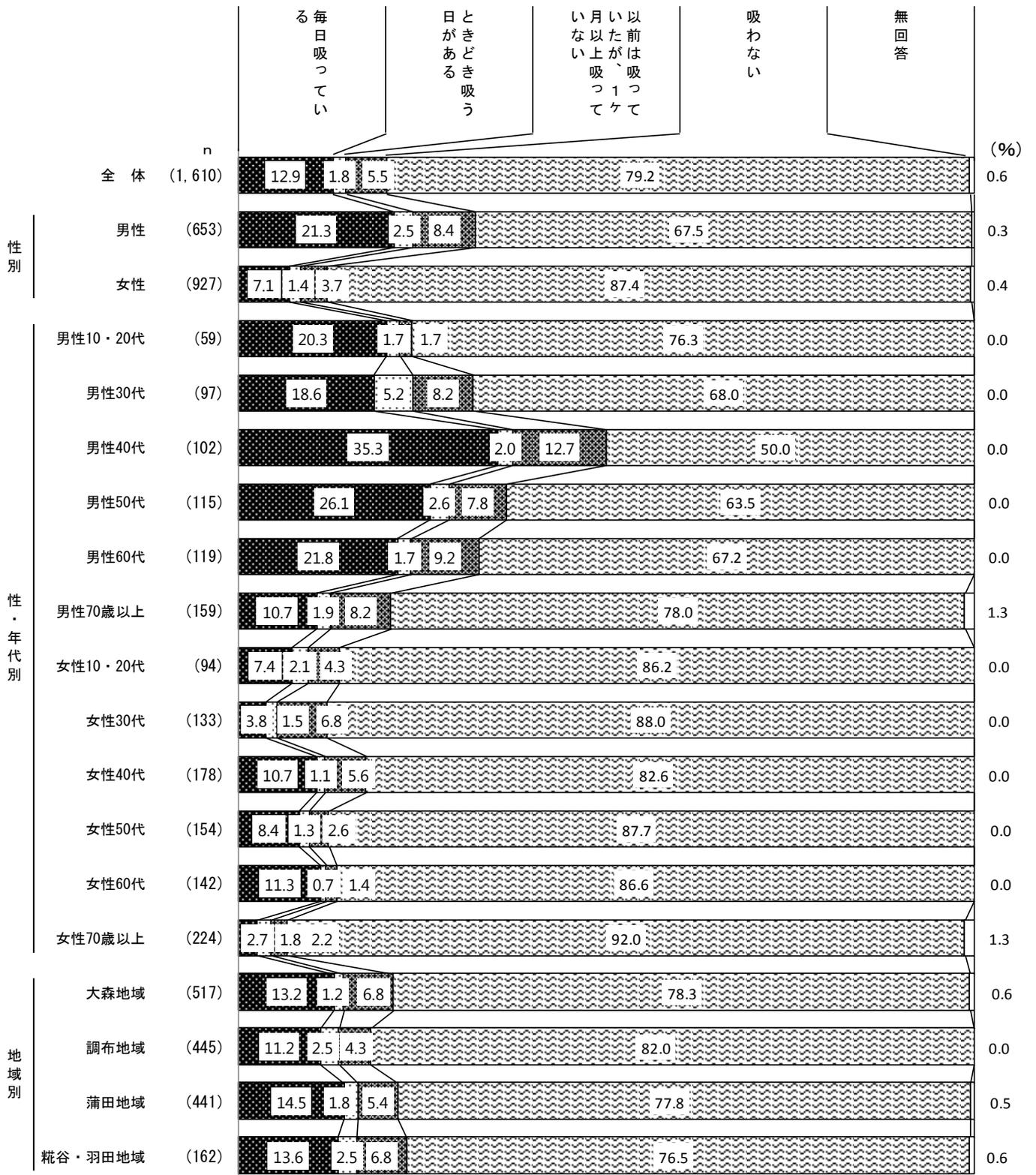
問19 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

図表 10-1 喫煙について



たばこを吸うかを聞いたところ、「毎日吸っている」が12.9%、「ときどき吸う日がある」が1.8%、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」が5.5%、「吸わない」が79.2%となっている。(図表10-1)

図表 10-2 喫煙について（性別・性/年代別・地域別）



喫煙について、性別で見ると、「毎日吸っている」では男性（21.3%）、女性（7.1%）と、男性が女性を14.2ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「毎日吸っている」では男性40代が35.3%で最も高く、他の年代は概ね1～2割台となっている。女性では40代と60代で1割を超え、他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「毎日吸っている」は全ての地域で1割台であり、大きな差異は見られない。（図表10-2）

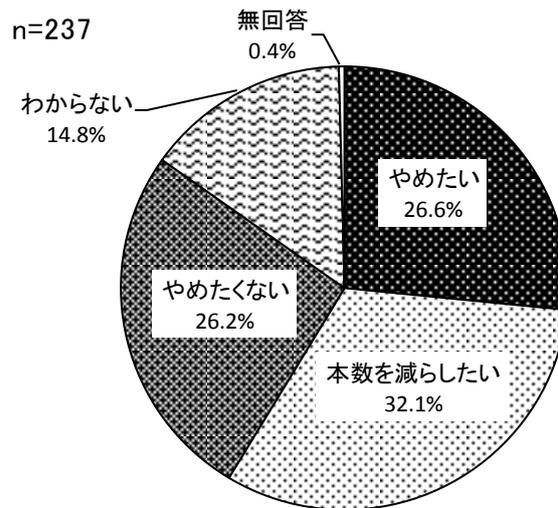
(2) 禁煙願望の有無

◎ 「やめたい」が2割台半ばとなっている

【問19で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】

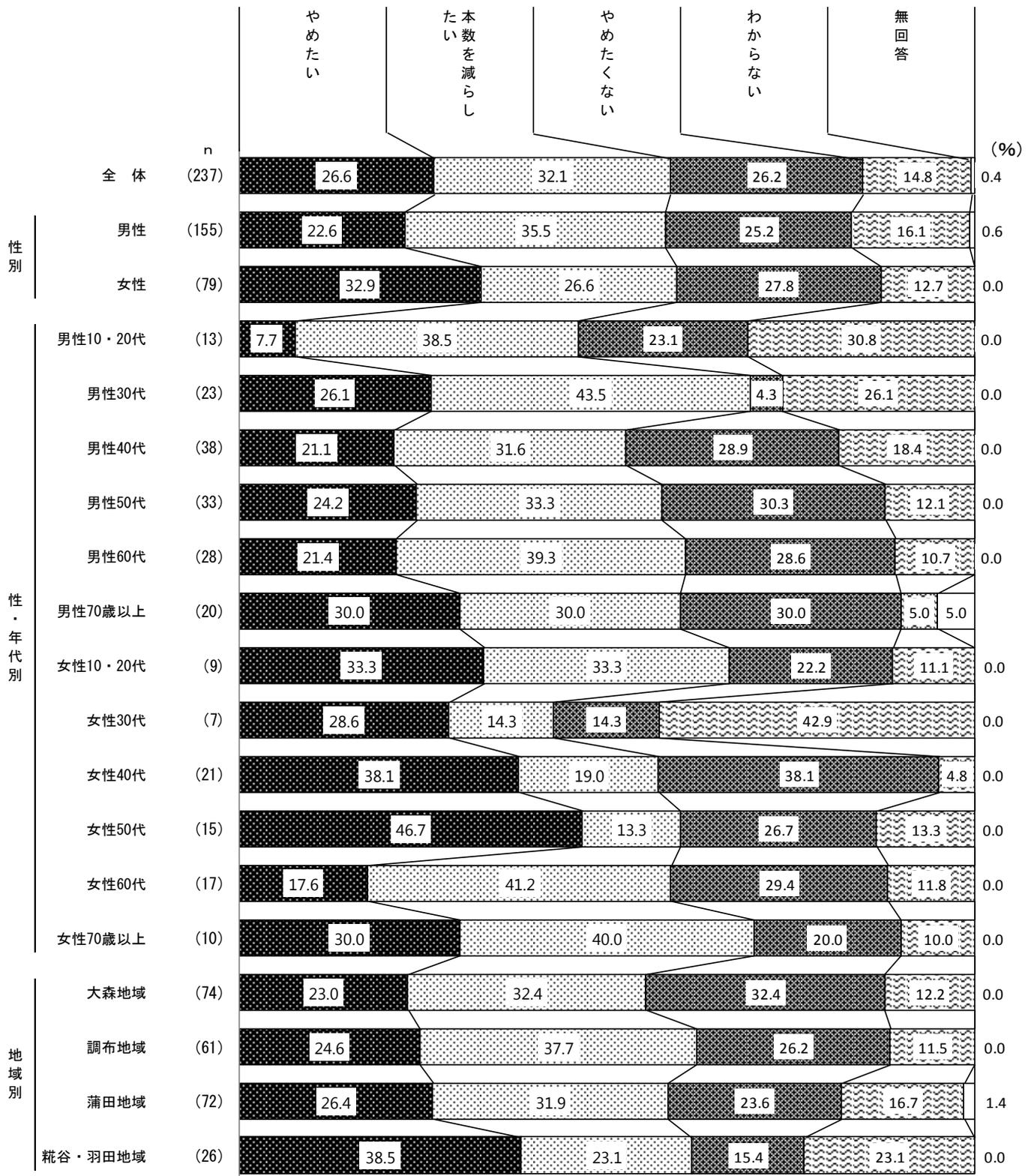
問19-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(○は1つ)

図表10-3 禁煙願望の有無



たばこをやめたいかを聞いたところ、「やめたい」が26.6%、「本数を減らしたい」が32.1%、「やめたくない」が26.2%、「わからない」が14.8%となっている。(図表10-3)

図表 10-4 禁煙願望の有無（性別・性/年代別・地域別）



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

禁煙願望の有無について、性別で見ると、「やめたい」では男性（22.6%）、女性（32.9%）と、女性が男性を10.3ポイント上回っている。「本数を減らしたい」では男性（35.5%）、女性（26.6%）と、男性が女性を8.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、男性40代～50代で「やめたい」は2割台、「本数を減らしたい」は3割台となっている。（図表10-4）

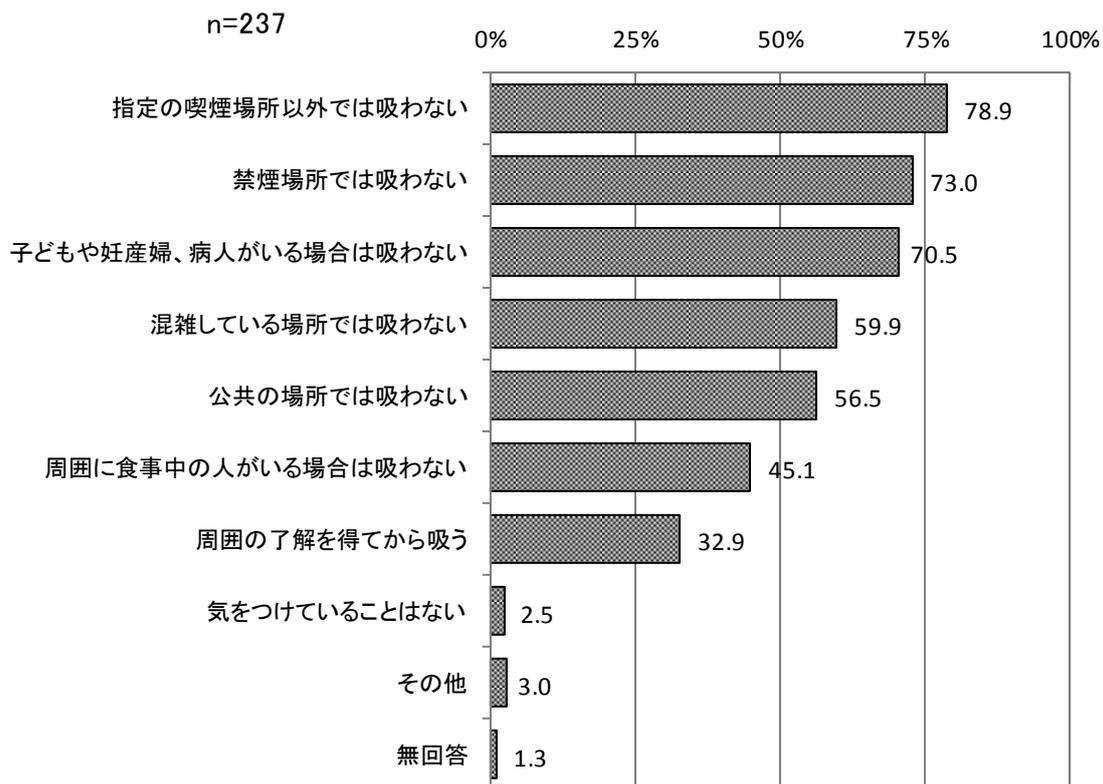
(3) 喫煙時に注意している事について

◎ 「指定の喫煙場所以外では吸わない」が8割弱で最も高くなっている

【問 19 で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】

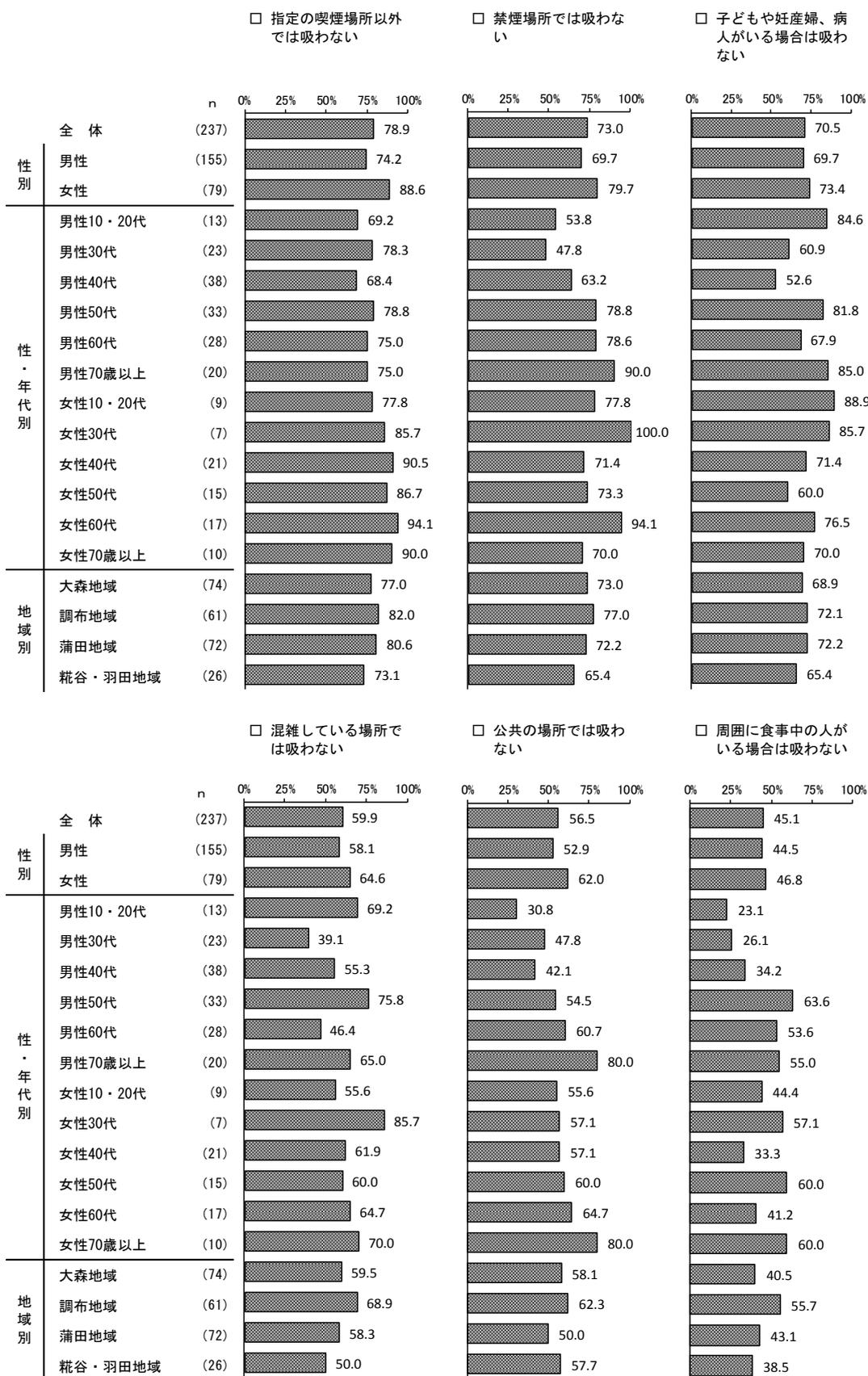
問 19-2 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

図表 10-5 喫煙時に注意している事について



たばこを吸うときに気をつけていることを聞いたところ、「指定の喫煙場所以外では吸わない」が78.9%で最も高く、次いで「禁煙場所では吸わない」(73.0%)、「子どもや妊産婦、病人がいる場合は吸わない」(70.5%)となっている。(図表 10-5)

図表 10-6 喫煙時に注意している事について（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

喫煙時に注意している事について、上位6項目を性別で見ると、全ての項目で女性が男性を上回っている。
性／年代別で見ると、全ての項目で男性50代が男性40代を上回っている。

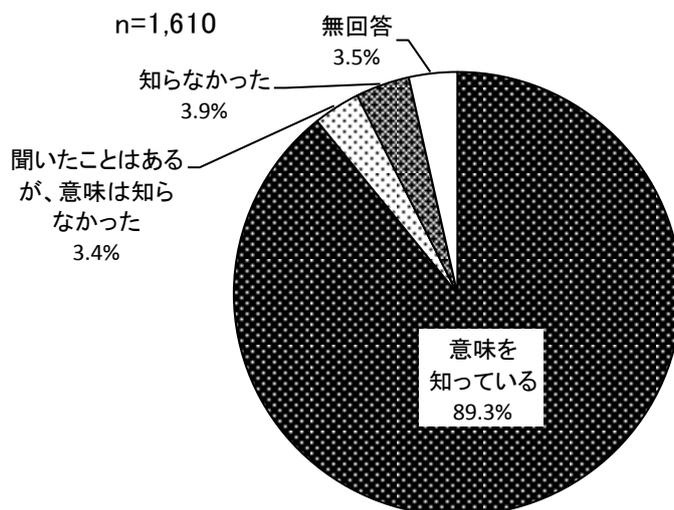
地域別で見ると、「子どもや妊産婦、病人がいる場合は吸わない」を除いて、調布地域が最も高くなっている。(図表10-6)

(4) 受動喫煙について

◎ 「意味を知っている」が約9割となっている

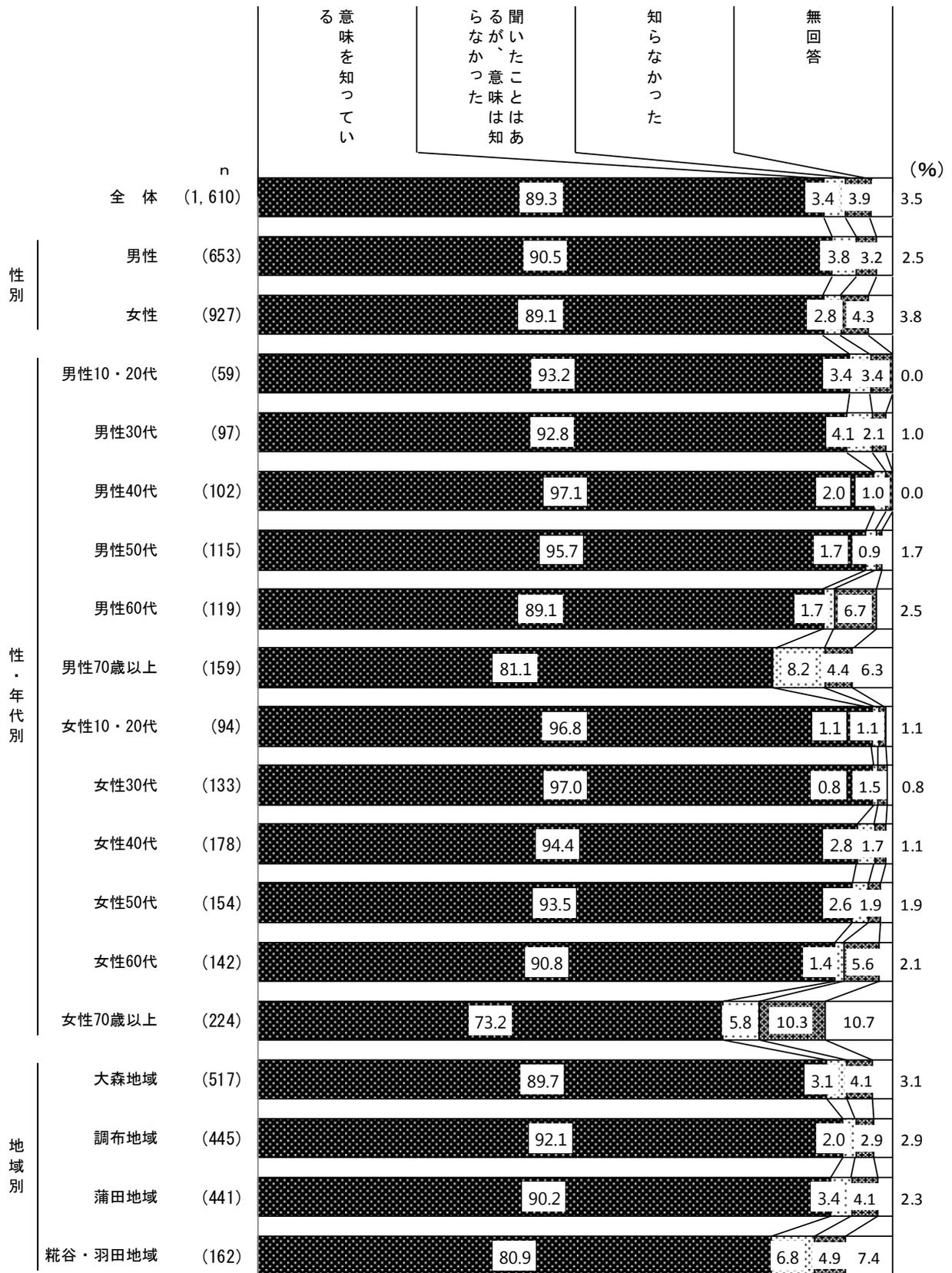
問 20 あなたは、「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。(○は1つ)

図表 10—7 受動喫煙について



「受動喫煙」という言葉を知っているかと聞いたところ、「意味を知っている」が89.3%、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が3.4%、「知らなかった」が3.9%となっている。(図表 10—7)

図表 10-8 受動喫煙について（性別・性/年代別・地域別）



受動喫煙という言葉を知っているかについて、性別で見ると、大きな差異は見られない。

性／年代別で見ると、「意味を知っている」では男女とも70歳以上を除いて、9割弱または9割台となっている。

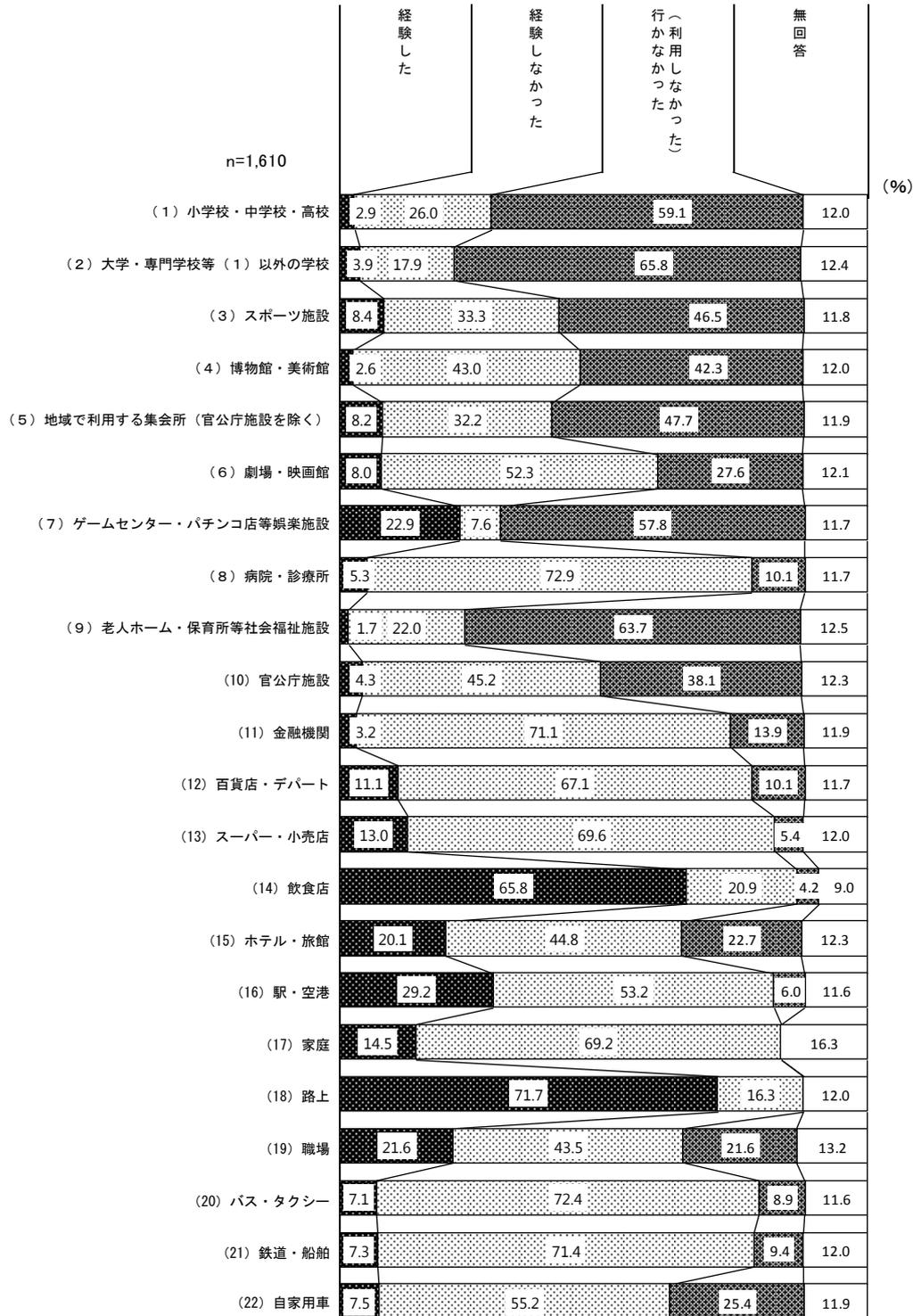
地域別で見ると、「意味を知っている」では、調布地域が92.1%と最も高くなっている。(図表10-8)

(5) 受動喫煙の経験の有無

◎ 受動喫煙を経験した場所では「路上」が7割強で最も高くなっている

問 21 あなたは、おおよそ1年の間に次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）で受動喫煙を経験しましたか。（〇はそれぞれ1つ）

図表 10-9 受動喫煙の経験の有無



※ 「(17) 家庭」と「(18) 路上」については、「3. 行かなかった(利用しなかった)」の選択肢を除外している。

受動喫煙を経験した施設について聞いたところ、「経験した」では路上が71.7%で最も高く、次いで飲食店(65.8%)、駅・空港(29.2%)となっている。「経験した」中で低いものは、老人ホーム・保育所等社会福祉施設(1.7%)、博物館・美術館(2.6%)、小学校・中学校・高校(2.9%)となっている。

一方、受動喫煙を「経験しなかった」ではゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設で7.6%が最も低くなっている。

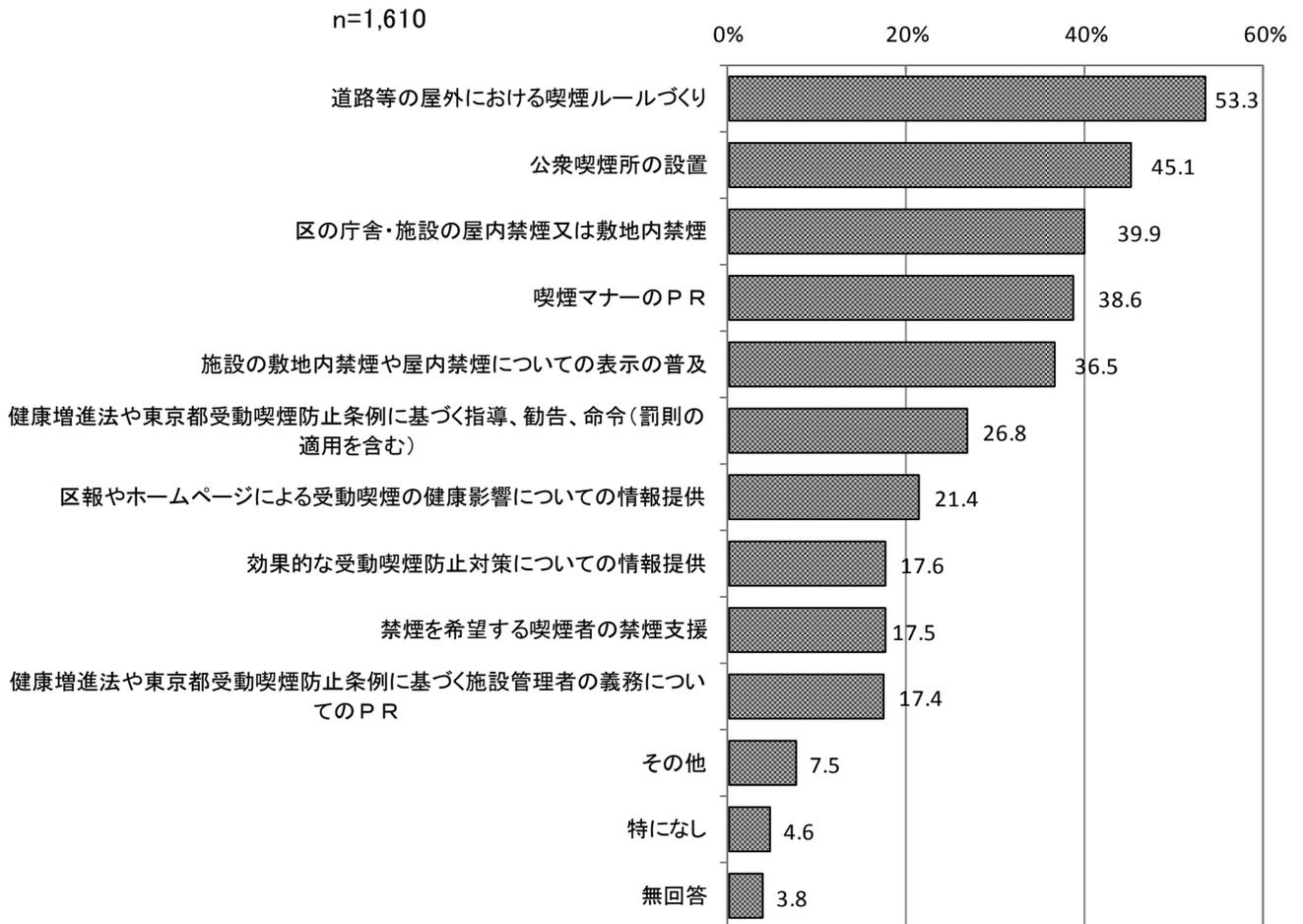
また、ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設、飲食店、路上については、「経験した」と回答した人の割合が「経験しなかった」と回答した人の割合より多い。(図表10-9)

(6) 受動喫煙防止に向け、区が推進すべき取り組みについて

◎ 「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が5割台半ばで最も高くなっている

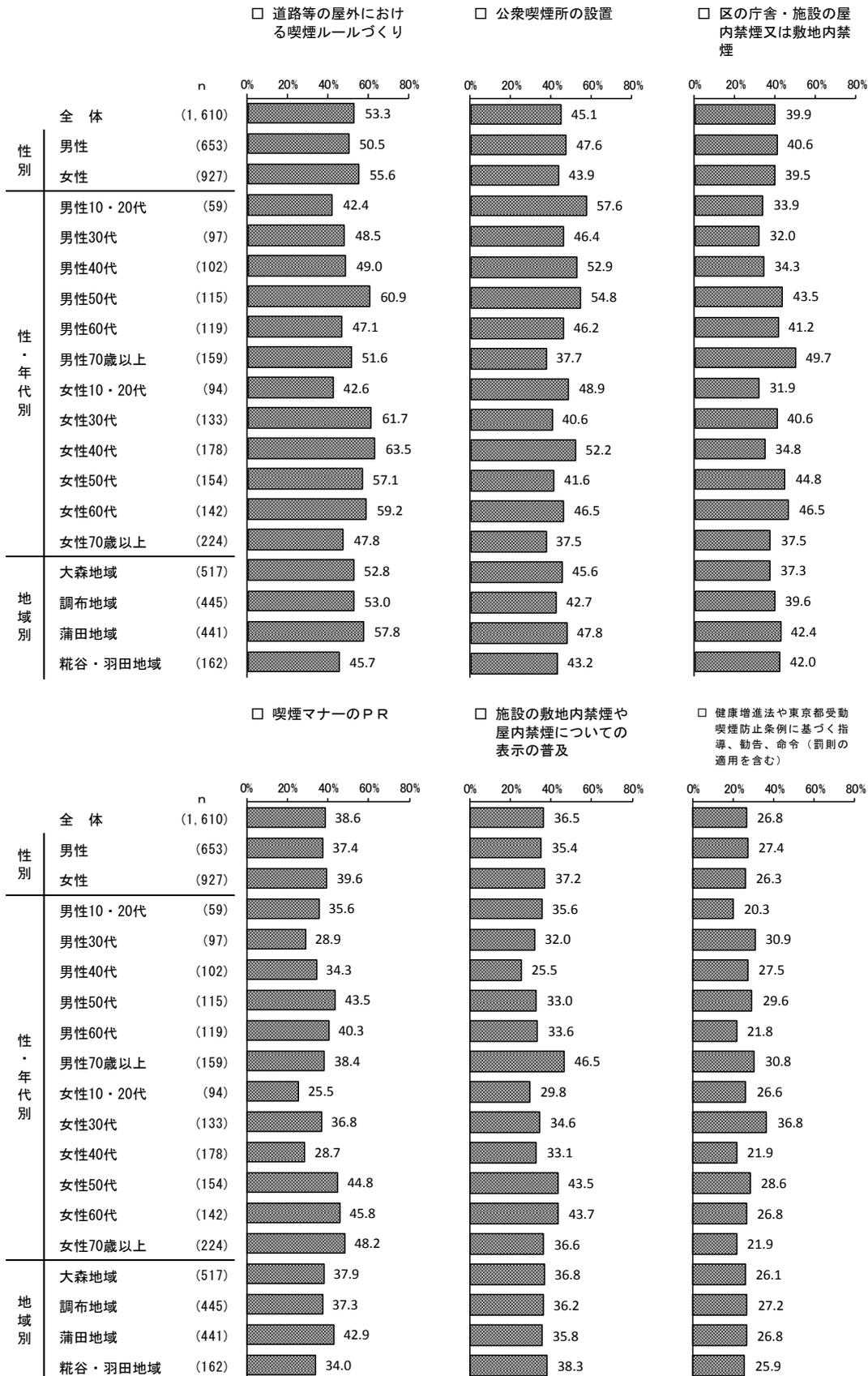
問 22 あなたは、受動喫煙防止に向け、次のうち区が特に推進するべきと考える取り組みはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

図表 10-10 受動喫煙防止に向け、区が推進すべき取り組みについて



受動喫煙防止に向けて、区が特に推進するべきと考える取り組みを聞いたところ、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が53.3%で最も高く、次いで「公衆喫煙所の設置」(45.1%)、「区の庁舎・施設の屋内禁煙又は敷地内禁煙」(39.9%)となっている。(図表 10-10)

図表 10—11 受動喫煙防止に向け、区が推進すべき取り組みについて
(性別・性/年代別・地域別 上位6項目)



受動喫煙防止に向け、区が推進すべき取り組みについて、上位6項目を性別で見ると、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」では男性（50.5%）、女性（55.6%）と、女性が男性を5.1ポイント上回っている。

「公衆喫煙所の設置」では男性（47.6%）、女性（43.9%）と、男性が女性を3.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」では男性50代、女性30代～40代が6割を超えて他の年代より高くなっている。「公衆喫煙所の設置」では男性10・20代、40代～50代、女性40代で5割を超えて他の年代より高くなっている。「区の庁舎・施設の屋内禁煙又は敷地内禁煙」では男性50歳以上、女性30代、50代～60代で4割を超えて他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「公衆喫煙所の設置」では全ての地域で4割台となっている。（図表10-11）

11 食品ロス・フードドライブについて

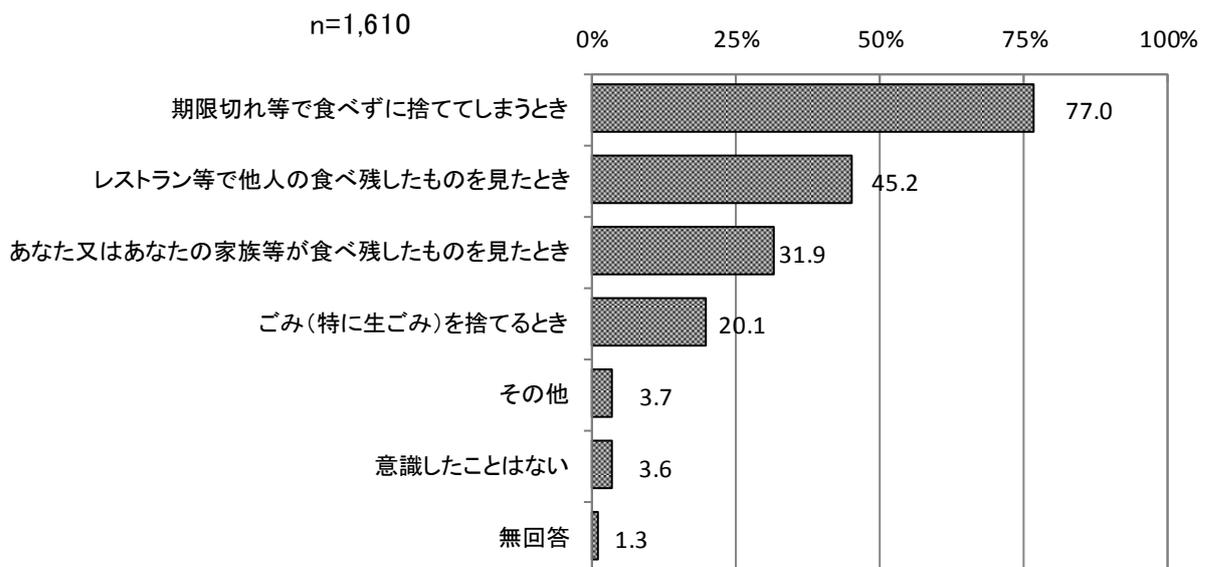
(1) 食生活の中で「もったいない」と意識したとき

◎ 「期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき」が8割弱で最も高くなっている

問 23 あなたは、食生活の中で「もったいない」と意識したことがあるのはどんなときですか。

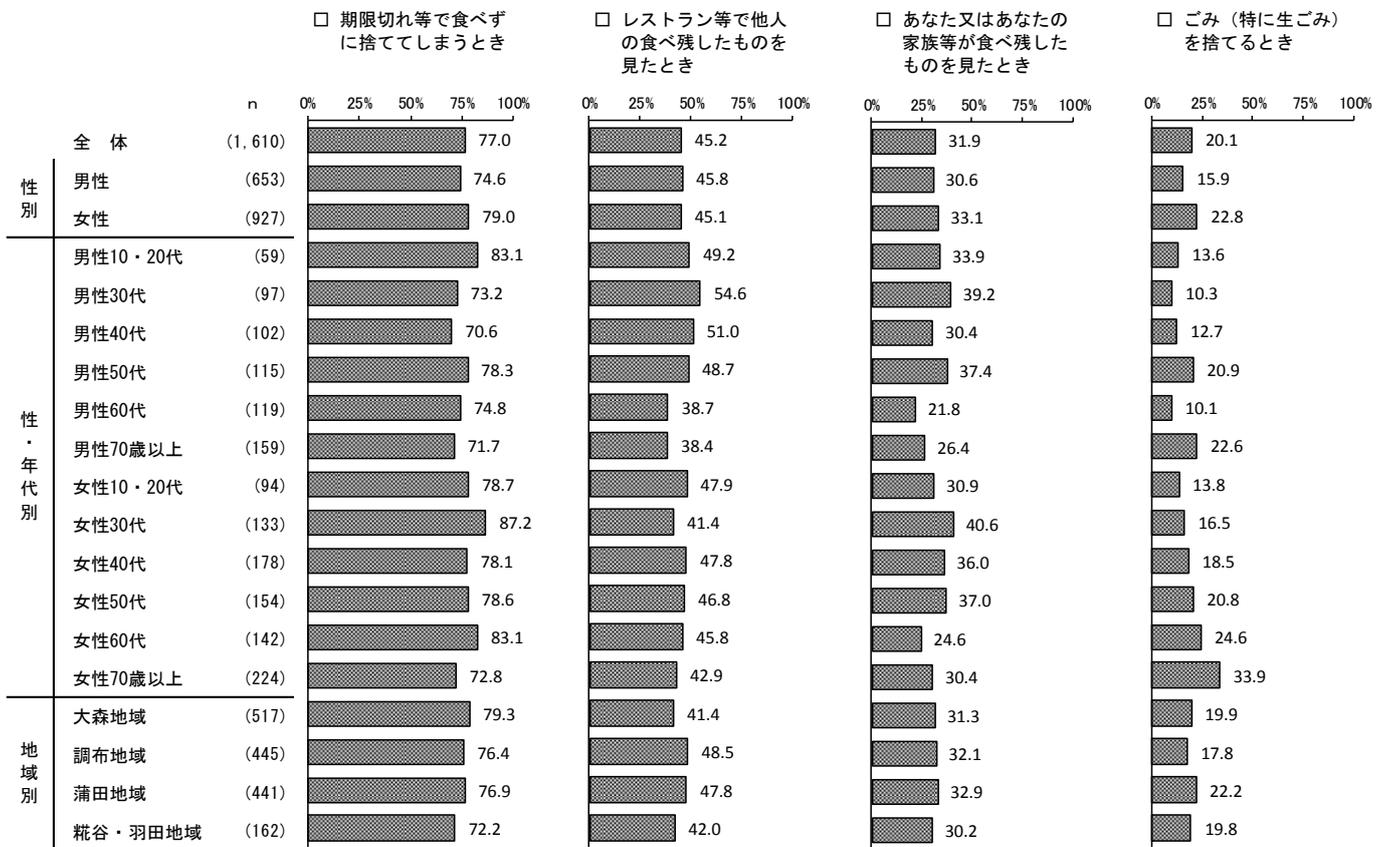
(○はいくつでも)

図表 11-1 食生活の中で「もったいない」と意識したとき



食生活の中で「もったいない」と意識したことがあるのはどんな時かを聞いたところ、「期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき」が77.0%で最も高く、次いで「レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき」(45.2%)、「あなた又はあなたの家族等が食べ残したのを見たとき」(31.9%)となっている。(図表 11-1)

図表 11-2 食生活の中で「もったいない」と意識したとき
(性別・性/年代別・地域別 上位4項目)



食生活の中で「もったいない」と意識した時について、上位4項目を性別で見ると、「レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき」を除いて、女性が男性を上回っている。

性/年代別で見ると、「期限切れ等で食べずに捨てる時」では全ての年代で7割を超えており、男性10・20代、女性30代、60代では8割を超えている。「レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき」では男女とも概ね年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

地域別で見ると、「期限切れ等で食べずに捨てる時」では大森地域が79.3%で最も高くなっている。「レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき」では調布地域が48.5%で最も高く、「あなた又はあなたの家族等が食べ残したのを見たとき」では全ての地域で概ね3割となっている。(図表 11-2)

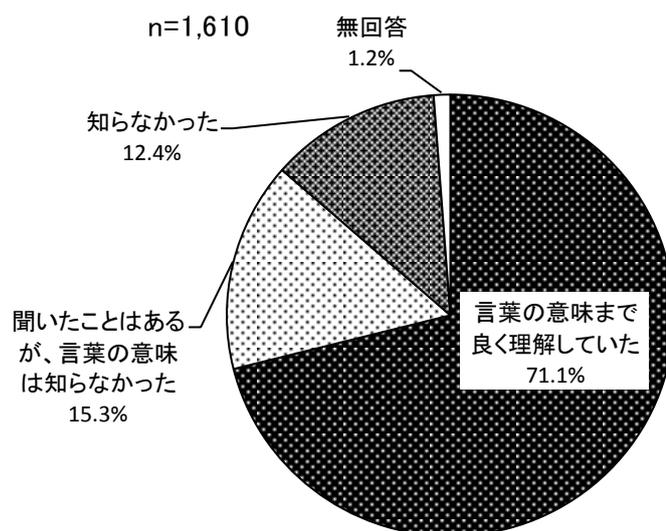
(2) 「食品ロス」の認知度

◎ 「言葉の意味まで良く理解していた」が7割強となっている

問 24 あなたは、「食品ロス」という言葉をご存知ですか。(○は1つ)

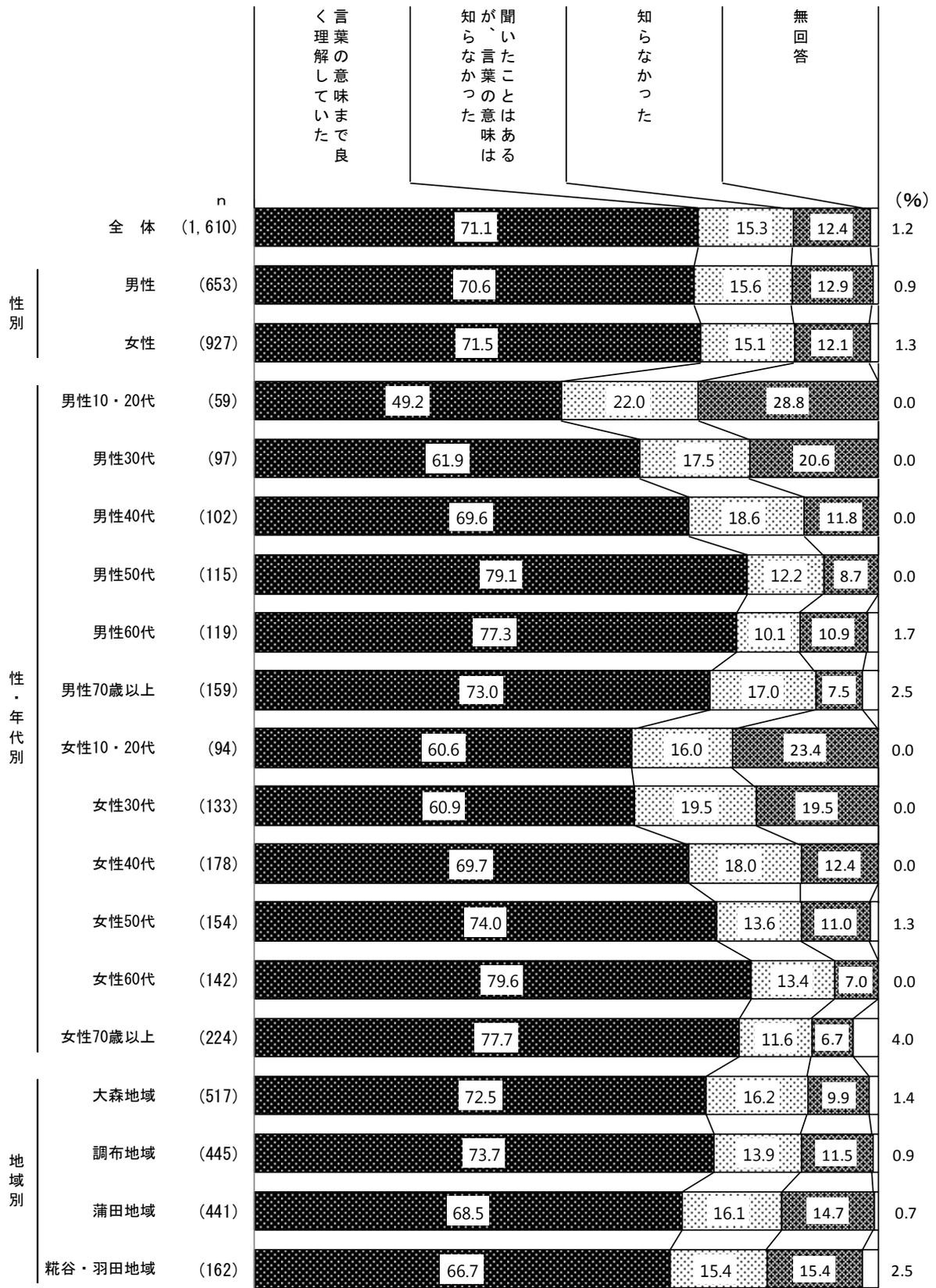
※食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます。

図表 11-3 「食品ロス」の認知度



「食品ロス」という言葉を知っているかを聞いたところ、「言葉の意味まで良く理解していた」が71.1%、「聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった」が15.3%、「知らなかった」が12.4%となっている。(図表 11-3)

図表 11-4 「食品ロス」の認知度（性別・性/年代別・地域別）



「食品ロス」の認知度について、性別で見ると、大きな差異は見られなかった。

性／年代別で見ると、「言葉の意味まで良く理解していた」では男女とも年代が上がるにつれて概ね割合が高くなり、50歳以上では7割を超えている。

地域別で見ると、「言葉の意味まで良く理解していた」では調布地域が73.7%で最も高くなっている。(図表 11-4)

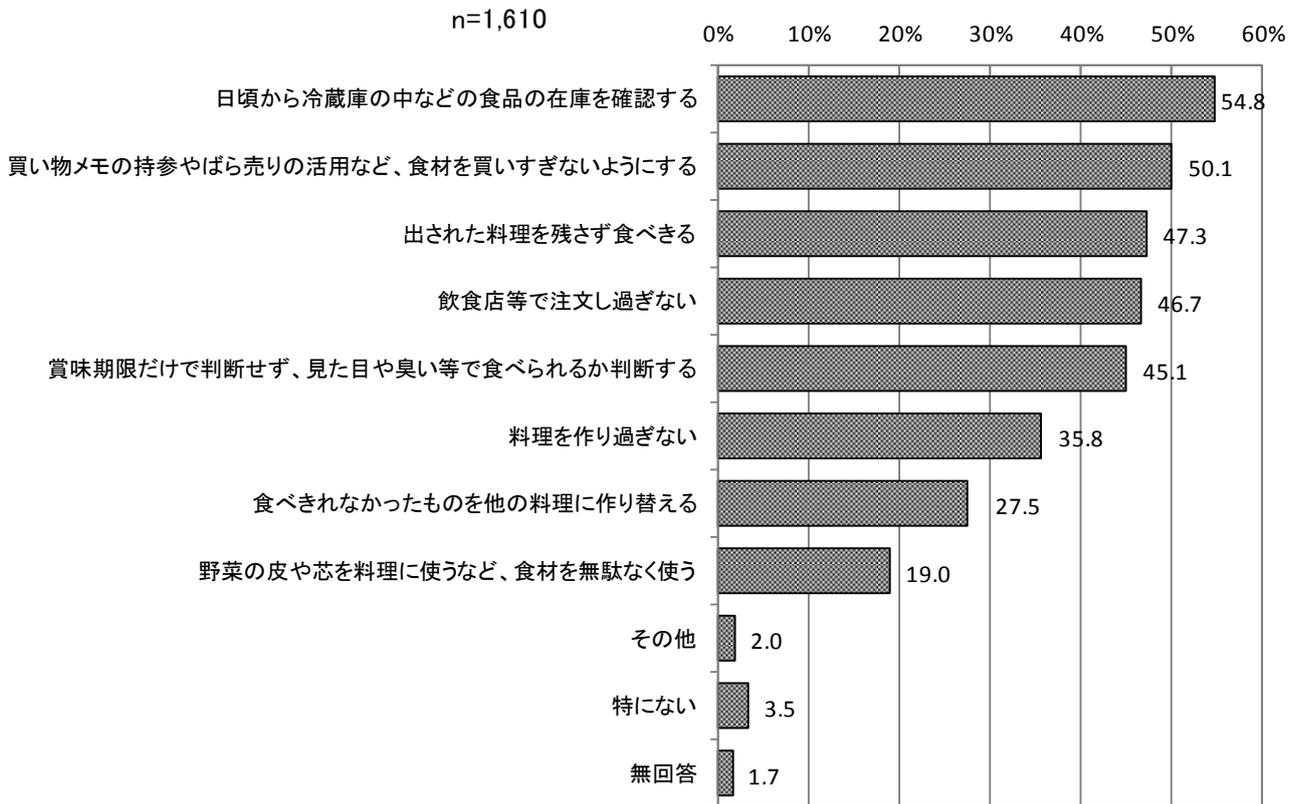
(3) 「食品ロス」を減らすための取り組み

◎ 「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が5割台半ばで最も高くなっている

問 25 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

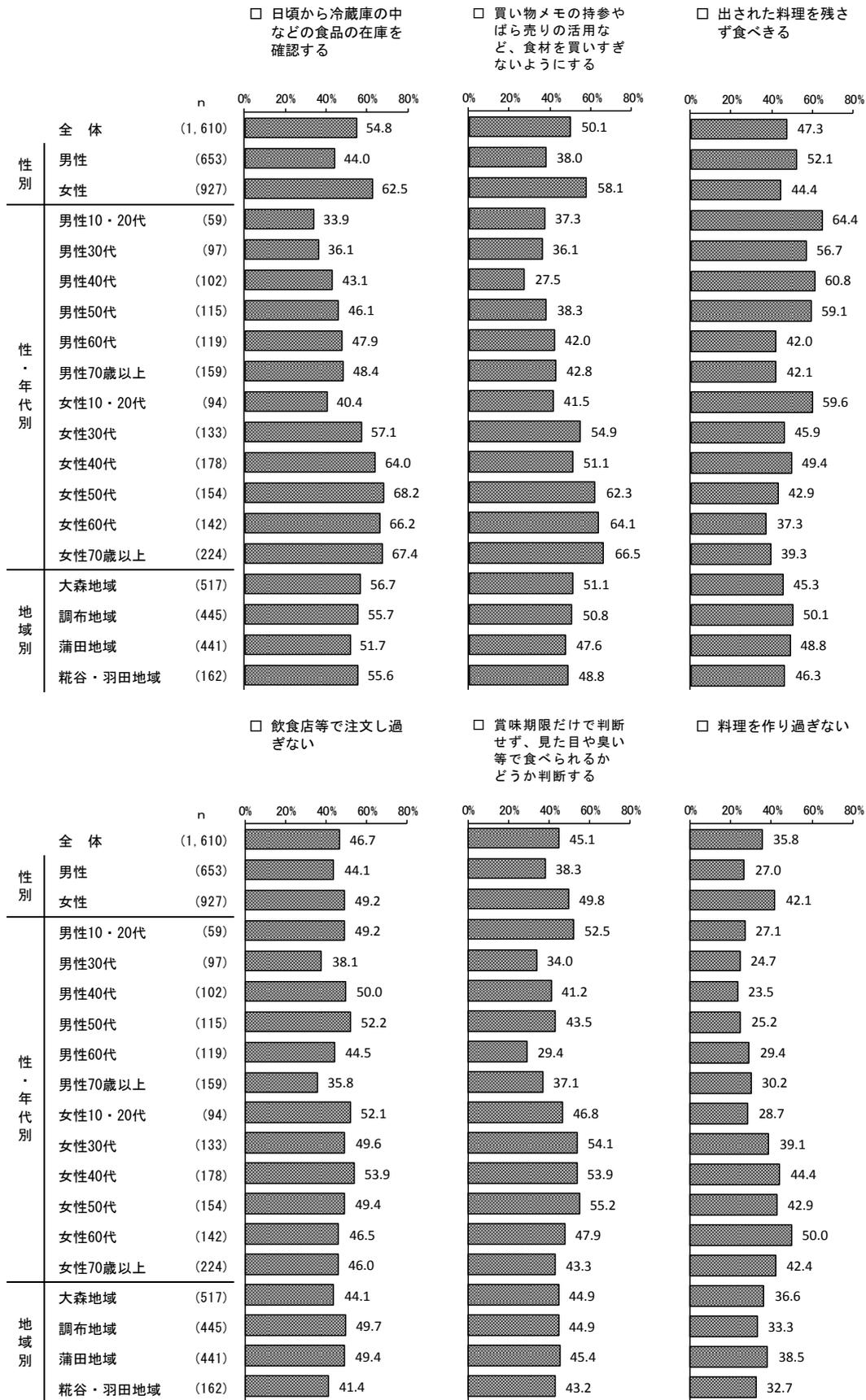
(○はいくつでも)

図表 11-5 「食品ロス」を減らすための取り組み



『食品ロス』を減らすための取り組みを聞いたところ、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が54.8%で最も高く、次いで「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」(50.1%)、「出された料理を残さず食べきる」(47.3%)となっている。(図表 11-5)

図表 11-6 「食品ロス」を減らすための取り組み（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



「食品ロス」を減らすための取り組みについて、上位6項目を性別でみると、「出された料理を残さず食べきる」を除いて、女性が男性を上回っている。

性／年代別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」では、概ね年代が上がるにつれ増加傾向となっており、全ての年代で女性が男性を上回っている。「出された料理を残さず食べきる」では概ね年代が低い方が割合が高くなっている。「料理を作り過ぎない」では全ての年代で女性が男性を上回っている。

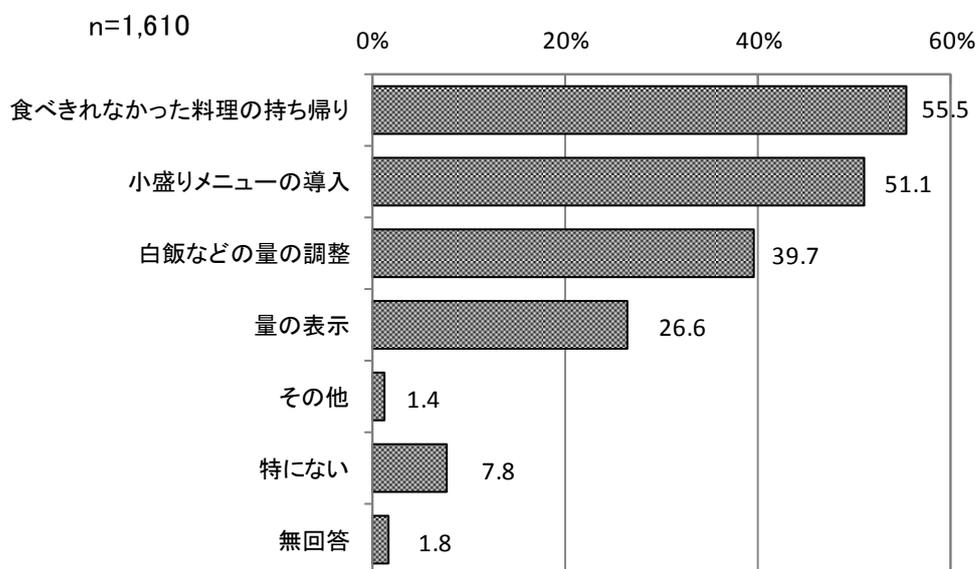
地域別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」では全ての地域で5割台となっている。「料理を作り過ぎない」では蒲田地域が38.5%で最も高くなっている。(図表11-6)

(4) 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと

◎ 「食べきれなかった料理の持ち帰り」が5割台半ばで最も高くなっている

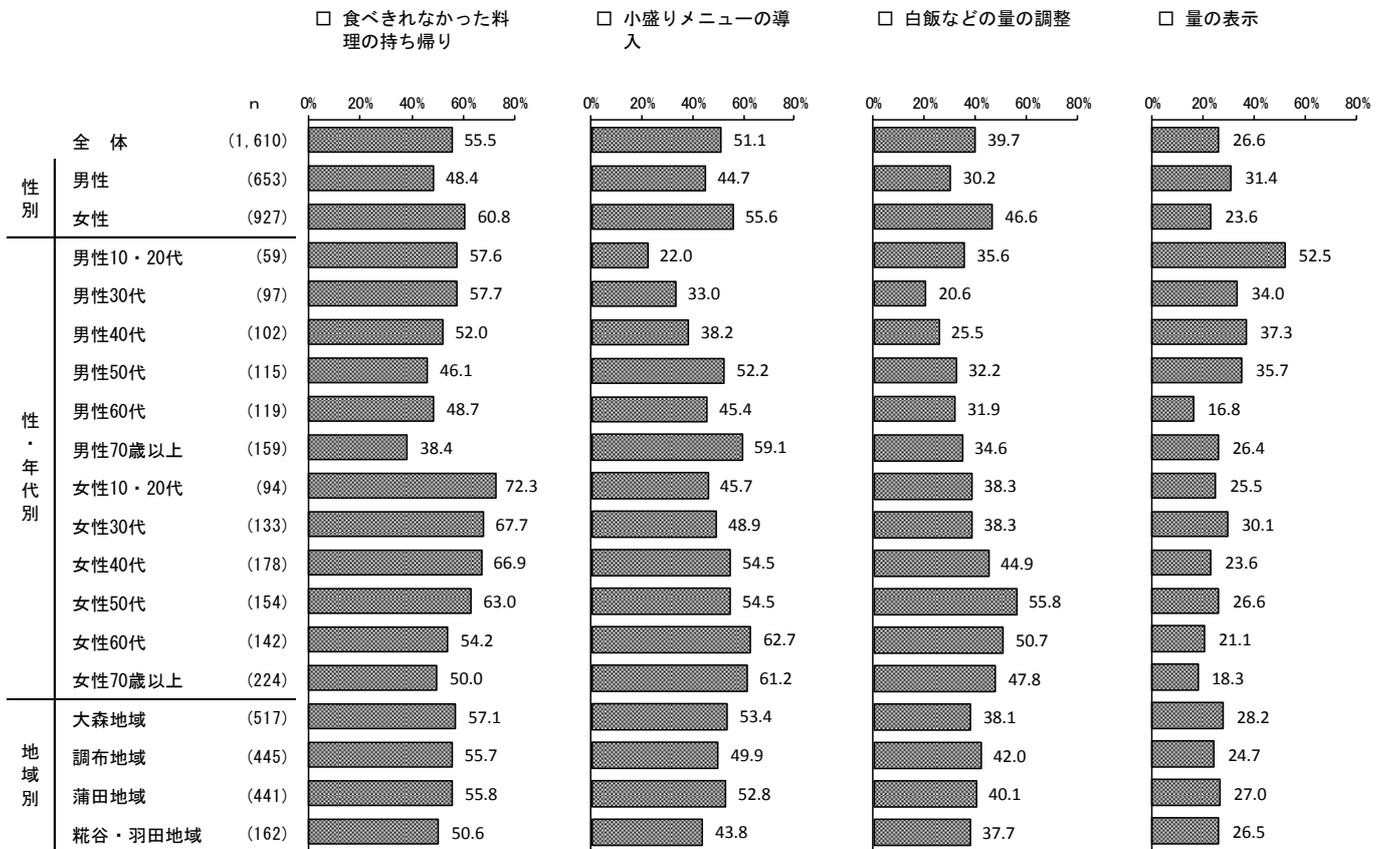
問 26 外食をするとき、食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表 11-7 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと



外食で食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何かを聞いたところ、「食べきれなかった料理の持ち帰り」が55.5%で最も高く、次いで「小盛りメニューの導入」(51.1%)、「白飯などの量の調整」(39.7%)となっている。(図表 11-7)

図表 11-8 食べ残しをしないためにお店にして欲しいこと
(性別・性/年代別・地域別 上位4項目)



食べ残しをしないためにお店にして欲しいことについて、上位4項目を性別で見ると、「量の表示」を除いて女性が男性を上回っている。

性/年代別で見ると、女性で「食べきれなかった料理の持ち帰り」と回答した人の割合は年代が上がるにつれ、減少傾向となっている。「小盛りメニューの導入」では男性60代を除いて、年代が上がるにつれて概ね増加傾向となっている。「白飯などの量の調整」では男性は年代が上がるにつれて概ね増加傾向となっているが、女性は50代をピークに年代が上がると減少している。「量の表示」では男性10・20代が52.5%と最も高くなっている。

地域別で見ると、「食べきれなかった料理の持ち帰り」では全ての地域で5割台となっている。(図表 11-8)

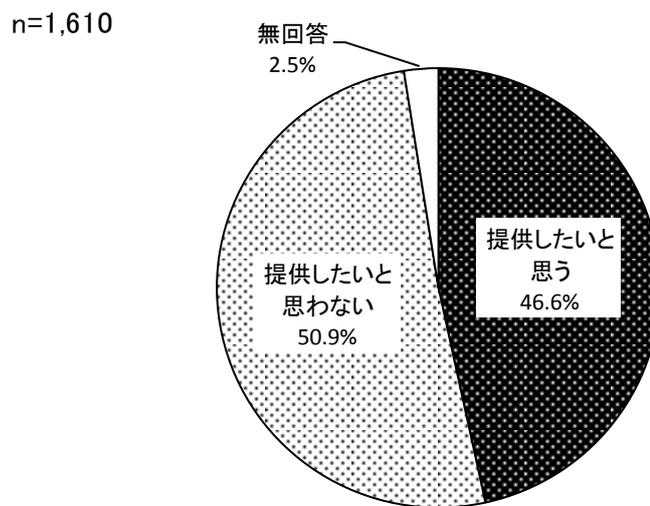
(5) フードドライブへの提供について

◎ 「提供したいと思う」が4割台半ばとなっている

問 27 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思えますか。(〇は1つ)

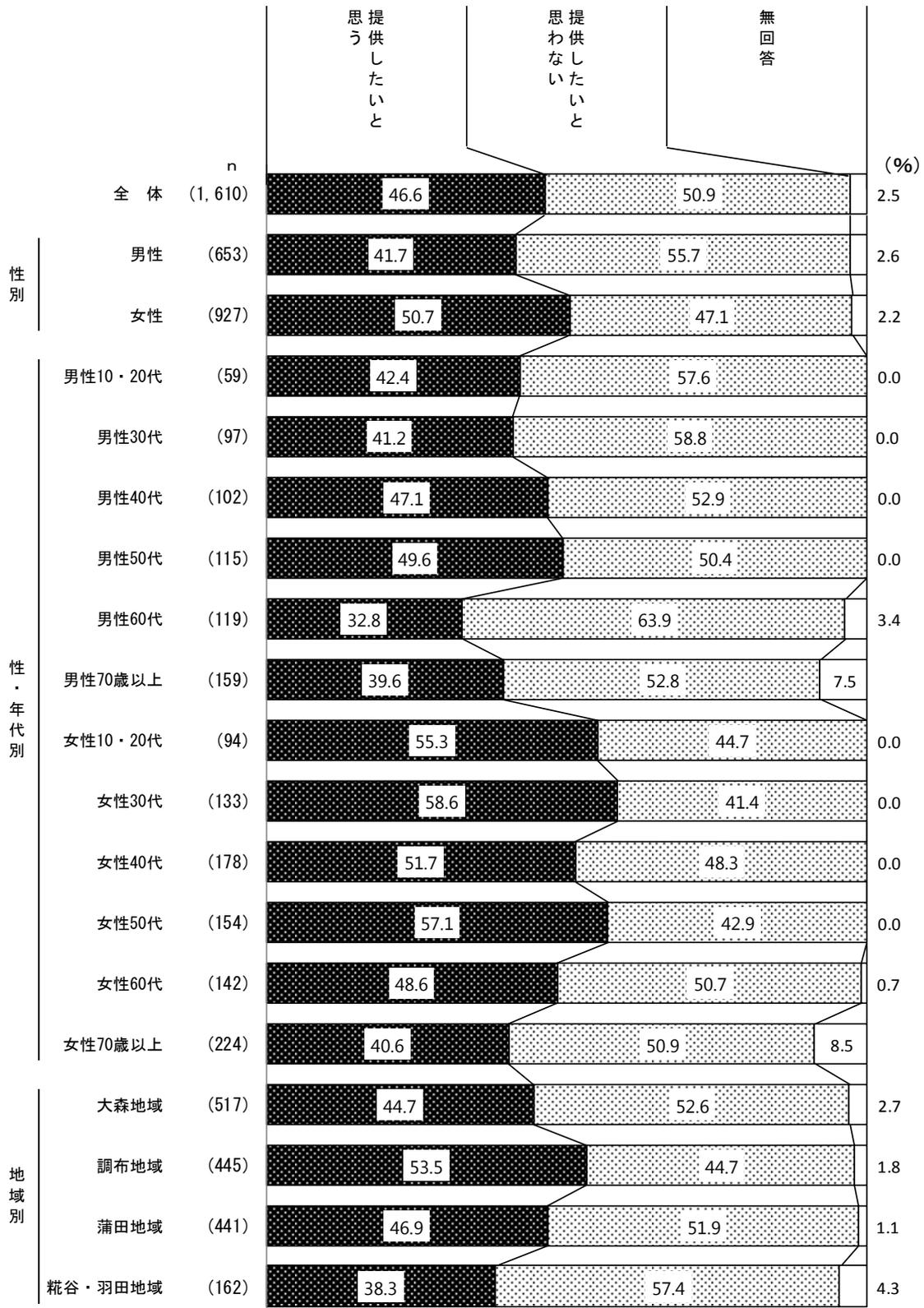
※フードドライブに提供できる食品 … 主に米などの穀類、調味料、缶詰、インスタント食品など

図表 11-9 フードドライブへの提供について



フードドライブに食品を提供したいか聞いたところ、「提供したいと思う」が46.6%、「提供したいと思わない」が50.9%となっている。(図表 11-9)

図表 11—10 フードドライブへの提供について（性別・性/年代別・地域別）



フードドライブへの提供について、性別で見ると、「提供したいと思う」では男性(41.7%)、女性(50.7%)と、女性が男性を9.0ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「提供したいと思う」では男性10・20代~50代で4割台、女性10・20代~50代で5割台となっている。

地域別で見ると、「提供したいと思う」では調布地域が53.5%で最も高くなっている。(図表11-10)

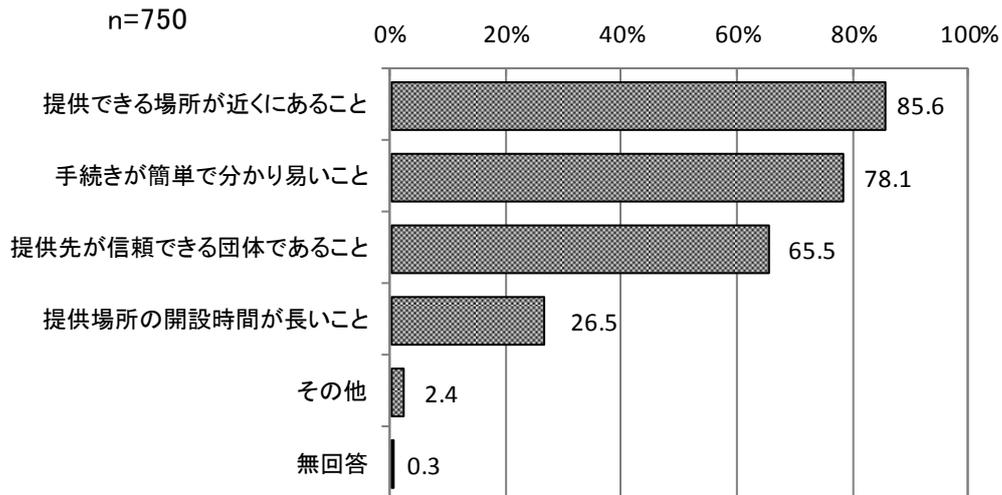
(6) フードドライブに提供する際、重要視すること

◎ 「提供できる場所が近くにあること」が8割台半ばとなっている

【問27で「1. 提供したいと思う」と回答された方】

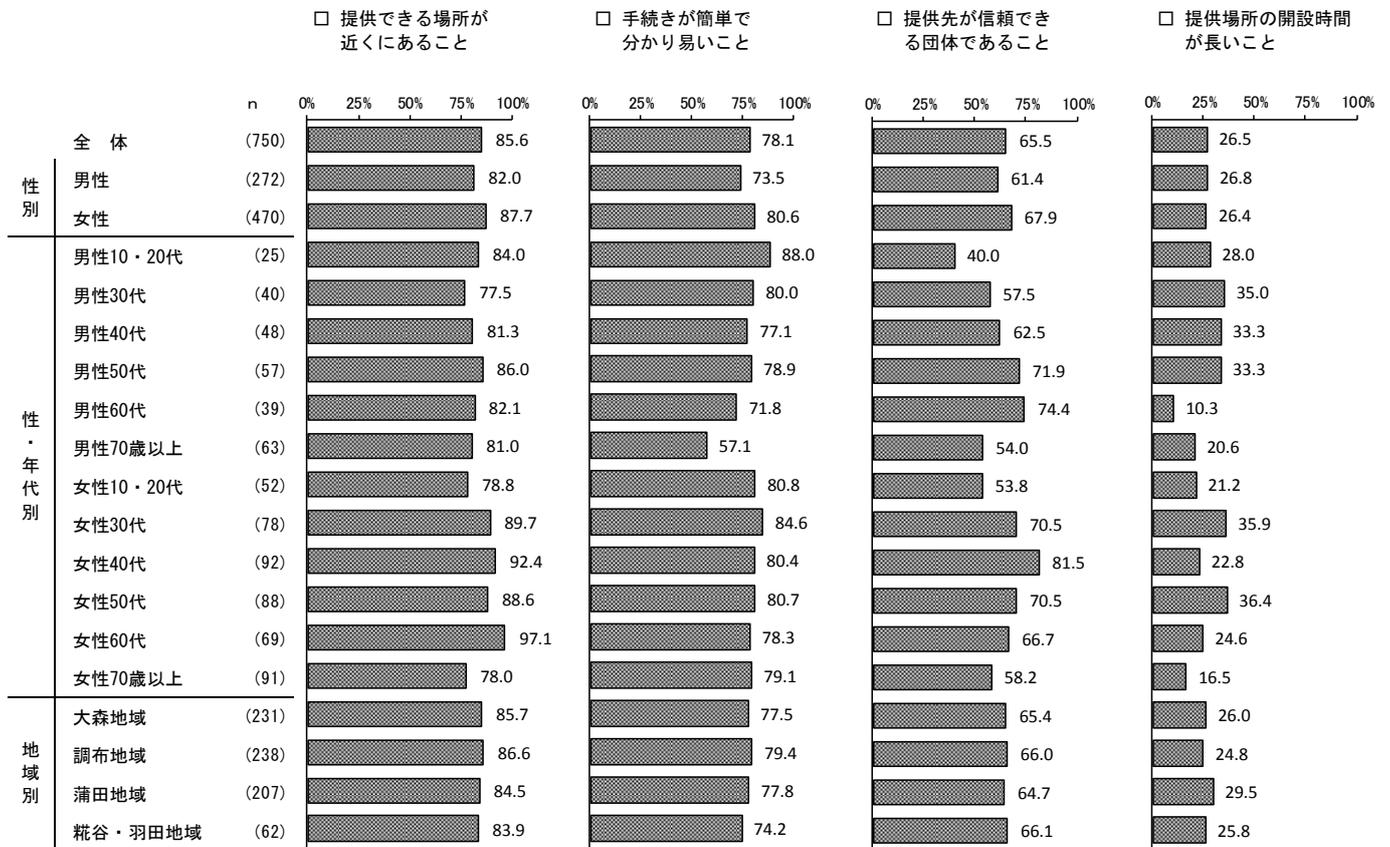
問27-1 フードドライブに提供する際、あなたが重要と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表 11-11 フードドライブに提供する際、重要視すること



フードドライブに提供する際、重要と思うことは何かを聞いたところ、「提供できる場所が近くにあること」が85.6%で最も高く、次いで「手続きが簡単で分かり易いこと」(78.1%)、「提供先が信頼できる団体であること」(65.5%)となっている。(図表 11-11)

図表 11-12 フードドライブに提供する際、重要視すること
(性別・性/年代別・地域別 上位4項目)



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

フードドライブに提供する際、重要視することについて、性別で見ると、「提供場所の開設時間が長いこと」を除いて、女性が男性を上回っている。

性/年代別で見ると、「提供できる場所が近くにあること」では男性30代、女性10・20代と70歳以上を除いて8割を超えて高くなっている。「手続きが簡単で分かり易いこと」では男性は年代が上がるにつれて概ね減少傾向となっているが、女性は全ての年代で概ね8割となっている。「提供先が信頼できる団体であること」は、男性30代～60代が増加しているが、女性は40代をピークに減少している。

地域別で見ると、「提供できる場所が近くにあること」、「手続きが簡単で分かり易いこと」、「提供先が信頼できる団体であること」で大きな差異は見られない。「提供場所の開設時間が長いこと」は蒲田地域が29.5%で最も高くなっている。(図表 11-12)

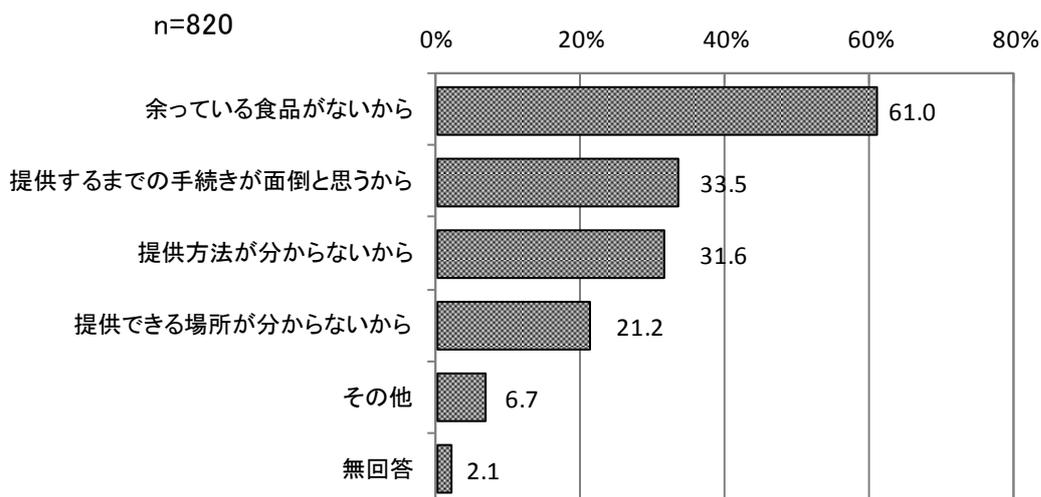
(7) フードドライブに提供したくない理由

◎ 「余っている食品がないから」が6割強で最も高くなっている

【問27で「2. 提供したいと思わない」と回答された方】

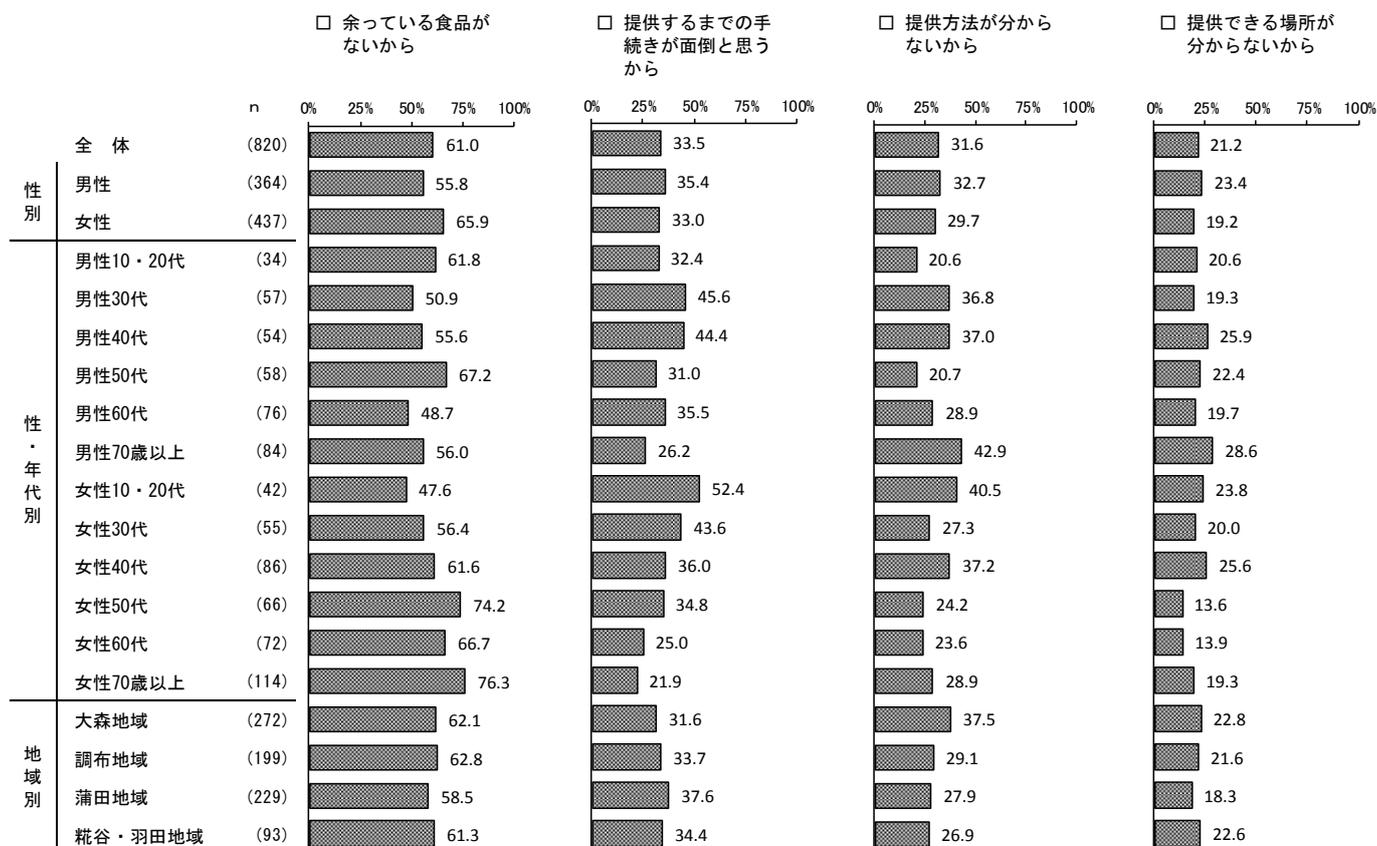
問27-2 フードドライブに提供したいと思わないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

図表 11-13 フードドライブに提供したくない理由



フードドライブに提供したいと思わない理由を聞いたところ、「余っている食品がないから」が61.0%で最も高く、次いで「提供するまでの手続きが面倒と思うから」(33.5%)、「提供方法が分からないから」(31.6%)となっている。(図表 11-13)

図表 11-14 フードドライブに提供したくない理由（性別・性/年代別・地域別 上位4項目）



フードドライブに提供したくない理由について、上位4項目を性別で見ると、「余っている食品がないから」を除いて、男性が女性を上回っている。

性/年代別で見ると、「余っている食品がないから」では男性10・20代と50代、女性40歳以上で6割を超えて他の年代より高くなっている。「提供するまでの手続きが面倒と思うから」では男性30代～40代が4割台となっており、女性は10・20代が5割強で最も高く、女性では年代が上がるにつれ減少傾向となっている。「提供方法が分からないから」では男性30代～40代と70歳以上、女性10・20代と40代で3割台半ばを超えている。

地域別で見ると、「余っている食品がないから」は全ての地域で概ね6割、「提供するまでの手続きが面倒と思うから」は蒲田地域が37.6%、「提供方法が分からないから」は大森地域が37.5%で最も高くなっている。「提供できる場所が分からないから」は蒲田地域を除いて、2割強となっている。(図表11-14)

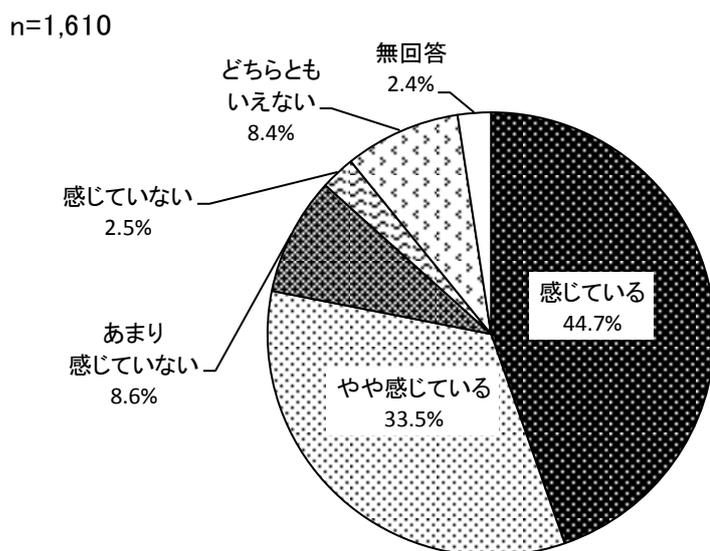
12 大田区への愛着等について

(1) 大田区への愛着について

◎ 《感じている（合計）》が8割弱となっている

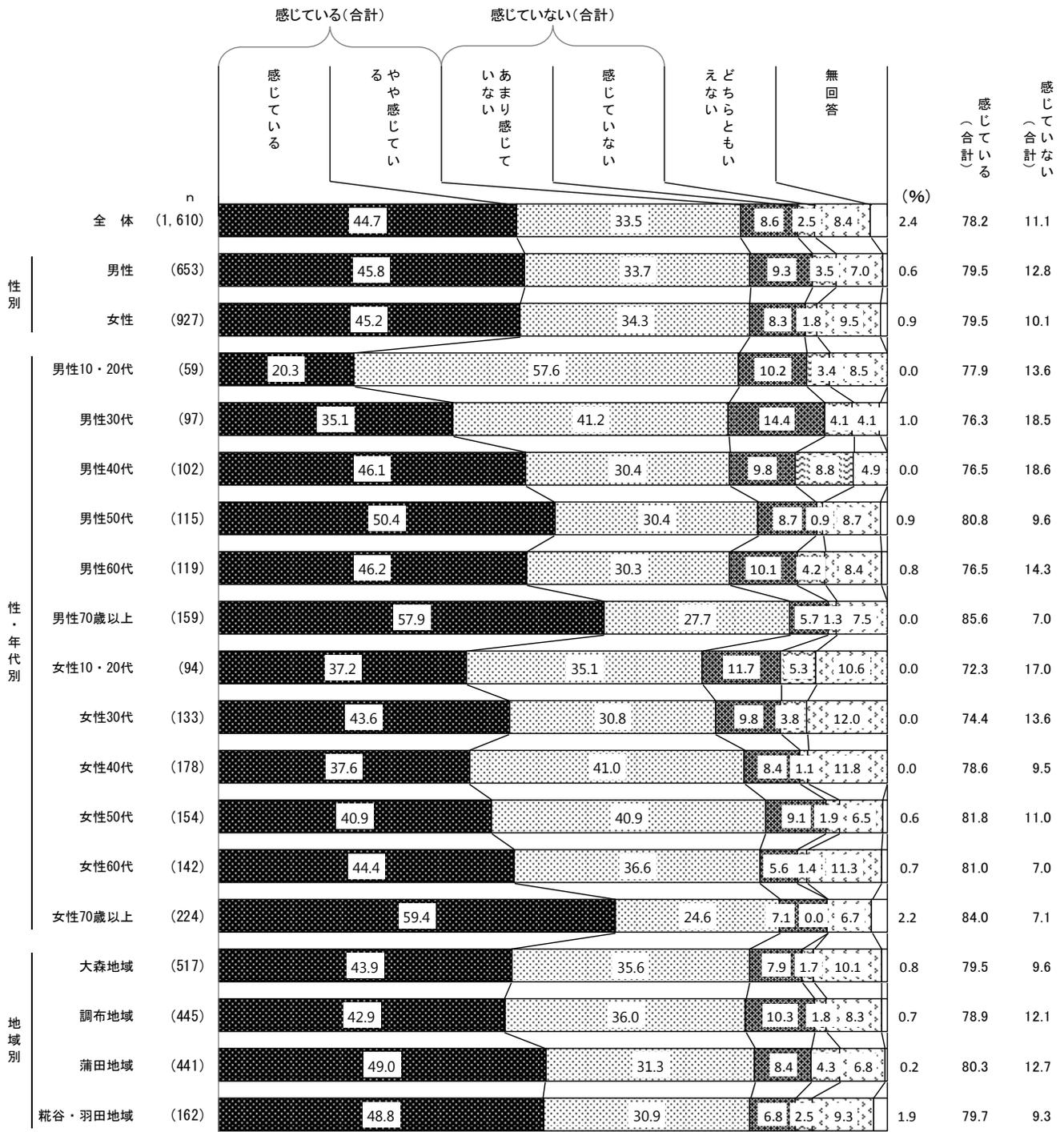
問 28 あなたは、大田区に愛着を感じていますか。(○は1つ)

図表 12-1 大田区への愛着について



大田区に愛着を感じているかと聞いたところ、《感じている（合計）》（「感じている」と「やや感じている」の合計）が78.2%、《感じていない（合計）》（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）が11.1%、「どちらともいえない」が8.4%となっている。（図表 12-1）

図表 12-2 大田区への愛着について（性別・性/年代別・地域別）



大田区への愛着について、性別で見ると、大きな差異は見られない。

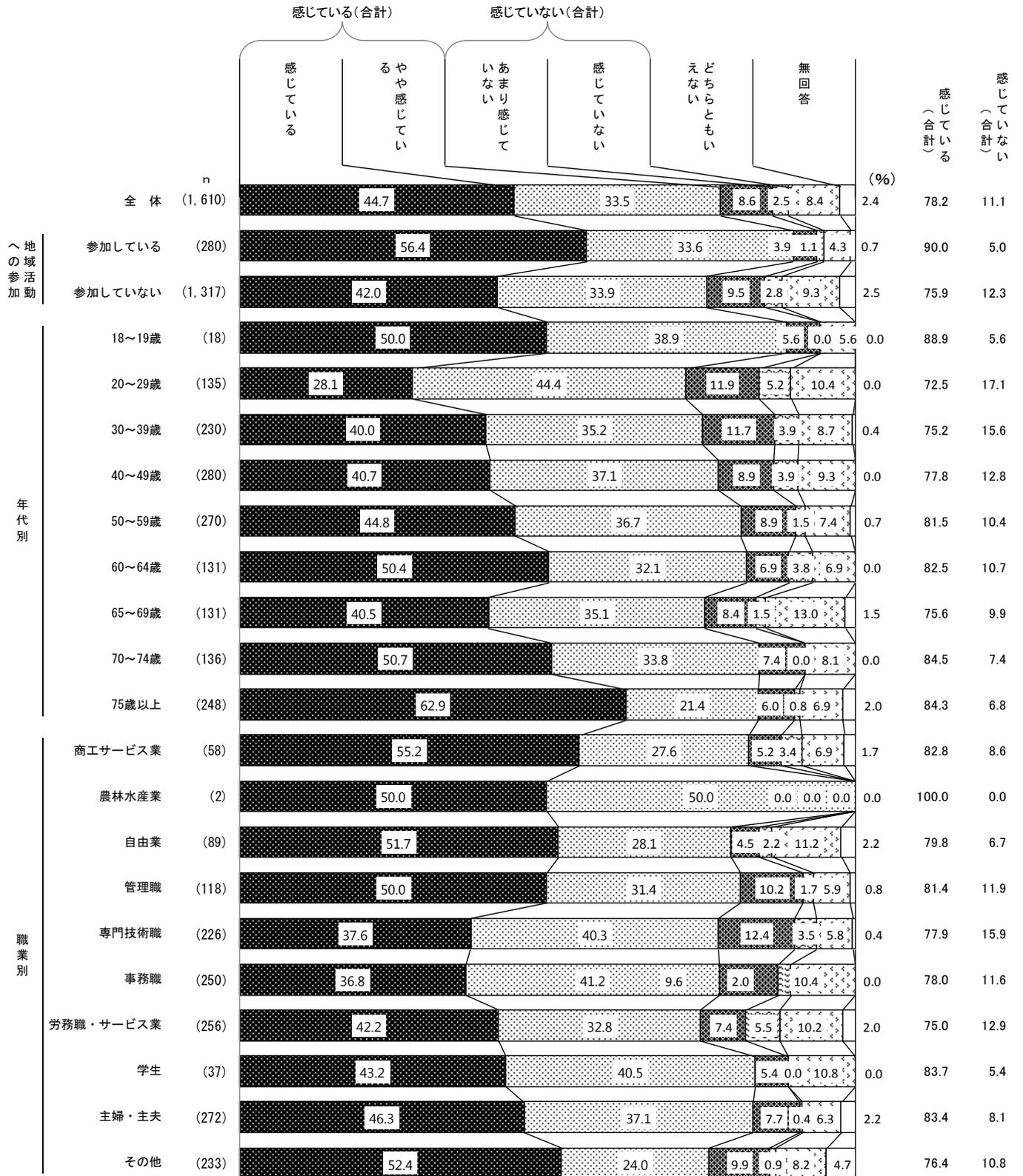
性/年代別で見ると、「感じている(合計)」では男性50代と70歳以上、女性50歳以上で8割を超えており、他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「感じている(合計)」では全ての地域で概ね8割となっている。(図表 12-2)

問 28×問 7、F 2、F 7

「大田区への愛着について」×「地域活動への参加」、「年代別」、「職業別」

図表 12-3



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

大田区への愛着について、地域活動への参加別でみると、《感じている（合計）》は参加している（90.0%）、参加していない（75.9%）で、地域活動へ参加している人の方が14.1ポイント上回っている。

年代別でみると、《感じている（合計）》は50～59歳、60～64歳、70～74歳、75歳以上で8割を超え、他の年代より高くなっている。

職業別でみると、《感じている（合計）》は商工サービス業、学生、主婦・主夫で8割台半ばと他の職業より高くなっている。（図表12-3）

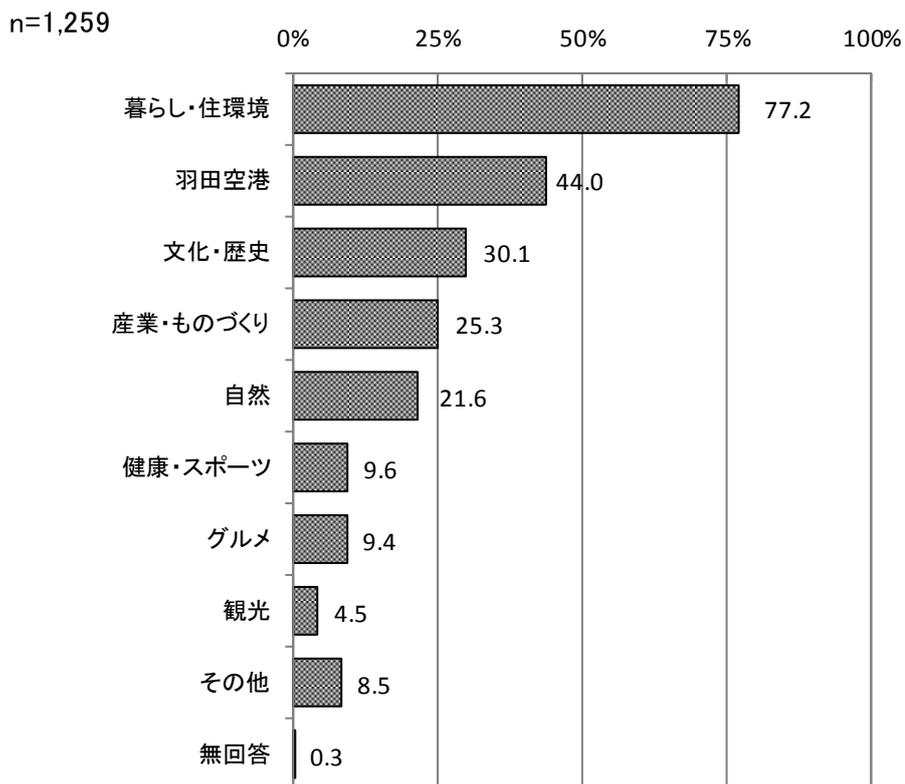
(2) 大田区に愛着を感じる点

◎ 「暮らし・住環境」が7割台半ばとなっている

【問28で「1. 感じている」または「2. やや感じている」と回答された方】

問28-1 あなたは、大田区のどういう点に愛着を感じますか。(〇はいくつでも)

図表 12-4 大田区に愛着を感じる点



大田区に愛着を感じる点を聞いたところ、「暮らし・住環境」が77.2%で最も高く、次いで「羽田空港」(44.0%)、「文化・歴史」(30.1%)となっている。(図表 12-4)

大田区に愛着を感じる点について、性別でみると、「羽田空港」を除いて、大きな差異は見られない。「羽田空港」では男性（40.5%）、女性（46.4%）と、女性が男性を5.9ポイント上回っている。

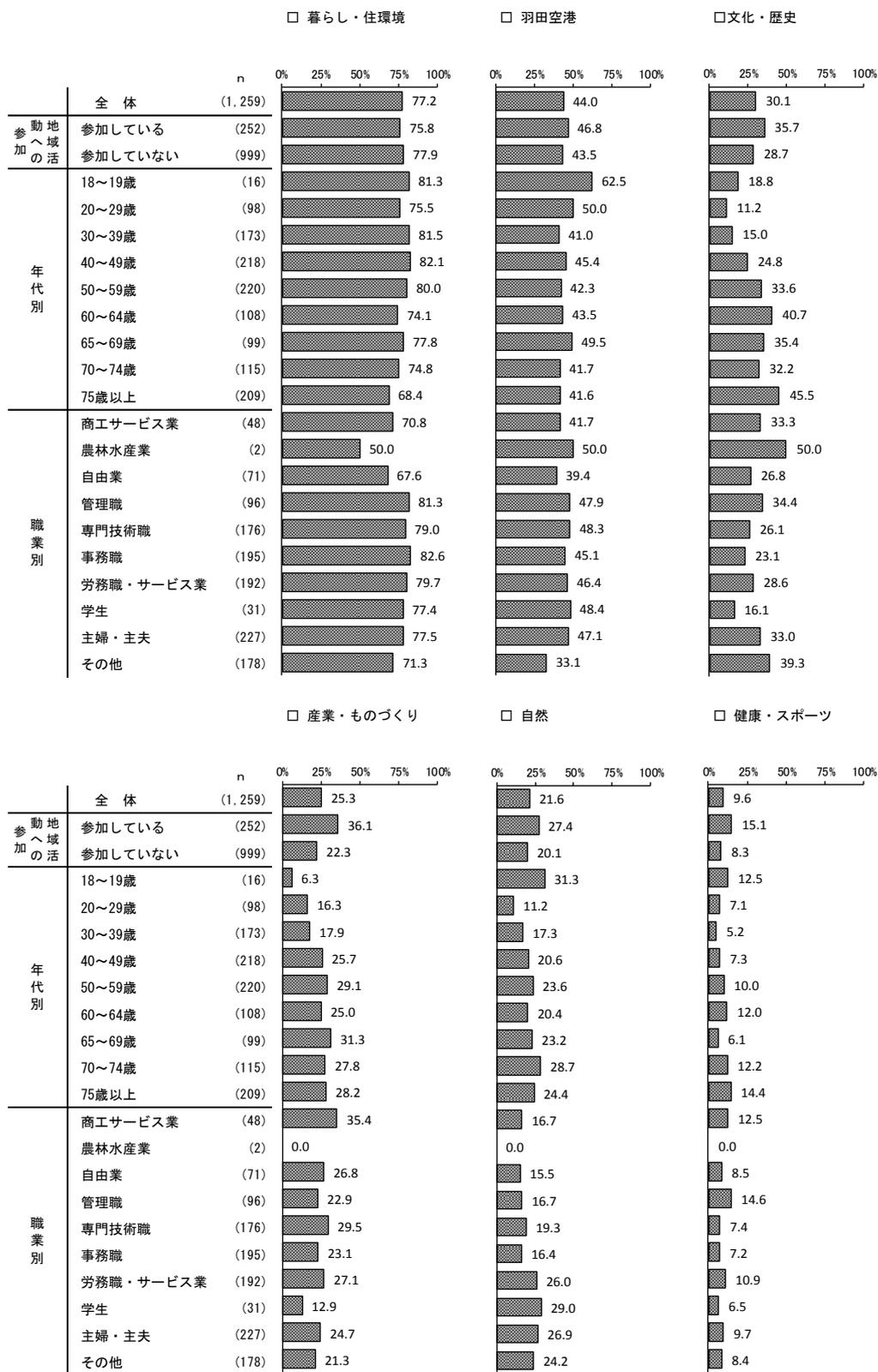
性／年代別でみると、「暮らし・住環境」は男性30代と50代、女性40代で8割を超えており、「羽田空港」は男性10・20代、女性10・20代と60代で5割を超えて他の年代より高くなっている。「文化・歴史」は男女とも年代が上がるにつれて増加している。

地域別でみると、「暮らし・住環境」は調布地域が80.1%、「羽田空港」は糺谷・羽田地域が62.0%、「文化・歴史」は大森地域が38.7%、「産業・ものづくり」は蒲田地域が30.8%、「自然」は調布地域が29.6%、と、それぞれ最も高くなっている。（図表12-5）

問 28-1×問 7、F 2、F 7

「大田区に愛着を感じる点」×「地域活動への参加」、「年代別」、「職業別」 (上位 6 項目)

図表 12-6



※回答者が 30 人未満の層は参考扱いとする

大田区に愛着を感じる点について、上位6項目を地域活動への参加別にみると、「暮らし・住環境」を除いて、「地域活動に参加している」が「参加していない」を上回っている。

年代別でみると、「暮らし・住環境」は30～39歳、40～49歳、50～59歳が8割台と他の年代より高くなっている。「羽田空港」は20～29歳が50.0%で最も高く、他の年代は4割台となっている。「文化・歴史」は60～64歳と75歳以上で4割を超えており、「産業・ものづくり」は65～69歳が31.3%で最も高くなっている。「自然」は40歳以上が2割台となっている。

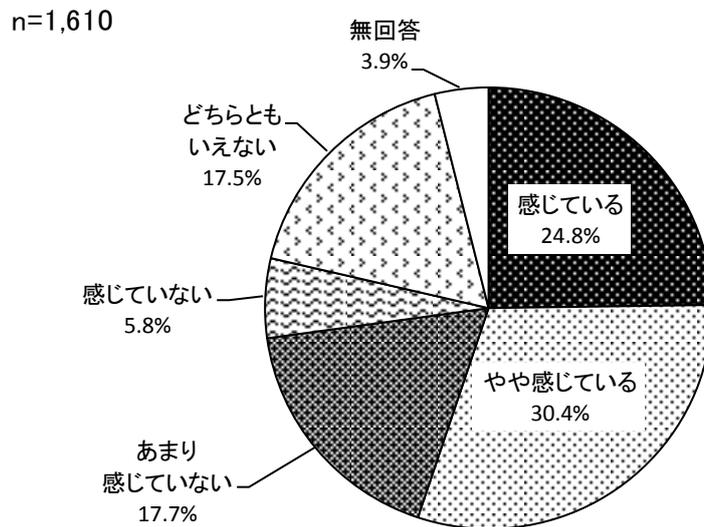
職業別でみると、「暮らし・住環境」は管理職、専門技術職、事務職、労務職・サービス業が概ね8割となっており、「羽田空港」は管理職と専門技術職、学生が5割弱となっている。「産業・ものづくり」は商工サービス業が35.4%で最も高くなっている。(図表12-6)

(3) 大田区に誇りを感じるか

◎ 《感じている（合計）》が5割台半ばとなっている

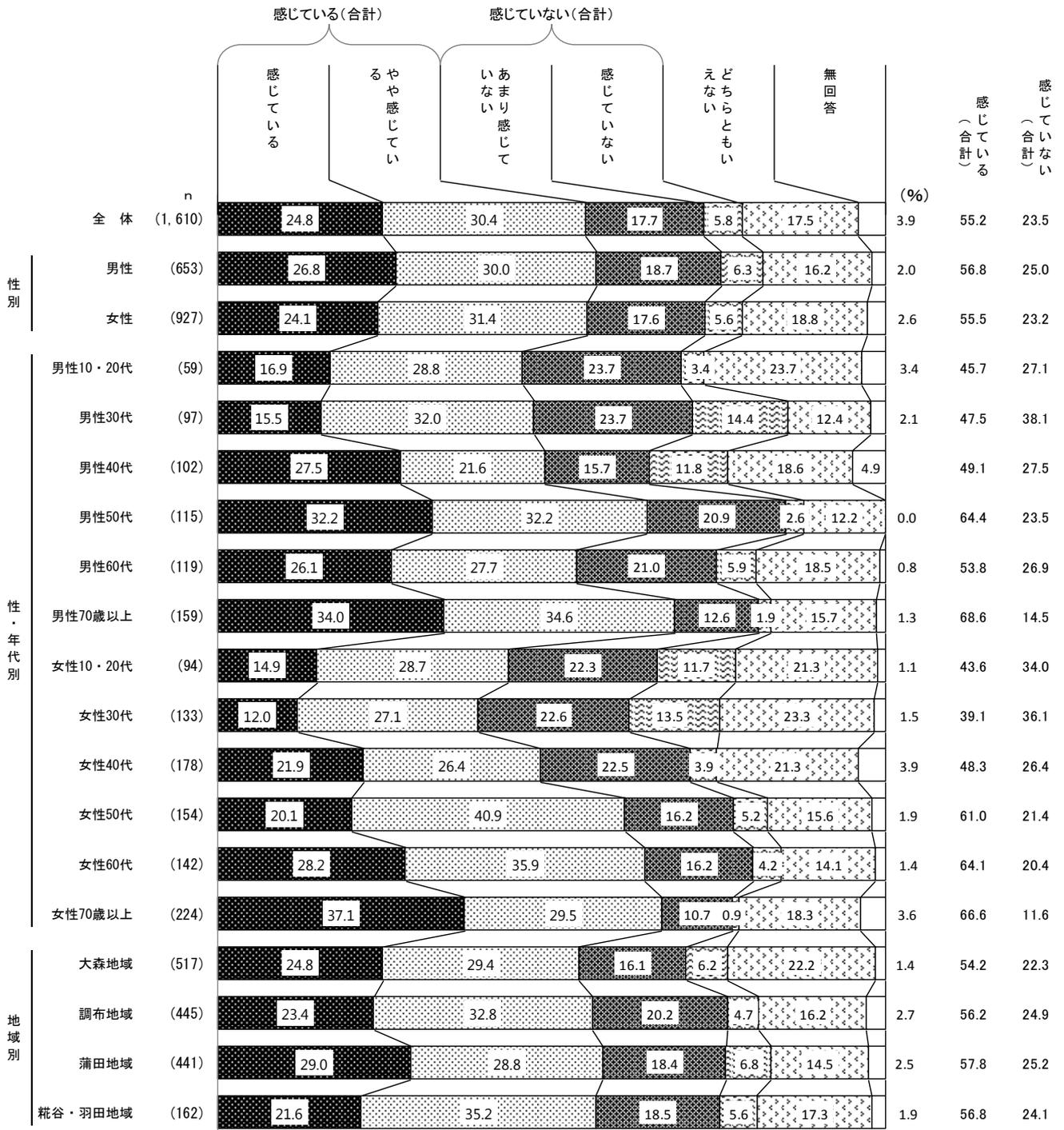
問 29 あなたは、大田区に誇りを感じていますか。(○は1つ)

図表 12-7 大田区に誇りを感じるか



大田区に誇りを感じているかと聞いたところ、《感じている（合計）》（「感じている」と「やや感じている」の合計）が55.2%、《感じていない（合計）》（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）が23.5%、「どちらともいえない」が17.5%となっている。（図表 12-7）

図表 12-8 大田区に誇りを感じるか（性別・性/年代別・地域別）



大田区に誇りを感じるかについて、性別で見ると、大きな差異は見られない。

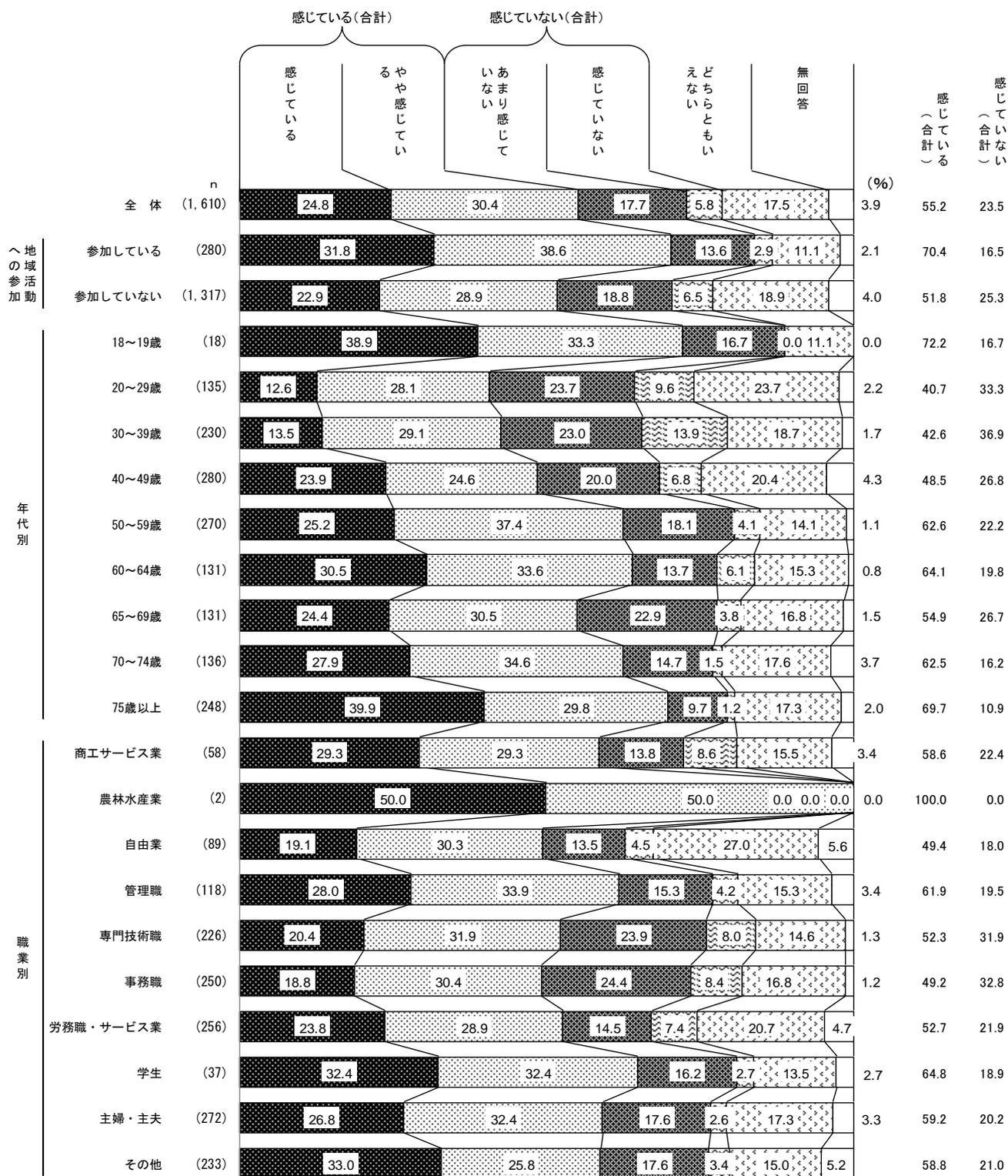
性/年代別で見ると、「感じている(合計)」は男性50代と70歳以上、女性50歳以上で6割を超えて他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、「感じている(合計)」は全ての地域で概ね5割台半ばとなっている。(図表 12-8)

問 29×問 7、F 2、F 7

「大田区に誇りを感じるか」×「地域活動への参加」、「年代別」、「職業別」

図表 12-9



※回答者が30未満の層は参考扱いとする

大田区に誇りを感じるかについて、地域活動への参加別にみると、《感じている（合計）》は参加している（70.4%）、参加していない（51.8%）で参加しているが18.6ポイント上回っている。

年代別でみると、《感じている（合計）》は65～69歳で若干下がるものの、概ね年代が上がるにつれて増加傾向となっている。

職業別でみると、管理職と学生が6割を超え、他の職業より高くなっている。（図表12—9）

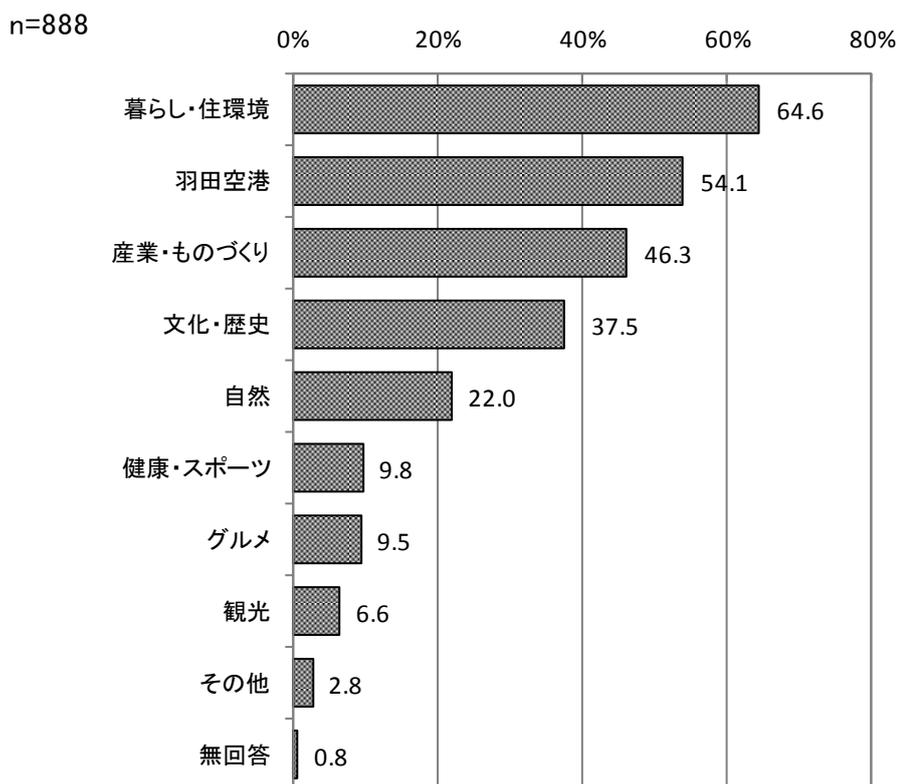
(4) 大田区のどこに誇りを感じるか

◎ 「暮らし・住環境」が6割台半ばとなっている

【問 29 で「1. 感じている」または「2. やや感じている」と回答された方】

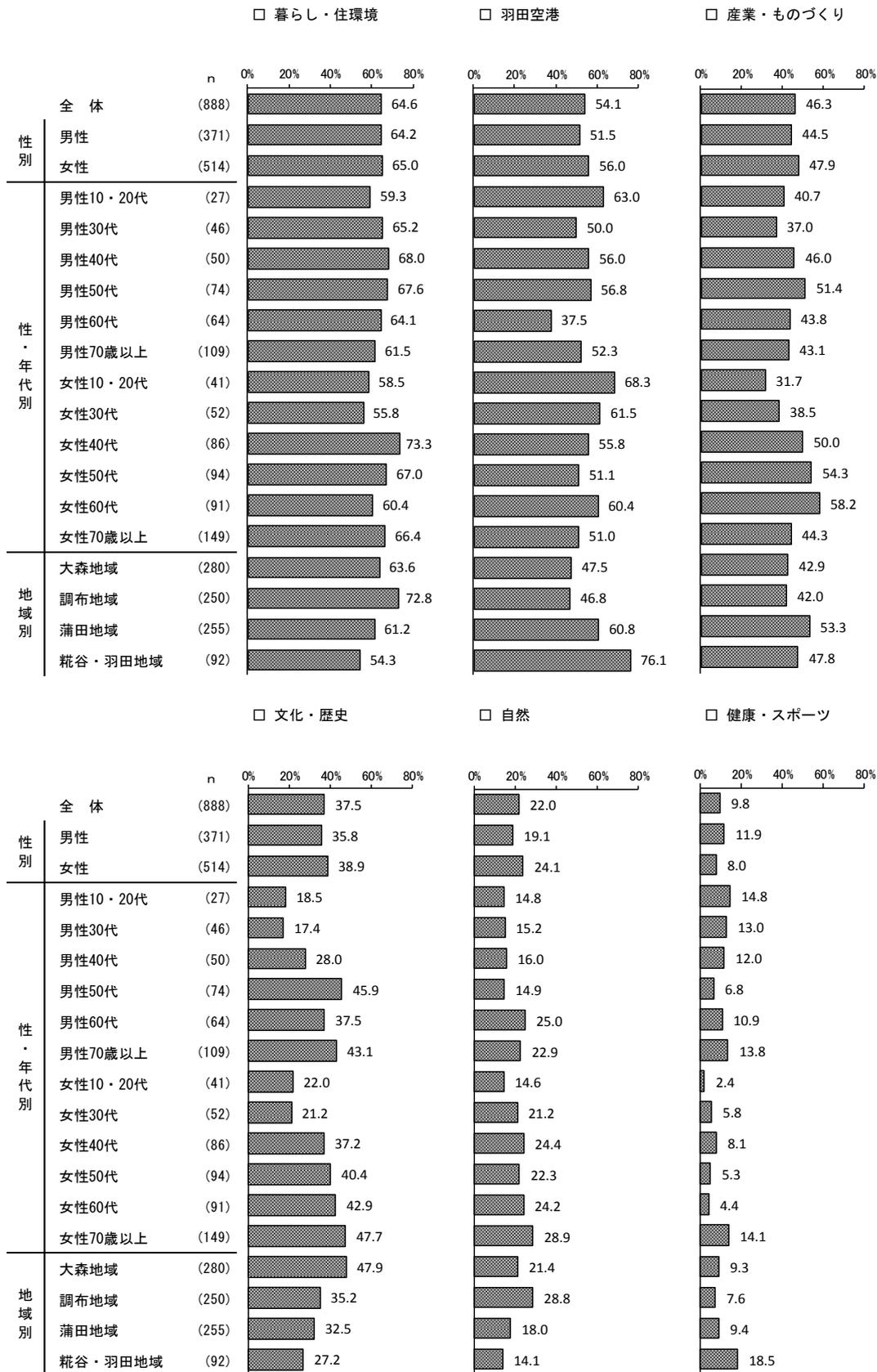
問 29-1 あなたは、大田区のどういう点に誇りを感じますか。(〇はいくつでも)

図表 12-10 大田区のどこに誇りを感じるか



大田区のどういう点に誇りを感じるかを聞いたところ、「暮らし・住環境」が64.6%で最も高く、次いで「羽田空港」(54.1%)、「産業・ものづくり」(46.3%)となっている。(図表 12-10)

図表 12-11 大田区のどこに誇りを感じるか（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

大田区のどこに誇りを感じるかについて、上位6項目を地域活動への参加別にみると、全ての項目で「地域活動に参加している」が「参加していない」を上回っている。

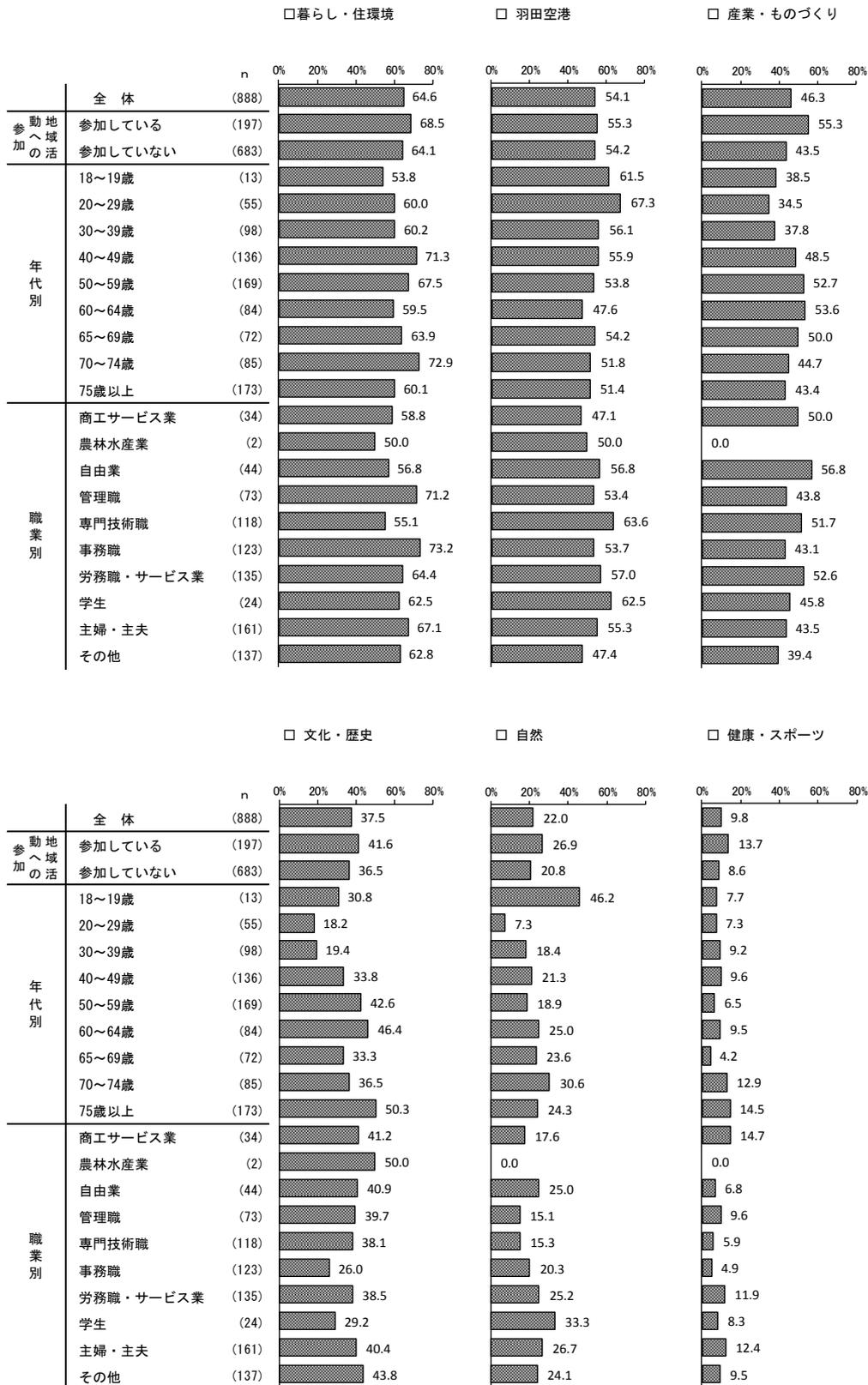
性／年代別でみると、「暮らし・住環境」では男性は全ての年代で6割台となっており、女性は40代が73.3%で最も高くなっている。「羽田空港」では女性10・20代が7割弱で最も高く、「産業・ものづくり」では男性50代、女性40代～60代で5割を超えて他の年代より高くなっている。「文化・歴史」では男性50代と70歳以上、女性60歳以上で4割台半ばを超えて、「自然」では男性60歳以上、女性40歳以上で概ね2割台半ばを超えて、それぞれ他の年代より高くなっている。

地域別でみると、「暮らし・住環境」、「自然」では調布地域が、「羽田空港」、「健康・スポーツ」では糀谷・羽田地域が、「産業・ものづくり」では蒲田地域が、「文化・歴史」では大森地域が、それぞれ最も高くなっている。(図表12-11)

問 29-1×問 7、F 2、F 7

「大田区のどこに誇りを感じるか」×「地域活動への参加」、「年代別」、「職業別」 (上位 6 項目)

図表 12-12



※回答者が 30 人未満の層は参考扱いとする

大田区のどこに誇りを感じるかについて、上位6項目を年代別で見ると、「暮らし・住環境」は40～49歳と70～74歳が7割を超え、他の年代より高くなっている。「羽田空港」は20～29歳が67.3%で最も高くなっている。「産業・ものづくり」は50～59歳、60～64歳、65～69歳が5割台と、他の年代より高くなっている。「文化・歴史」は60～64歳が46.4%で最も高くなっている。

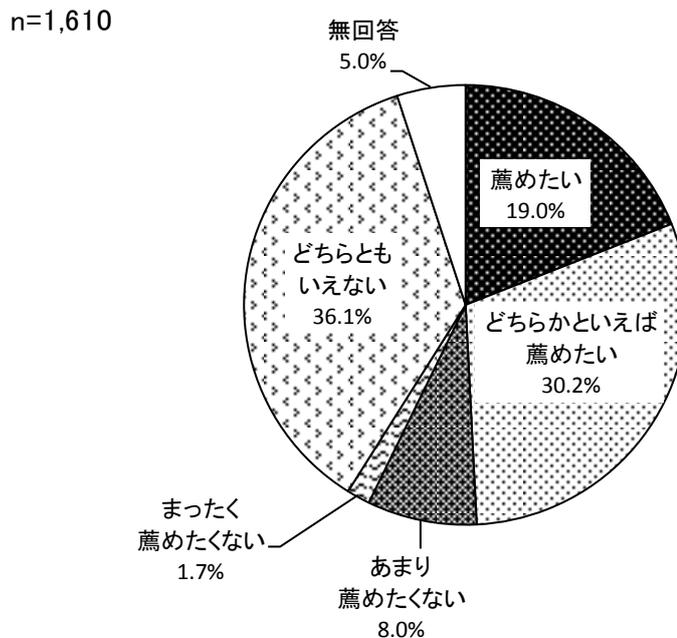
職業別で見ると、「暮らし・住環境」では管理職と事務職で7割を超えており、「羽田空港」では専門技術職と学生で6割を超えて他の職業より高くなっている。「産業・ものづくり」では自由業が56.8%で最も高くなっている。(図表12-12)

(5) 大田区のお薦め度

◎ 《薦めたい(合計)》が約5割となっている

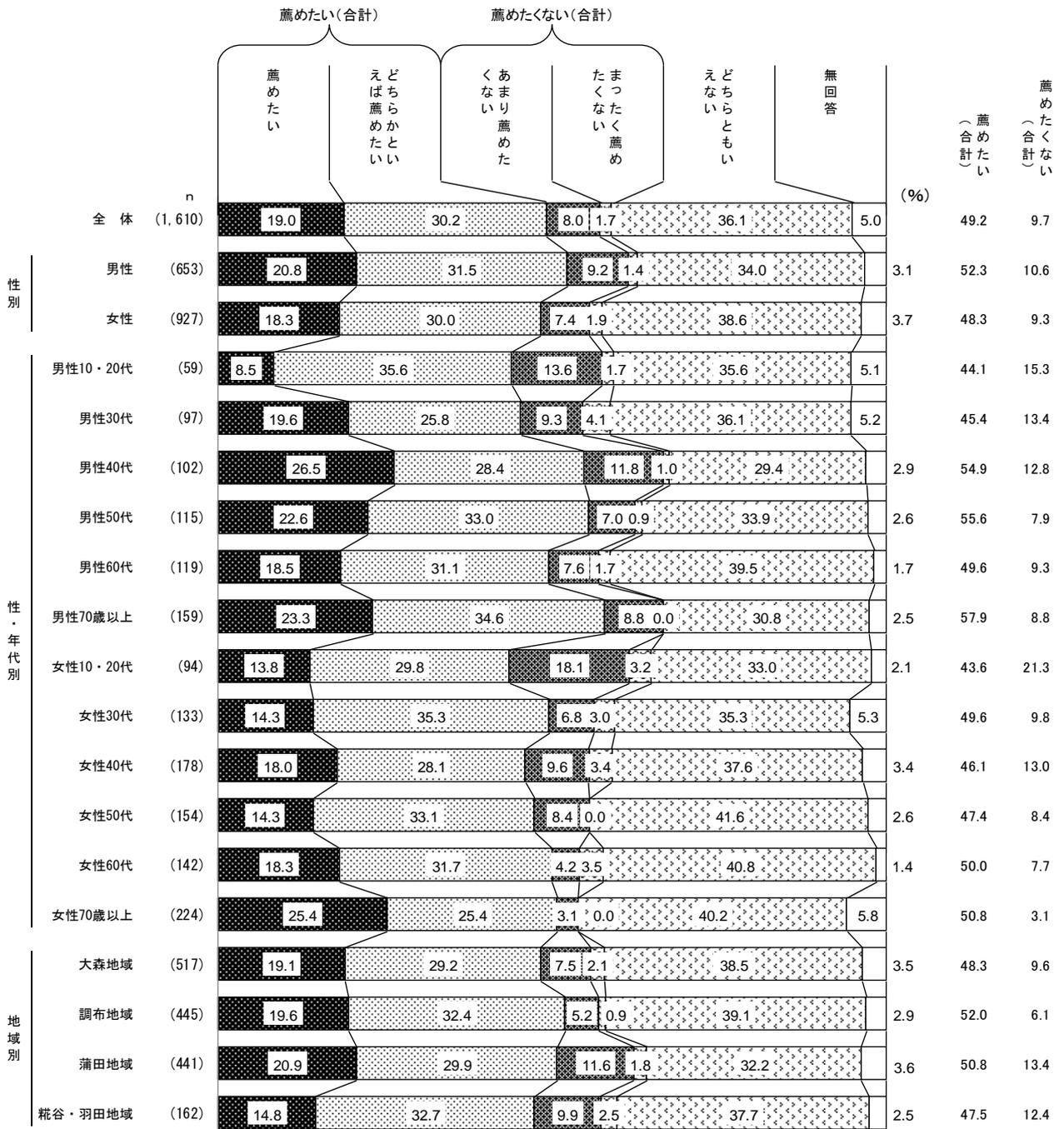
問30 あなたは、大田区を訪れることを友人・知人に薦めたいですか。(○は1つ)

図表 12-13 大田区のお薦め度



大田区を友人・知人に薦めたいかと聞いたところ、《薦めたい(合計)》(「薦めたい」と「どちらかといえば薦めたい」の合計)が49.2%、《薦めたくない(合計)》(「あまり薦めたくない」と「まったく薦めたくない」の合計)が9.7%、「どちらともいえない」が36.1%となっている。(図表 12-13)

図表 12-14 大田区のお薦め度（性別・性/年代別・地域別）



大田区のお薦め度について、性別で見ると、《薦めたい(合計)》は男性(52.3%)、女性(48.3%)と、男性が女性を4.0ポイント上回っている。

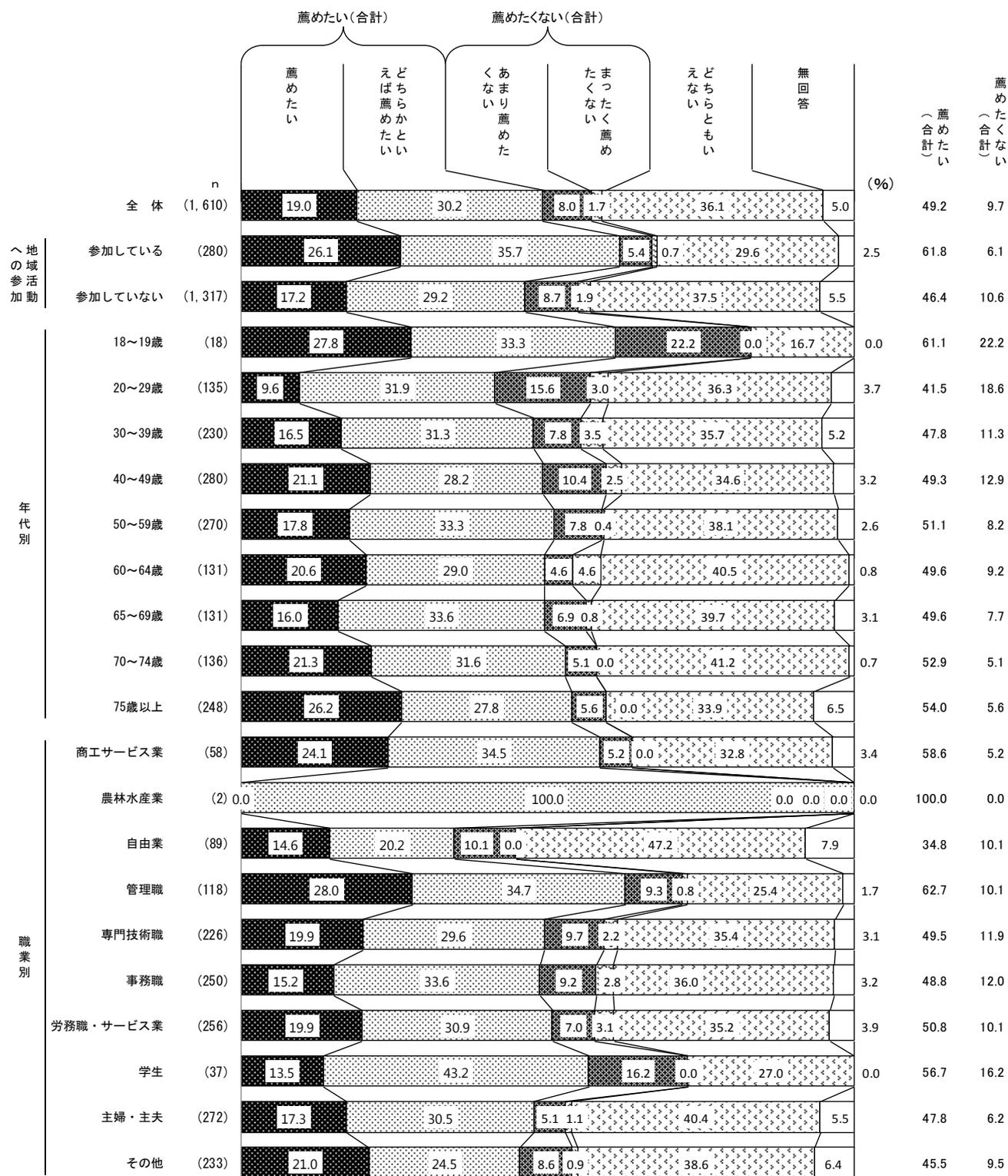
性/年代別で見ると、《薦めたい(合計)》は男性40代、50代、70歳以上、女性60歳以上で5割以上と、他の年代より高くなっている。

地域別で見ると、《薦めたい(合計)》は調布地域と蒲田地域で5割を超えている。(図表12-14)

問30×問7、F2、F7

「大田区のお薦め度」×「地域活動への参加」、「年代別」、「職業別」

図表12-15



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

大田区のお薦め度について、地域活動への参加別で見ると、《薦めたい(合計)》は参加している(61.8%)、参加していない(46.4%)となっており、参加しているが15.4ポイント上回っている。

年代別で見ると、《薦めたい(合計)》は概ね年代が上がると増加傾向となり、70歳以上が5割台半ばと、他の年代より高くなっている。

職業別で見ると、《薦めたい(合計)》は管理職が6割台半ばで最も高くなっており、その他については、自由業を除いて概ね5割となっている。(図表12—15)

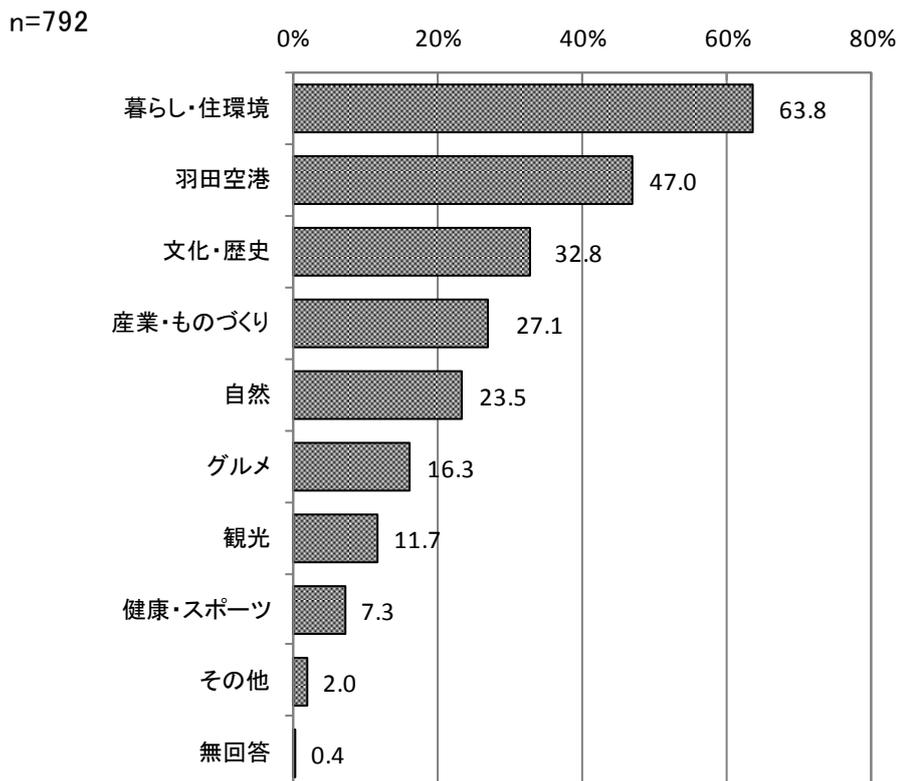
(6) 大田区のどこを薦めたいか

◎ 「暮らし・住環境」が6割台半ばで最も高くなっている

【問30で「1. 薦めたい」または「2. どちらかといえば薦めたい」と回答された方】

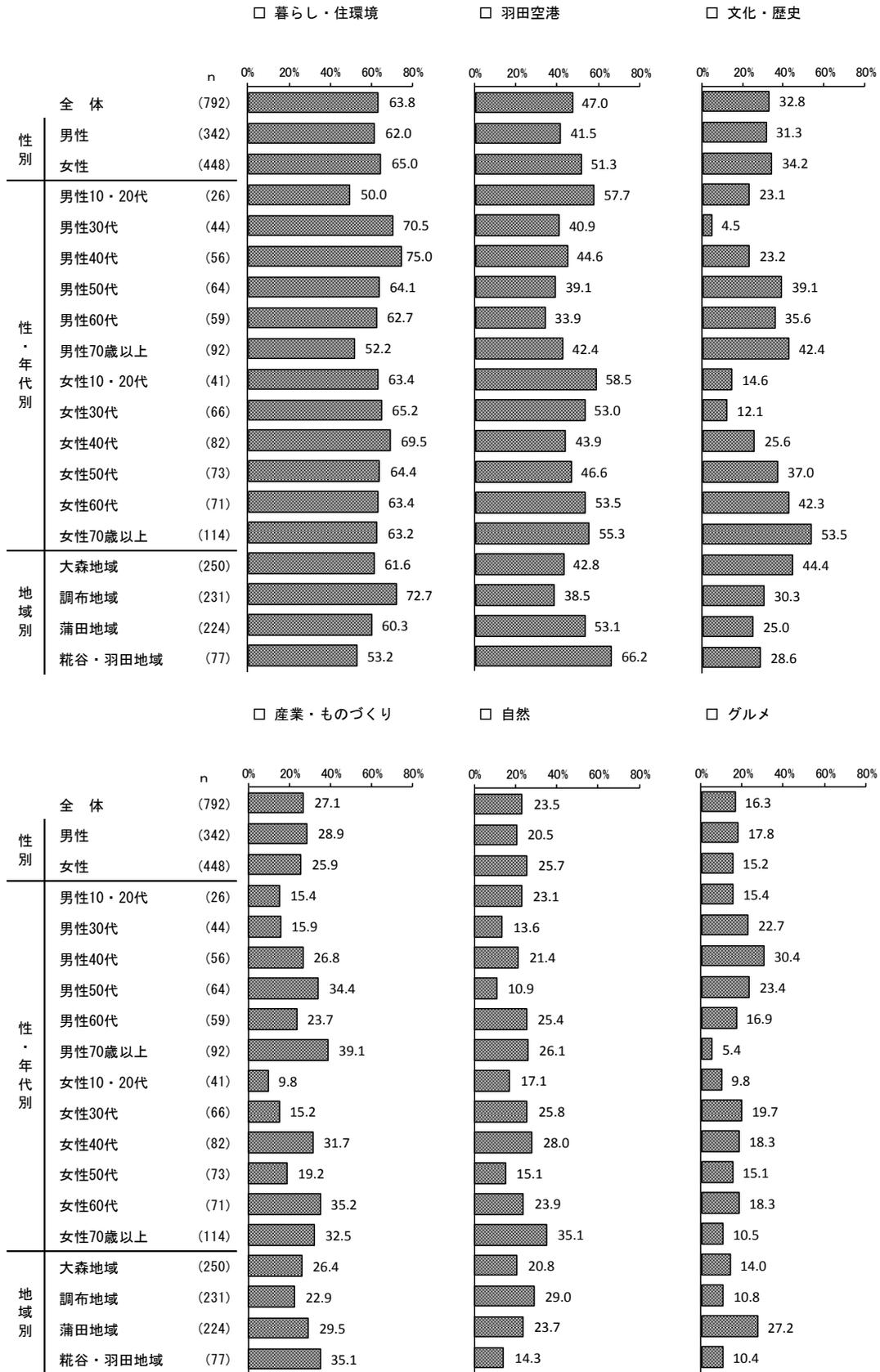
問30-1 あなたは、大田区のどのような点を友人・知人に薦めたいですか。(〇はいくつでも)

図表 12-16 大田区のどこを薦めたいか



大田区のどのような点を薦めたいかを聞いたところ、「暮らし・住環境」が63.8%で最も高く、次いで「羽田空港」(47.0%)、「文化・歴史」(32.8%)となっている。(図表 12-16)

図表 12-17 大田区のどこを薦めたいか（性別・性/年代別・地域別 上位6項目）



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

大田区のどこを薦めたいかについて、上位6項目を性別でみると、「産業・ものづくり」と「グルメ」を除いて、女性が男性を上回っている。

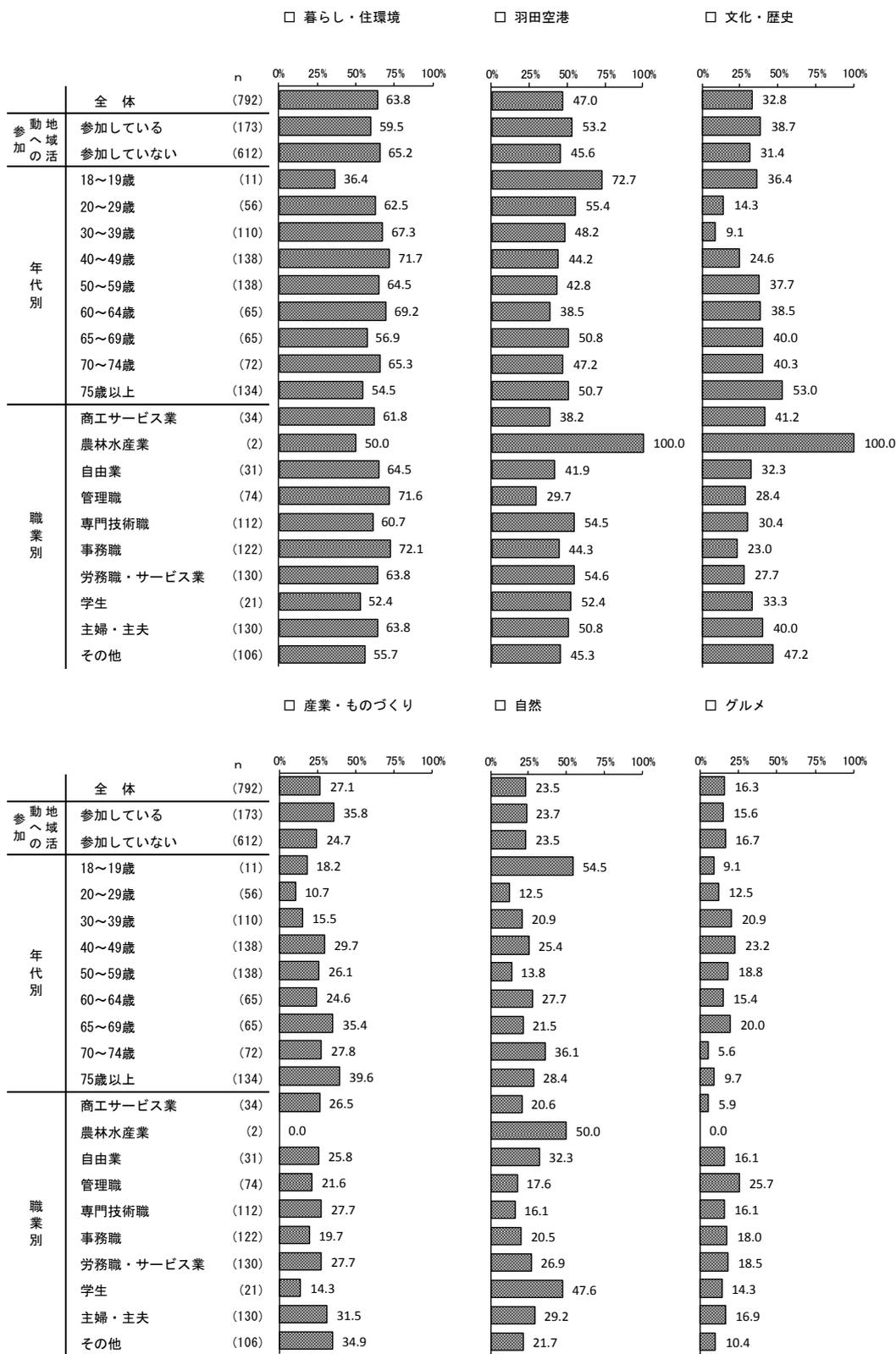
性／年代別でみると、「暮らし・住環境」は男性30代～40代で7割を超えて高くなっており、女性は全ての年代で6割台となっている。「羽田空港」は男性では40代が44.6%で最も高く、女性では40代～50代を除いて5割を超えている。「文化・歴史」は男女とも概ね年代が上がるにつれて増加傾向となっている。「産業・ものづくり」は男性50代と70歳以上、女性40代と60歳以上では3割台と他の年代より高くなっている。「自然」は男性60歳以上で2割台半ばと他の年代より高くなっており、女性では70歳以上が3割台半ばと最も高くなっている。「グルメ」は男性40代が30.4%で最も高くなっており、女性は30歳以上が1割台となっている。

地域別でみると、「暮らし・住環境」と「自然」では調布地域が、「羽田空港」と「産業・ものづくり」では糀谷・羽田地域が、「文化・歴史」では大森地域が、「グルメ」では蒲田地域がそれぞれ最も高くなっている。(図表12-17)

問30-1×問7、F2、F7

「大田区のどこを薦めたいか」×「地域活動への参加」、「年代別」、「職業別」 (上位6項目)

図表12-18



※回答者が30人未満の層は参考扱いとする

大田区のどこを薦めたいかについて、地域活動への参加別でみると、「自然」と「グルメ」は参加による大きな差異は見られないが、「羽田空港」と「文化・歴史」、「産業・ものづくり」では【参加している】が【参加していない】を上回っている。

年代別でみると、「暮らし・住環境」は40～49歳が71.7%で最も高くなっている。「羽田空港」は20～29歳と65～69歳、75歳以上で5割を超えて他の年代より高くなっている。「文化・歴史」は65歳以上で4割台、75歳以上で53.0%となっている。「産業・ものづくり」は65～69歳、75歳以上で3割を超えている。「自然」は70～74歳が36.1%で最も高くなっている。「グルメ」は40～49歳で23.2%と他の年代より高くなっている。

職業別でみると、「暮らし・住環境」では管理職と事務職が7割を超えて他の職業より高くなっている。「羽田空港」は専門技術職と労務職・サービス業が5割台半ばと他より高くなっている。「文化・歴史」ではその他を除いて商工サービス業が41.2%で最も高く、「産業・ものづくり」ではその他を除いて主婦・主夫が31.5%で最も高くなっている。「自然」では自由業が32.3%、「グルメ」では管理職が25.7%で、それぞれ最も高くなっている。(図表12-18)

III 資料編

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、“おおた未来プラン 10 年”をはじめとする各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住いの 18 歳以上の方から無作為に 4,000 名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

- ① 回答は、郵送又は大田区ホームページからの電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請については、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。

【申請者 ID】 _____ 【パスワード】 _____

- ② ご記入は、あて名のご本人にお願いいたします。
- ③ お答えは、1つだけ回答していただくものと、複数（あてはまるものすべて）回答していただくものがありますので、説明に従って回答してください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。 例)
- ④ お答えが「その他」にあてはまる場合は、1
() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ⑤ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
平成30年11月30日（金）までにポストに投函してください。

◆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。



大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電話：03-5744-1735

受付時間：平日 9：00～17：00（土・日・祝日を除く）

スポーツ・文化活動について

問1 あなたは、最近1年間にどのような生涯学習の活動を行いましたか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 自分の趣味に関するもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)
2. 自分の教養を高めるもの(文学、歴史、科学、語学など)
3. 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境問題など)
4. 地域社会に関するもの(地域の歴史、自然、文化など)
5. 健康づくり・スポーツ
6. 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、編み物など)
7. 子育て、教育に関するもの
8. 職業上必要な知識・技能・資格取得
9. パソコンやインターネットの知識や技術
10. ボランティア活動のために必要な知識や技能
11. 学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習
12. その他(具体的に: _____)
13. 特になし |
|--|

【問1で「1」～「12」と回答された方】

問1-1 あなたは、生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように活かしていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. 自分の人生がより豊かになっている
2. 家庭・日常の生活に活かしている
3. 自分の健康を維持・増進している
4. 仕事や就職に活かしている | 5. 地域や社会での活動に活かしている
6. その他
(具体的に: _____)
7. 活かしていない |
|--|--|

問2 あなたは、区立図書館を利用したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

問3 今後、図書館に積極的に取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. 蔵書や資料を充実する
2. 図書や資料の検索機能の充実
3. 貸出期間の延長
4. 貸出冊数を増やす
5. 受け取りや返却できる場所を増やす
6. 開館時間の延長
開館時間: 平日()時～()時
土日祝()時～()時
7. 開館日を増やす
8. 閲覧席を増やす
9. 子ども向けのサービスを充実する | 10. 高齢者や障害者向けのサービスを充実する
11. レファレンスサービス(資料の紹介・相談)を充実する
12. 行事(おはなし会や講演会)を充実する
13. 利用者同士の交流の場を充実する
14. カフェ等を併設し、くつろげる場を増やす
15. 地域の情報を充実する
16. 電子書籍の貸出をする
17. インターネットを使用できる環境や情報機器を充実する
18. 自分で貸出・返却処理ができる機器を導入する
19. 古い図書館の改築・改修・建て替えを進める
20. その他(具体的に: _____) |
|--|--|

問4 あなたは、区立図書館でどのようなイベントがあれば参加してみたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 映画上映やロビーコンサート | 9. 家計・金融に関する相談会 |
| 2. 本の著者による講演会 | 10. 育児に関する相談会 |
| 3. スマートフォン等の情報技術の使い方講座 | 11. 相続など法律に関する相談会 |
| 4. 料理教室 | 12. 起業又は就職活動の相談会 |
| 5. 地域の歴史・文化をテーマとした講演会 | 13. 図書館の活用講座(資料や書籍の探し方等) |
| 6. 絵画などの展覧会 | 14. 地域の課題や区の施策等をテーマとした講演会 |
| 7. 図書館利用者による学習発表会 | 15. その他(具体的に:) |
| 8. 医療や健康に関する相談会 | |

問5 あなたは、普段どのような形でスポーツや文化に親しんでいますか。次のうち、1週間に1度以上行っているものを教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. どちらかといえば、「一定のルールのもとで勝敗を競うこと」や「自己の限界に挑戦すること」を目的としてスポーツを行っている | |
| 2. どちらかといえば、健康・美容を意識した運動(犬の散歩、ウォーキング、職場での階段使用等)や仲間との交流を楽しむレクリエーション等、余暇の充実や楽しむことを目的としてスポーツを行っている | |
| ※上記1と2の両方に該当する場合は、2つとも○をつけてください | |
| 3. テレビや競技場などで、スポーツ観戦をしている | |
| ※新聞の閲読、ニュース番組内におけるスポーツ関連報道の視聴は除きます | |
| 4. 子どもへのスポーツの協力なども含め、ボランティア等としてスポーツに接している | |
| 5. 演奏会、舞台、展覧会、テレビなどで音楽・美術などの文化的なプログラムの鑑賞をしている | |
| 6. 教室やグループに参加して、創作や練習・発表等の文化的活動をしている | |
| 7. 教室やグループには所属しないで、創作や練習・発表創作や練習・発表等の文化的活動をしている | |
| 8. 文化活動に関する支援や指導をしている | |
| 9. その他(具体的に:) | |
| 10. 上記のうち定期的に行っているものがあるが、1週間に1度の頻度では行っていない | |
| 11. スポーツや文化に親しんでいない | |

問6 あなたは、2020年にブラジルのオリンピック選手団が大田区内で事前キャンプを行うことを知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

ボランティア・地域活動について

問7 あなたは、ボランティア活動など地域や地域の人を支える活動に現在参加していますか。

(○は1つ)

※地域の人を支える活動の例：地域の行事、自治会・町会活動、PTA活動、防犯・防災活動、清掃・リサイクル活動、スポーツ・文化活動など

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない →問7-1へ |
|-----------|-------------------|

【問7で「2. 参加していない」と回答された方】

問7-1 現在、地域参加していない最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 参加したいが、仕事や家事が忙しく時間がない | |
| 2. 参加したいが、健康面に不安がある | |
| 3. 参加したいが、参加するきっかけがない | |
| 4. 地域活動に興味がなく、参加したいと思わない | |
| 5. その他(具体的に: _____) |) |

普段の生活について

問8 あなたは、生活やレジャーに関する情報をどのような媒体から得ていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 4. SNS |
| 2. 新聞・雑誌 | 5. その他 |
| 3. インターネット | (具体的に: _____) |

【問8で「4. SNS」と回答された方】

問8-1 あなたは、どのSNSを利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. Twitter | 5. mixi |
| 2. Facebook | 6. You Tube |
| 3. LINE | 7. その他 |
| 4. Instagram | (具体的に: _____) |

問9 行政や民間企業等が主催する様々なイベントに申込み場合、あなたにとって利用しやすい方法は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 公式ホームページ | 7. 郵送 |
| 2. Twitter | 8. FAX |
| 3. LINE | 9. 電話 |
| 4. Facebook | 10. 対人による窓口 |
| 5. Eメール | 11. その他(具体的に: _____) |
| 6. その他インターネット経由(具体的に: _____) |) |

問 10 あなたが普段の買い物で利用するのはどのようなお店ですか。項目ごとに最も多く利用する業態と、その理由をそれぞれ選択肢から1つ選んでください。

項目	業態（1～5）	理由（A～G）
1. 食料品		
2. 衣類		
3. 日用雑貨		

【業態選択肢】

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 商店街のお店 | 4. コンビニエンスストア |
| 2. 近所のスーパーマーケット | 5. インターネット等の通販や生協等の配達 |
| 3. 大規模ショッピングセンター、駅ビル・デパート内の店舗 | |

【理由】

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| A. 自宅の近くにあるから | E. 出かける必要がない・荷物をもたなくていいなど便利だから |
| B. 品揃えが豊富だから | F. 少ない量でも買えるから |
| C. 仕事帰りに立ち寄りやすいから | G. その他 |
| D. 価格が安いから | (具体的に：) |

問 11 平日に食料品や日用品の買い物をする時間帯はどれですか。最も多いものを選んでください。

(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 午前中 | 4. 午後8時以降 |
| 2. 午後1時から4時台 | 5. 平日はほとんど買い物をしない |
| 3. 午後5時から7時台 | |

問 12 あなたのご自宅の周辺は、近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすいと感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 感じている | 4. 感じていない |
| 2. やや感じている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じていない | |

問 13 大田区内の公共交通網（電車・バスなど）に満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 満足している | 4. 満足していない |
| 2. やや満足している | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり満足していない | |

問 14 あなたがお住まいの建物は、いつ建てられたものですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| 1. 昭和 56 年 5 月以前 | 2. 昭和 56 年 6 月以降 | 3. わからない |
|------------------|------------------|----------|

【問 14 で「1. 昭和 56 年 5 月以前」と回答された方】

問 14-1 大田区では災害に強いまちづくりを進めるため、昭和 56 年 5 月以前の耐震基準で建てられた住宅やマンションの耐震化を推進しています。耐震診断や耐震改修工事を行う際に助成制度を設けていますが、あなたはこの制度をご存知ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------|-----------|
| 1. 助成制度を利用した | 2. 知っている | 3. 知らなかった |
|--------------|----------|-----------|

コミュニティサイクル・自転車利用について

問 15 あなたは、大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることをご存知ですか。

(○は1つ)

※コミュニティサイクルとは、一定の地域内に設置されたサイクルポートであれば、どこでも借り、また返却できるシステムです。大田区では平成 29 年 3 月から運営され、30 年度からは区内のサイクルポート以外でも返却ができるようになりました。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 16 あなたは、コミュニティサイクルを利用したことがありますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 大田区のコミュニティサイクルを利用したことがある |
| 2. 大田区では利用したことはないが、大田区以外のコミュニティサイクルを利用したことがある |
| 3. 利用したことはないが、今後利用してみたい |
| 4. 利用したことはなく、今後も利用する予定はない |

【問 16 で「1」または「2」と回答された方】

問 16-1 コミュニティサイクルの利用目的は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 観光 | 4. 通勤・通学 |
| 2. 買い物・飲食 | 5. その他 |
| 3. 仕事 | (具体的に：) |

【問 16 で「3」または「4」と回答された方】

問 16-2 コミュニティサイクルを利用しない(利用したことがない)理由は何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 設置場所が少ない | 4. 自転車の種類が少ない |
| 2. 利用方法が複雑である | 5. その他 |
| 3. 利用料金が低い | (具体的に：) |

問 17 区内の放置自転車対策として、力を入れてほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 駐輪場の整備 |
| 2. 自転車放置禁止区域の拡大 |
| 3. 放置自転車撤去の強化 |
| 4. 自転車での来客がある施設・店舗への駐輪場設置に向けた働きかけ |
| 5. マナー啓発活動 |
| 6. 放置した者に対するペナルティの仕組み |
| 7. その他(具体的に: _____) |

問 18 あなたは、普段から自転車を使いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. よく使う | 2. たまに使う | 3. 全く使わない |
|---------|----------|-----------|

【問 18 で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

問 18-1 あなたが自転車を使う主な目的は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------|------------------------|
| 1. 通勤・通学 | 4. 余暇活動(遊びに行く・サイクリング等) |
| 2. 買い物 | 5. 子どもの送り迎え |
| 3. 仕事 | 6. その他(具体的に: _____) |

【問 18 で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

問 18-2 あなたは、過去に自転車を盗まれたことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 盗まれたことがある | 2. 盗まれたことはない |
|--------------|--------------|

【問 18 で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

問 18-3-1 あなたは、普段自転車を安全・快適に利用できると感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 感じている | 4. 感じていない |
| 2. やや感じている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じていない | |

【問 18 で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

問 18-3-2 上記 18-3-1 のように感じる(考える)理由をご記入ください。

--

【問 18 で「1. よく使う」または「2. たまに使う」と回答された方】

問 18-4 あなたは、普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------------------------------|----------------|
| 1. 必ず鍵をかけている | 2. 鍵をかけないときもある
→問 18-4-1, 18-4-2 へ | 3. いつも鍵をかけていない |
|--------------|---------------------------------------|----------------|

【問 18-4 で「2. 鍵をかけないときもある」と回答された方】

問 18-4-1 あなたが自転車に鍵をかけないのは、どのようなときですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 自宅に駐輪するとき | 3. 特に場所は気にしない |
| 2. 自転車駐輪場に駐輪するとき | |

【問 18-4 で「2. 鍵をかけないときもある」と回答された方】

問 18-4-2 あなたが自転車に鍵をかけないのは、どのくらいの時間自転車から離れるときですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 5分以内の間、自転車から離れるとき | 4. 30～60分程度自転車から離れるとき |
| 2. 5～15分程度自転車から離れるとき | 5. 特に時間は気にしない |
| 3. 15～30分程度自転車から離れるとき | |

喫煙について

問 19 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 毎日吸っている |
| 2. ときどき吸う日がある |
| 3. 以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない |
| 4. 吸わない |

【問 19 で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】

問 19-1 あなたは、たばこをやめたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. やめたい | 3. やめたくない |
| 2. 本数を減らしたい | 4. わからない |

【問 19 で「1. 毎日吸っている」または「2. ときどき吸う日がある」と回答された方】

問 19-2 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 公共の場所では吸わない |
| 2. 指定の喫煙場所以外では吸わない |
| 3. 禁煙場所では吸わない |
| 4. 混雑している場所では吸わない |
| 5. 子どもや妊産婦、病人がいる場合は吸わない |
| 6. 周囲に食事の人がいる場合は吸わない |
| 7. 周囲の了解を得てから吸う |
| 8. 気をつけていることはない |
| 9. その他(具体的に: _____) |

問 20 あなたは、「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。(○は1つ)

※受動喫煙とは、室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることです。

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1. 意味を知っている | 3. 知らなかった |
| 2. 聞いたことはあるが、意味は知らなかった | |

問 21 あなたは、おおよそ1年の間に次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）で受動喫煙を経験しましたか。（○はそれぞれ1つ）

	1. 経験した	2. 経験しなかった	3. 行かなかった (利用しなかった)
(1) ~ (22) ○は横に1つずつ→			
(1) 小学校・中学校・高校	1	2	3
(2) 大学・専門学校等（1）以外の学校	1	2	3
(3) スポーツ施設	1	2	3
(4) 博物館・美術館	1	2	3
(5) 地域で利用する集会所（官公庁施設を除く）	1	2	3
(6) 劇場・映画館	1	2	3
(7) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	1	2	3
(8) 病院・診療所	1	2	3
(9) 老人ホーム・保育所等社会福祉施設	1	2	3
(10) 官公庁施設	1	2	3
(11) 金融機関	1	2	3
(12) 百貨店・デパート	1	2	3
(13) スーパー・小売店	1	2	3
(14) 飲食店	1	2	3
(15) ホテル・旅館	1	2	3
(16) 駅・空港	1	2	3
(17) 家庭	1	2	-
(18) 路上	1	2	-
(19) 職場	1	2	3
(20) バス・タクシー	1	2	3
(21) 鉄道・船舶	1	2	3
(22) 自家用車	1	2	3

問 22 あなたは、受動喫煙防止に向け、次のうち区が特に推進するべきと考える取り組みはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 区の庁舎・施設の屋内禁煙又は敷地内禁煙
2. 施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及
3. 区報やホームページによる受動喫煙の健康影響についての情報提供
4. 効果的な受動喫煙防止対策についての情報提供
5. 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく施設管理者の義務についてのPR
6. 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく指導、勧告、命令(罰則の適用を含む)
7. 公衆喫煙所の設置
8. 喫煙マナーのPR
9. 禁煙を希望する喫煙者の禁煙支援
10. 道路等の屋外における喫煙ルールづくり
11. その他(具体的に:)
12. 特になし

食品ロス・フードドライブについて

問 23 あなたは、食生活の中で「もったいない」と意識したことがあるのはどんなときですか。

(〇はいくつでも)

1. 期限切れ等で食べずに捨ててしまうとき
2. レストラン等で他人の食べ残したのを見たとき
3. あなた又はあなたの家族等が食べ残したのを見たとき
4. ごみ(特に生ごみ)を捨てる時
5. その他(具体的に:)
6. 意識したことはない

問 24 あなたは、「食品ロス」という言葉をご存知ですか。(〇は1つ)

※食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます。

1. 言葉の意味まで良く理解していた
2. 聞いたことはあるが、言葉の意味は知らなかった
3. 知らなかった

問 25 あなたは、生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1. 買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする | |
| 2. 賞味期限だけで判断せず、見た目や臭い等で食べられるか判断する | |
| 3. 日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する | |
| 4. 出された料理を残さず食べきる | |
| 5. 食べきれなかったものを他の料理に作り替える | |
| 6. 料理を作り過ぎない | |
| 7. 野菜の皮や芯を料理に使うなど、食材を無駄なく使う | |
| 8. 飲食店等で注文し過ぎない | |
| 9. その他（具体的に： _____） | |
| 10. 特にない | |

問 26 外食をするとき、食べ残しをしないためにお店にして欲しいことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 小盛りメニューの導入 | 4. 量の表示 |
| 2. 食べきれなかった料理の持ち帰り | 5. その他（具体的に： _____） |
| 3. 白飯などの量の調整 | 6. 特にない |

問 27 ご家庭の未利用食品を集めて、必要としている団体等に提供する活動を「フードドライブ」といいます。あなたの家で未利用食品が出た際、フードドライブに提供したいと思いますか。

(○は1つ)

※フードドライブに提供できる食品・・・主に米などの穀類、調味料、缶詰、インスタント食品など

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 提供したいと思う | 2. 提供したいと思わない |
|-------------|---------------|

【問 27 で「1. 提供したいと思う」と回答された方】

問 27-1 フードドライブに提供する際、あなたが重要と思うことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 手続きが簡単で分かり易いこと | 4. 提供先が信頼できる団体であること |
| 2. 提供できる場所が近くにあること | 5. その他 |
| 3. 提供場所の開設時間が長いこと | (具体的に： _____) |

【問 27 で「2. 提供したいと思わない」と回答された方】

問 27-2 フードドライブに提供したいと思わないのはなぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 提供方法が分からないから | 4. 余っている食品がないから |
| 2. 提供できる場所が分からないから | 5. その他 |
| 3. 提供するまでの手続きが面倒と思うから | (具体的に： _____) |

大田区への愛着等について

問 28 あなたは、大田区に愛着を感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 感じている | 4. 感じていない |
| 2. やや感じている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じていない | |

【問 28 で「1. 感じている」または「2. やや感じている」と回答された方】

問 28-1 あなたは、大田区のどういう点に愛着を感じますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 文化・歴史 | 6. 産業・ものづくり |
| 2. 羽田空港 | 7. 自然 |
| 3. 観光 | 8. グルメ |
| 4. 暮らし・住環境 | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 健康・スポーツ | |

問 29 あなたは、大田区に誇りを感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 感じている | 4. 感じていない |
| 2. やや感じている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じていない | |

【問 29 で「1. 感じている」または「2. やや感じている」と回答された方】

問 29-1 あなたは、大田区のどういう点に誇りを感じますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 文化・歴史 | 6. 産業・ものづくり |
| 2. 羽田空港 | 7. 自然 |
| 3. 観光 | 8. グルメ |
| 4. 暮らし・住環境 | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 健康・スポーツ | |

問 30 あなたは、大田区を訪れることを友人・知人に薦めたいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 薦めたい | 4. まったく薦めたくない |
| 2. どちらかといえば薦めたい | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり薦めたくない | |

【問 30 で「1. 薦めたい」または「2. どちらかといえば薦めたい」と回答された方】

問 30-1 あなたは、大田区のどういう点を友人・知人に薦めたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 文化・歴史 | 6. 産業・ものづくり |
| 2. 羽田空港 | 7. 自然 |
| 3. 観光 | 8. グルメ |
| 4. 暮らし・住環境 | 9. その他(具体的に:) |
| 5. 健康・スポーツ | |

あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 4. 40～49 歳 | 7. 65～69 歳 |
| 2. 20～29 歳 | 5. 50～59 歳 | 8. 70～74 歳 |
| 3. 30～39 歳 | 6. 60～64 歳 | 9. 75 歳以上 |

【F 2で「7」～「9」と回答された方(65歳以上の方)】

F 2-1 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. 受けていない | 2. 受けている(要支援含む) |
|-----------|-----------------|

F 3 あなたの国籍を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------------|
| 1. 日本国籍 | 2. それ以外(国籍名:) |
|---------|----------------|

F 4 あなたのお住まいを教えてください。各地域の()内は、管轄する特別出張所です。

(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 大森地域(大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿) |
| 2. 調布地域(嶺町、田園調布、鷓の木、久が原、雪谷、千束) |
| 3. 蒲田地域(六郷、矢口、蒲田西、蒲田東) |
| 4. 糀谷・羽田地域(糀谷、羽田) |

F 5 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 三世帯世帯(親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他 |
| 3. 二世帯世帯(親と子) | (具体的に:) |

F 6 あなたのお住いの種類は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 4. 賃貸住宅(集合住宅) |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 5. 寮・社宅・宿舍 |
| 3. 賃貸住宅(一戸建て) | 6. その他(具体的に:) |

F 7 あなたのご職業を教えてください。(○は1つ)

自営業	1. 商工サービス業 2. 農林水産業 3. 自由業
勤め人／パート・アルバイト含む	4. 管理職 5. 専門技術職 6. 事務職 7. 労務職・サービス業
無 職	8. 学生 9. 主婦・主夫 10. その他(高齢者含む)

【F 7で「1」～「8」と回答された方】

F 7-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(○は1つ)

1. 大田区内(自宅)	5. それ以外の東京都内
2. 大田区内(自宅以外)	6. 神奈川県内
3. 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7. それ以外
4. 千代田・中央・港区内	(具体的に:)

F 8 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方をすべてあげてください。(○はいくつでも)

1. 小学校入学前の子ども	4. 寝たきりの方や身体の不自由な方
2. 小学生	5. いない
3. 65歳以上の方	

F 9 配偶者の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. いる(同居・別居含め)	2. いない(離婚・死別)	3. いない(未婚)
----------------	---------------	------------

【F 9で「1. いる(同居・別居含め)」と回答された方】

F 9-1 共働きをしていますか。(○は1つ)

1. 共働きをしている	2. 共働きはしていない
-------------	--------------

F10 現在のあなたご自身は、この中のどれにあたりますか。(○は1つ)

独身の方	1. 本人 18～39 歳 2. 本人 40～64 歳 3. 本人 65 歳以上
子どものいない 夫婦の方	4. 本人 18～39 歳 5. 本人 40～64 歳 6. 本人 65 歳以上
子どものいる方 (別居も含む)	7. 一番上の子どもが小学校入学前 8. 一番上の子どもが小・中学生 9. 一番上の子どもが高校・大学生 10. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 64 歳以下) 11. 一番上の子どもが学校卒業 (本人は 65 歳以上)

F11 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1. 1年未満	5. 10年以上 20年未満
2. 1年以上 3年未満	6. 20年以上 30年未満
3. 3年以上 5年未満	7. 30年以上
4. 5年以上 10年未満	

これで調査は終了です。

最後までご協力いただきまして、ありがとうございました。

平成 30 年度

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

報告書

平成 31 年 2 月発行

【発行】大田区企画経営部企画課

〒144-8621 大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

電 話 (03) 5744-1735 (直通)

F A X (03) 5744-1502
